Kodak Gray Scale

© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

CZ
473
19
82W27254

1022

シセH-24

昭和十九年四月一日現在

鐵道貨物運送關係規定

華北交通株式會社

目次

昭和一公告第二三六號九、三、二五 ○華北交通株式會社鐵道貨物運送規則……一頁
昭和一達甲第九九三號九、三、二五 ○華北交通株式會社鐵道貨物運送規則補則……一
昭和一達甲第九九四號九、三、二五 ○鐵道貨物運送取扱指針……一〇二
昭和一公告第一九七號九、一一、二五 ○車扱貨物ノ增積取扱方……一五五
昭和一公告第九、三、號 ○貨物支線發著貨物取扱規則……一五九
昭和一公告第九、三、號 ○專用側線積卸貨物取扱規則……一六一
昭和一達甲第一二三號九、三、 ○專用側線積卸貨物取扱規則補則……一六三
昭和一社告第一二三號四、八、二 ○專用鐵道發著貨物取扱及貨車直通規則……一七五
昭和一運貨甲第三四號四、八、二 ○專用鐵道發著貨物取扱及貨車直通規則補則……一六七

CZ
473
19

國會圖書館 46.11.24

國會圖書館 57.5.25

82W27254

~~883738~~

鐵道貨物運送關係規定正誤表

鐵道貨物運送關係規定正誤表

頁	行	誤	正
目次			貨物支線發著貨物取扱規則ノ公告番號ヲ「昭和一九、三、二五公告第二六三號」、專用側線積卸貨物取扱規則ノ公告番號ヲ「昭和一九、三、二五公告第二六二號」、專用側線積卸貨物取扱規則補則ノ示達番號ヲ「昭和一九、三、二五達甲第一〇五三號」
目次二	六	第三三	第三節
本文三	一四	制限ヲ爲スルコト	制限ヲ爲スコト
五	一六		「第一項」以下行ヲ改メル
七	一一	數員	員數
一〇	五	添乘スル場合ハ	添乘スル場合
一一	四	第二十八條	第三十八條
一二	略號中	ナク	ナワ
一三	〃	略	略號
一五	四	其ノ他ノ二	其ノ他ノモノニ
〃	一四		「貨物ノ」以下行ヲ改メル
一六	九	挾軌線	狹軌線
一七	三	死證	死體
〃	四	食物	貨物
〃	一六		「貨物引換證附貨物」以下行ヲ改メル
一八	六	第六十五條	第六十四條
一九	一二	報合	場合
〃	一八	爲サズ	爲ス
二一	一二	運賃ノ低廉ナル	最短
〃	〃	貨物	貨物
二二	一二	三二、三	三二、五
二四	一五	小口扱貨ニシテ	小口扱貨物ニシテ
二六	一三	車扱費物	車扱貨物
三一	六	必要アルトキハ更正通知書	必要アルトキハ營業收入帳表類取扱規程ニ定ムル更正通知書
〃	一八		第四十六條補則削除
三四	一	五日	七日
〃	五	排戻	拂戻
〃	六	行使モザルニ	行使セザルニ
〃	一一	第八條	第九條
三六	一七	引渡期間	引渡期間
〃	一八	基因	基因
三七	八	缺番號再製	缺番號、再製
〃	一二	審査科	審査課
三八	一六	運賃卒	運賃率
〃	一七	集貨物	集貨附貨物
四一	一二	乙乙ノ二	乙、乙ノ二
四二	九	貨物ニ對ニ對シテハ	貨物ニ對シテハ
〃	一五	著竝ニ	著站ニ
四三	七	回送	同送
〃	一四	丙二片	丙ノ二片
五五	二	取卸	取扱
五七	一一	クラフド紙	クラフト紙
六三	一一	提出ラ要スル	提出ヲ要スル
六七	一二	證明書	事枚證明書
〃	一一	證明報告又ハ收入證憑	證明報告
六八			「證明事項」ノ欄中「發送日、引渡日、箇數、重量、容積及長サ」ノ欄及「證明手數料」ノ欄削除
六九	二	證狀	保證狀
七五			要償額表示貨物荷票ヲ削除
七七			記入方中「ロ」ノ項ヲ削リ「ハ」ヲ「ロ」ニ、「ニ」ヲ「ハ」ニ改ム
八二			樣式中「代金引換貨物」ノ欄削除
一〇一	九	依ルル	依ル
〃	一〇	連送	運送
〃	一七	常多數	常ニ多數
一〇二	四	間潔	簡潔
一〇三	七	作業等ノ限制	作業等ノ制限
一〇五	三	スルモノデ	スルモノデ
一〇六	一六	包裝ノ完全	包裝ノ不完全
一〇七	一	充分ノ注意シ	充分注意シ
〃	六	否カラ	否カヲ
〃	七	多イノテ	多イノデ
〃	八	小口扱貨ニ對シ	小口扱貨物ニ對シ
〃	九	ニ對シテハ一端（	ニ對シテハ一端）
一〇八	一	左ノ通テアル	左ノ通デアル
〃	一〇	鋪入	挿入
〃	一一	サシル様	サセル様
〃	一四	乘込マシセル	乘込マシメル
〃	一五	與ヘテ附セメメル	與ヘテ附セシメル
一〇九	一三	集荷附	集貨附
〃	一六	取扱メテ	取纏メテ
一一一	八	第十七條補則所定ノ	第十八條補則一所定ノ
〃	一〇	「標」	「(標)」
一一二	三	以ヲ	以テ
〃	一三	第十五條第一項第一一號	第十五條第一項第二號
一一四	一八	スルノ基準	スル基準
一一五	五	第三十七條	第三十八條
〃	一五	下ヲ合算スルコト	之ヲ合算スルコト
一一六	五		「宣化、」ノ次ニ「包頭、」ヲ追加
〃	七	鐵路局長	鐵路局長
〃	一七	受取ツタガ否カハ	受取ツタカ否カハ
〃	一八	了ソタ	了ツタ
一一七	九	場合ニ於テノコトデアル	場合ニ於テノコトデ
一一九	一	集貨附物	集貨附貨物
〃	七	貨物通知書中片	貨物通知書甲片
一二〇	七		「便宜樣式ノ受領書ヲ提出セシメルカ又ハ」ヲ削除
〃	八		「荷受人ヲシテ」ヲ削除
〃	一二	恩惠ニ俗シ	恩惠ニ浴シ
〃	一四	之テ輸送スルノ	之ヲ輸送スルノ
一二二	一七	時間ニ總テ	時間ハ總テ
一二四	二	連達	速達
〃	九	歸スベガラサル	歸スベカラザル
〃	一四	鐵道ハ無料デ	鐵道ガ無料デ
一二六	一五	爲スベキ	爲スベキ
一二七	九	爲スルデアルガ	爲スノデアルガ
〃	一八	全面ニ線ヲ	全面ニ×線ヲ
一二八	一七	對貨物留置料	對シ貨物留置料
一二九	一五	充實シ	充當シ
〃	〃	過剩ナルトキハ	過剩アルトキハ
一三一	一六	否ォヲ	否カヲ
一三二	八	應ジルベキデアル	應ズルベキデアル
一三三	五	配達セシトスルモ	配達セントスルモ
〃	七	發信シタ時テアル	發シタ時デアル
一三四	二	準ジデ	準ジテ
一三五	一〇	振替拂ヲ	振替拂ノ
一三六	一五	運賃率ノ最モ低廉ナ	最短
一三九	八	扱運別	扱種別
〃	一一	支拂ハルベキ	支拂ハレルベキ
一四四	一一	超過部分ヲ分ヲ	超過部分ヲ
一四六	六	第四十二條指圖	第四十二條ノ指圖
〃	一一	場例ヘバ	合例ヘバ
一四七	三	持圖	指圖
〃	一八	申出アル場合ニアツテモ	申出アル場合ニアツテモ
一四八	四	引渡權利者	引取權利者
〃	八	着做シテ	看做シテ
一四九	五	收支スベカリシ	收受スベカリシ
〃	六	必ズジモ	必ズシモ
〃	一一	第八條	第九條
一五〇	一八	貨物引渡證	貨物引換證
一五一	一七	即時消	即時消滅
〃	一八	貨用	費用
一五二	三	勿論其ノ事實ガ	勿論、其ノ事實ガ
〃	〃	引取後生シタ	引取後生ジタ
一五四	七	引渡時期	引渡期間
〃	〃	荷物	貨物
一五五	一三	航路區間華中航路ヲ除ク	航路區間（華中航路ヲ除ク）
一五六	八	最低運賃	五 最低運賃
一六二	四	託送取消	託送見合
〃	五	貨物ノ返還	託送取消
一六五	八	積込費物	積込貨物
一六六	五	又ハ及卸	又ハ取卸
〃	六	當該キ用側線	當該專用側線
〃	一三	別ニ	別表ニ
一七〇	四	穀物、穀物類	穀物、穀粉類
〃	六		工務總署線ノ欄削除
一七二	一七	二、五〇	二、三〇
一七三	七	一	二
一七四	一	樓德鑛線	樓德鎭線
〃	三	二、五〇	二、三〇

華北交通株式會社鐵道貨物運送規則竝ニ同補則

目次

第一章　總　則
第一條　準據規程
第二條　略　語
第三條　運送ノ拒絶、契約ノ解除
第四條　運送制限
第五條　站構内出入者、作業等ノ制限
第六條　扱種別
第七條　一口ノ制限
第八條　臨時ノ約束ニ依リ運送スル貨物
第九條　引渡期間
第十條　通知又ハ廣告ニ代フル掲示
第二章　貨物ノ取扱
第一節　通　則
第十一條　荷　造
第十二條　荷札、標記
第十三條　附添人
第二節　受　託
第十四條　運送ノ申込

第十五條　免賃事項
第十六條　貨物ノ監査
第十七條　運送ノ受託
第十八條　貨物通知書又ハ貨物引換證ノ交付
第十九條　構内運搬
第三三　運　送
第二十條　輸送ノ順序
第二十一條　積　卸
第二十二條　貨物ノ積替
第四節　引　渡
第二十三條　到著ノ通知
第二十四條　引取期間
第二十五條　貨物ノ引渡及債務ノ辨濟
第二十六條　引渡濟貨物ノ搬出、處置
第五節　集貨及配達
第二十七條　集貨又ハ配達ノ引受
第二十八條　集貨附貨物ノ受取
第二十九條　配達附貨物ノ引渡
第三十條　荷受人ノ申出ニ依ル配達又ハ站渡
第三十一條　配達ノ支障

第三章　運賃及料金
第一節　通　則
第三十二條　一口ノ運賃及料金
第三十三條　運賃、料金等ノ收受
第二節　運賃及料金ノ計算
第三十四條　運賃ノ計算
第三十五條　貨物ノ等級
第三十六條　粁程ノ計算
第三十七條　運賃率
第三十八條　貨物ノ重量
第三十九條　運賃計算重量及最底重量
第四十條　濶大貨物ニ對スル附加運賃
第四十一條　料金ノ計算
第四章　指圖及事故
第一節　指　圖
第四十二條　指圖ノ申込
第四十三條　指圖ノ受理、處理
第二節　事　故
第四十四條　滅失、毀損等ニ對スル處理
第四十五條　品名、數量等ノ相違ニ對スル處理

第四十六條　品名、數量等ノ相違ニ對スル加重金
第四十七條　天災事變其ノ他ノ事故ノ場合ニ於ケル處理
第四十八條　引渡支障貨物ノ處理
第四十九條　換價金ノ處理
第五十條　取扱上ノ錯誤
第五十一條　事故證明
第五十二條　引取權利者不明貨物ノ處理
第五十三條　貨物引渡請求權ノ消滅
第五十四條　運賃料金等ノ拂戻又ハ支拂請求權ノ消滅
第五章　會社ノ責任
第五十五條　滅失、毀損又ハ引渡遲延ニ依ル損害ノ賠償責任
第五十六條　會社ノ故意又ハ重過失ニ依ル損害ノ賠償責任
第五十七條　書證券ノ記載ニ對スル會社ノ責任
第五十八條　會社ノ責任ノ免除
第五十九條　損害賠償責任ノ即時消滅
第六十條　滅失又ハ毀損ニ依ル損害賠償額
第六十一條　引渡遲延ニ依ル損害ノ賠償額
第六十二條　賠償請求權利者、賠償請求方法
第六十三條　滅失ト看做シ得ル時期
第六十四條　賠償請求權ノ消滅

○華北交通株式會社鐵道貨物運送規則竝ニ同補則

第一章　總則

第一條　準據規定

華北交通株式會社ノ鐵道ニ於ケル貨物ノ運送ニ關シテハ特別ノ規定又ハ契約アル場合ヲ除キ本規則ニ依ル

註　「特別ノ規定」ノ主ナルモノ左ノ如シ

火藥類鐵道運送規則
專用側線積卸貨物取扱規則
貨物支線發著貨物取扱規則
貨物連絡運送規則
荷物通關取扱規則

補則　本規則及補則ニ定ナキ事項又ハ異例ニ屬スル取扱方ニ關シテハ特別ノ規定アル場合ヲ除キ鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

註　「特別ノ規定」ノ主ナルモノ左ノ如シ

證券發行荷物擔保引渡手續
鐵道營業事故處理規程
軍事輸送處理規程
貨物輸送規程

第二條 略語

本規則ニハ左ノ略語ヲ用フ

略語名稱	
一 會社	華北交通株式會社
二 規則	華北交通株式會社鐵道貨物運送規則
三 粁程（表）	貨物營業粁程（表）
四 準軌線	軌間一・四三五米ノ線路
五 狹軌線	軌間一米ノ線路
六 甲種鐵道車輛	自己ノ車輪ニ依リ運轉シ運送セラルル鐵道車輛
七 特種貴重品	別表貨物等級表ニ定ムル貴重品中小口乘率ノ定アル貨物
八 最高標記荷重	貨車標記荷重中大ナルモノ
九 標記荷重	貨車標記荷重中小ナルモノ及貨車標記荷重ノ記載ナルトキハ當該標記荷重

補則 本補則ニハ左ノ略語ヲ用フ

略語	名稱
鐵路局（長）	鐵路局（長）及連雲港灣局（長）
審査課	鐵路局經理部審査課及連雲港灣局總務課經理係

第三條 運送ノ拒絕、契約ノ解除

左ノ場合ニハ運送ノ申込ヲ拒絕シ又ハ其ノ契約ヲ解除スルコトアルベシ

一 荷送人ガ法令又ハ運送ニ關スル會社ノ規定ヲ遵守セザルトキ

二 荷送人ガ運送ニ付特別ナル責務ノ條件ヲ求メタルトキ

三 運送ガ法令ノ規定、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ違反スルトキ

四 天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ運送ニ支障アルトキ

五 運送ノ爲會社ノ有セザル設備ヲ要スルトキ

六 貨物ノ性質、重量、長サ、容積、荷造ガ運送ニ適セズ又ハ他ニ危害若ハ損害ヲ及ボス虞アルトキ

七 貨物ガ受託ノ日トモ二日以內ニ發送シ得ラルル見込ナキトキ

補則 本條第七號ノ規定ニ依リ運送ノ申込ヲ拒絕スル必要アルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ但シ天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ鐵路局長ノ指示ヲ承クル遑ナキトキハ站長ニ於テ運送ノ申込ヲ拒絕シ事後ノ處置ニ付速カニ鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

第四條 運送制限

運輸上又ハ天災事變其ノ他公益上必要アルトキハ本規則中明示アル場合ト雖モ運送ノ徑路、方法、其ノ他運送ニ關スル事項ニ付制限ヲ爲スルコトアルベシ

補則 本條ノ運送制限ハ別ニ之ヲ指定ス

第五條 站構內出入者、作業等ノ制限

運輸上又ハ取締上必要アルトキハ站構內出入者、作業等ニ付制限ヲ爲スコトヲ得

補則 本條ノ制限ヲ爲ス必要アルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

第六條　扱種別

扱種別ハ小口扱及車扱トシ荷送人ノ選擇ニ依ル但シ左ノ貨物ハ車扱ニ限ル

一　動物ニシテ容器又ハ足枷ヲ用ヒザルモノ

二　自動車（小型自動車ヲ除ク）、**スチームローラー**及甲種鐵道車輛

註　小型自動車トハ長サ三・二米、幅一・二米高サ一・六米以内ノ自動車ヲ謂フ

第七條　一口ノ制限

一口ト爲シ得ル貨物ハ左ノ各號ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

一　荷送人、荷受人、發站、著站、託送ノ時、扱種別、集貨先、屆先、運賃料金支拂方法、引渡期間及引渡手續ヲ同ジクスルコト

二　貨物ノ品目三以内ナルコト但シ一梱包中ニ二種以上ノ貨物ヲ混ジタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

三　危險品（火藥箱ヲ除ク）ニ在リテハ同一品類ニ屬スルモノナルコト

四　一車（準軌線ト狹軌線間ヲ通ジ運送セラルル場合ハ準軌線發ノトキハ準軌線貨車一車、狹軌線發ノトキハ準軌線標記荷重三十瓲又ハ十五瓲貨車一車）ニ積載シ得ル數量ナルコト但シ二車以上ニ跨ル濶大貨物又ハ之ト他ノ貨物トヲ共ニ託送スル場合ハ其ノ使用貨車ノ最高標記荷重ノ和以内タルコト

註　部分品及附屬品ヲ主物ト同時ニ託送スルトキハ主物ト同一品目ト看做ス

第八條　臨時ノ約束ニ依リ運送スル貨物

左ニ掲グル貨物ハ會社ニ於テ特ニ承諾シタル場合ニ限リ運送ヲ受託ス

一　小口扱貨物ニシテ一箇ノ長サ六米、重量三瓲若ハ容積三立方米ヲ超ユルモノ但シ狹軌線内及準軌線ト狹軌線間ヲ通ジ運送スル場合ハ一箇ノ長サ四・五米、重量一瓲（死體ヲ除ク）若ハ容積三立方米ヲ超ユルモノ

二　車扱貨物ニシテ一箇ノ長サ三十二米、重量三十瓲若ハ容積五十立方米ヲ超ユルモノ但シ狹軌線内及準軌線ト狹軌線間ヲ通ジ運送セラルル場合ハ一箇ノ長サ十米、重量十五瓲若ハ容積二十五立方米ヲ超ユルモノ

三　別ニ定ムル車輛定規ヲ超エ積載スル貨物

四　甲種鐵道車輛、特種貴重品、汚穢品

五　臨時列車ニ依リ運送スル貨物

六　站構外本線又ハ之ヨリ分岐セル側線ニ於テ積卸ヲ爲ス車扱貨物

補則　本條ニ定ムル貨物ノ運送申込アルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

第九條　引渡期間

引渡期間ハ左ノ各號ノ日數ヲ合算シタルモノトス

一　發送期間　貨物受託ノ日共二日

二　輸送期間　運賃計算粁程百三十粁又ハ其ノ未滿ニ付一日

三　接續期間　準軌線ト狹軌線間ヲ運ジ運送スル場合其ノ接續站毎ニ二日

四　集配期間　集貨又ハ配達ニ付各一日

天災事變、荷主ノ指圖其ノ他會社ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ因リ遲延シタル期間ハ之ヲ前項ノ期間ニ加算ス此ノ場合一日未滿ノ端數ハ之ヲ一日ニ切上グ第一項各號ノ期間ハ運輸上必要アルトキハ之ヲ延長スルコトアルベシ

補則　會社ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ因リ遲延シタル期間（發生及終期ノ日時）ハ關係站ニ於テ當該貨物通知書餘白ニ之ヲ記入スベシ

第十條 通知又ハ催告ニ代フル掲示

荷主ニ對シ通知又ハ催告ヲ發スベキ場合ニ於テ會社ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ因リ之ヲ發スルコト能ハザルトキ又ハ之ヲ發スルコト困難ナルトキハ關係站ニ七日間掲示シ其ノ通知又ハ催告ニ代フ

第二章 貨物ノ取扱

第一節 通則

第十一條 荷造

貨物ハ其ノ性質、重量、長サ、容積、運送距離等ニ依リ取扱ニ適應シ且自他ノ保全ニ必要ナル荷造ヲ爲スコトヲ要ス但シ危險品（火藥類ヲ除ク）ノ荷造及包裝ハ別表危險品包裝表ニ依ルモノトス

第十二條 荷札、標記

荷送人ハ小口扱貨物ノ各箇兩端（荷姿ヲ同ジクシ一口相當箇數アルモノニシテ紛雜ノ虞ナシト認メラルルモノニ對シテハ一端）ニ別表帳表樣式所定ノ荷札ヲ附スルコトヲ要ス車扱貨物ニ對シ會社ニ於テ必要ト認ムルトキ亦同シ

前項ノ荷札ハ水產物等濕潤性ノ貨物ニ對シテハ木札ヲ使用シ又荷札ヲ附シ難キ貨物ニ對シテハ**ベンキ**ノ類ヲ以テ所定ノ事項ヲ標記スルコトヲ要ス

補則一 荷姿ヲ異ニスルモノヲ一口トセル車扱貨物及準軌線ト狹軌線間ヲ通ジ運送スル車扱貨物ニ對シテハ荷送人ヲシテ站長ニ於テ必要ト認ムル箇數ニ對シ荷札ヲ附セシムベシ

補則二 荷送人於テ無封ノ送狀又ハ添狀ヲ貨物ニ添附セントスル場合ハ其ノ見易キ箇所ニ之ヲ括附セシムベシ

第十三條 附添人

荷送人ハ左ニ掲クル貨物ヲ託送スル場合ハ貨物ノ看守又ハ保護ノ爲附添人ヲ附スルコトヲ要ス

一 馬

二 死體（學術研究又ハ裁判上ノ鑑定用ノ死體ヲ除ク）

三 車扱ニ依ル特殊貴重品

四 第一號以外ノ動物、活魚、甲種鐵道車輛其ノ他ニシテ會社ニ於テ附添人ヲ附スベキコトヲ請求シタルモノ

前項ノ附添人ノ員數ハ左ニ依ル

一 甲種鐵道車輛

機關車 一車毎ニ 一人 其ノ他 五車迄毎ニ 一人

二 其ノ他

一口毎ニ 一人

會社ニ於テ附添人ヲ附スベキコトヲ請求セザル場合ト雖モ荷送人ニ於テ必要ト認ムルトキハ會社ノ承諾ヲ得テ之ヲ附スルコトヲ得前項ノ附添人ノ數員ヲ增加セントスルトキ亦同ジ

前各項ニ依リ附添人ヲ附シタルトキハ別表貨物料金率表所定ノ附添人料ヲ收受ス

會社ノ承諾ナキ者ガ附添人トシテ乘車シタルトキハ前項ノ料金ノ外其ノ既乘車區間ノ粁程ニ對シ附添人料ノ二倍相當額ヲ收受ス

附添人ハ貨物通知書（甲片）ヲ携行シ會社ニ於テ特ニ乘車スベキ車輛ヲ指定シタル場合ヲ除キ其ノ貨物ヲ積載シタル貨車（甲種鐵道車輛ニ在リテハ其ノ車輛）ニ乘車スベキモノトス

補則一 本條第三項ノ規定ニ依リ附添人ヲ附スルコト又ハ附添人ノ員數ヲ增加スルコトニ付申出アリタルトキハ站長ニ於テ其ノ諾否ヲ決定スベシ

補則二　本條第五項ノ場合料金ハ發見站ニ於テ運賃料金領收書ニ依リ之ヲ收受シ且前途ノ乘車ハ之ヲ拒絶スベシ

補則三　荷送人ヨリ貨物積載貨車ニ左ニ揭グルモノノ積載方申出アル場合ハ站長ニ於テ必要アリト認ムルモノニ限リ之ニ應ズベシ

1　動物運送ノ場合ニ於ケル其ノ飼料、給飼具

2　附添人ノ添乘スル場合ニ於ケル附添人ノ旅行用具、食料品

3　死體運送ノ場合ニ於ケル生鳥、花環、冥錢及燒紙

前項ノ貨物ニ對シテハ運賃及料金ヲ計算セザルモノトス

補則四　附添人ガ本條第六項ニ依ル貨物通知書（甲片）ヲ携行シ得ザルトキハ發站站長ハ便宜ノ用紙ニ貨物通知書ニ記載スベキ事項ヲ記入シ站長職印ヲ押捺シタル附添人證明書ヲ交付シ之ヲ携行セシムベシ

前項ノ證明書ハ著站ニ於テ回收シ貨物通知書（乙片）ニ添附スベシ

第二節　受　託

第十四條　運送ノ申込

貨物ヲ託送セントスルモノハ貨物ヲ提供シ一口毎ニ別表帳表樣式所定ノ運送狀ヲ以テ其ノ申込ヲ爲スコトヲ要ス但シ集貨附貨物ニ對シテハ貨物引換證ノ交付ヲ請求スルモノヲ除キ必要事項ヲ申告シ運送狀ノ提出ニ代フルコトヲ得

石炭鐵鑛礬土及石類ニシテ左ノ條件ヲ具フルモノハ別表帳表樣式所定ノ指定貨物運送狀ニ依リ之ヲ託送スルコトヲ得

一　車扱ナルコト

二　荷送人、荷受人、發站、著站、託受ノ時、積卸方法及品名等ヲ同ジクスルコト

三　貨物引換證ノ請求ヲ爲サザルコト

荷送人ハ運送狀ノ記載又ハ申告事項ニ付其ノ責ニ任ズ

死體、動物其ノ他會社ニ於テ必要アリト認ムル貨物ニ在リテハ運送狀ヲ提出シタル後會社ノ通知ヲ俟チテ貨物ヲ提供スルコトヲ要ス

荷送人ニ於テ前項ノ貨物ノ受託前運送ノ申出ヲ取消シタルトキハ會社ハ運送ノ準備ニ要シタル費用及貨車準備終了後ノ時間ニ對シ別表貨物料金率表所定ノ貨車留置料ヲ收受ス

註　運送狀ノ式紙ハ站ニ備ヘ置キ荷主ノ請求ニ依リ之ヲ交付ス但シ會社所定ノ樣式ニ依ル私製式紙ヲ使用スルコトヲ得

補則一　左ノ場合ニハ運送狀ノ記事欄ニ左ノ事項ヲ記入スベシ

1　運賃ノ割引（別表貨物特定運賃率表ニ依ルモノヲ除ク）其ノ他特殊ノ取扱ヲ爲ストキ　通達ノ種類及番號

2　運送狀ニ添附提出ノ書類アルトキ　書類名及其ノ他ノ要項

3　第十五條第一項第一號ニ依リ開扉ノ儘輸送スルトキ　「開扉」

4　第十五條第一項號二號ニ依リ共載輸送スル場合　「共載」

補則二　荷主記號ノ使用ヲ承諾シタル左ノ荷送人又ハ荷受人ニ對シテハ貨物引換證ヲ請求スル場合ヲ除キ其ノ住所又ハ營業所ノ記入ヲ省略セシメ氏名又ハ商號ハ記號ヲ以テ記入セシムルコトヲ得

荷主	記號	荷主	記號
華北運輸股份有限公司	カ	山東煤礦產銷股份有限公司	ヰ
蒙疆運輸股份有限公司	キ	永利化學工業管理所	エ
開灤礦務局	ク	啓新洋灰公司	ケ
華北石炭販賣股份有限公司	タ	北陸組	ホ

第十五條　免責事項

左ニ掲グル貨物ニ付發生シタル下記ノ損害ニ對シテハ會社ニ於テ賠償ノ責ニ任ゼザルモノトス

	貨物ノ種類	損害ノ種類
一	附添人ノ添乘スル場合ハ又變質シ易キ貨物若ハ動物ヲ有蓋貨車ニ積載シタル場合車扉ノ全部又ハ一部ヲ開キタル儘輸送スルモノ	開扉ニ因リ生ジタル損害
二	荷送人ノ請求ニ依リ種類ノ異ル家畜又ハ二口以上ノ家畜若ハ家畜ト他ノ貨物トヲ同一ノ貨車ニ共載輸送スルモノ	共載ニ因リ生ジタル損害
三	有蓋貨車ニ積載スベキ貨物ヲ無蓋貨車ニ積載シ又ハ家畜車等特殊ナ貨物ヲ積載スル構造ヲ有スル貨車ニ其ノ他ノ貨物ヲ積載シ輸送スルモノ	當該貨車使用ニ因リ生ジタル損害

左ニ掲グル場合ニハ下記ノ條件ヲ以テ運送スルコトヲ荷送人ニ於テ承諾シタルトキニ限リ運送ノ申込ニ應ズ此ノ場合荷送人ハ運送狀ニ特約條件（又ハ略號）ヲ記入シ條件毎ニ捺印スルコトヲ要ス

	特約ヲ爲ス場合	特約條件	略號
一	線路ノ支障其ノ他ノ事由ニ因リ輸送遲延ノ虞アル場合	延著ニ因リ生ズル損害賠償ノ請求ヲ爲サズ	チトヤ
二	貨物ノ減量、毀損等ヲ防クニ充分ナル荷造ナキモ他ニ損害ヲ及ボサズ且取扱上支障ナシト認ムル場合	荷造不備ニ因リ生ズル損害ハ荷主ノ負擔トス	ニトヤ

註　本條ノ家畜トハ、牛、馬、驢、騾、緬羊、山羊及豚ニシテ容器又ハ足枷ヲ用ヒザルモノヲ謂フ

補則　本條第二項第一號ニ依ル免責特約ハ鐵路局長ヨリ指示アリタルトキニ限リ之ヲ徵スベシ

第十六條　貨物ノ監査

會社ハ運送ノ申込ヲ受ケタルトキハ荷送人ノ申告ニ基キ貨物ノ品名、箇數、重量其ノ他ニ付監査ヲ爲ス

貨物ノ內容ニ就キ疑アルトキハ已ムヲ得ザル場合ヲ除キ荷送人ノ立會ヲ求メ荷造ヲ開キテ之ガ點檢ヲ爲ス

前項ニ依リ點檢ノ結果荷送人ノ申告ト相違スルトキハ點檢ニ要シタル費用及之ガ爲生ジタル損害ハ荷送人ノ負擔トス

補則一　監査ノ結果荷送人ノ申告ト相違スルトキハ荷送人ヲシテ運送狀ヲ訂正捺印セシメ又貨物ニ異狀アルトキハ運送狀ノ記事欄ニ其ノ現狀ヲ記入捺印セシムベシ

前項ノ場合荷造補修費其ノ他點檢ニ要シタル費用ハ別表帳表樣式所定ノ運賃料金領收書ヲ發行シ之ヲ收受スベシ

補則二　品名、荷造、形狀等ヲ同ジクスルモノハ相當箇數ヲ檢量シ平均重量ヲ求メ總重量ヲ算出スルコトヲ得

補則三　第二十八條第一號乃至第三號ニ依リ取扱フ貨物ニ對シテハ包裝其ノ他ニ異狀アルモノ等特ニ必要アル場合ヲ除キ重量ノ監査ヲ省略スベシ

補則四　重量監査困難ナル貨物アリタルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

第十七條　運送ノ受託

監査ノ結果運送ニ支障ナシト認メタルトキハ其ノ貨物ヲ受取リ運送ヲ受託ス但シ荷送人ガ貨車積込ヲ爲ス貨物ハ積込ヲ了シタル後之ヲ受託ス

受託ノ順序ハ扱種別毎ニ左ニ掲グル順位ニ從ヒ同號中ノ貨物ハ運送申込ノ順序ニ依ル但シ運輸上又ハ公益上必要アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　危險品

二　死體

三　動物及變質又ハ減量シ易キ貨物

四　其ノ他ノ貨物

補則　危險品（火藥類ヲ除ク）ヲ受託シタルトキハ別表帳表樣式所定ニ依リ貨物ノ各箇ニ荷票ヲ附スベシ但シ車扱貨物ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條　貨物通知書又ハ貨物引換證ノ交付

貨物ノ運送ヲ受託シタルトキハ荷送人ニ對シ貨物通知書ヲ交付ス但シ荷送人ノ請求アルトキハ左ノ站ニ限リ貨物引換證ヲ交付ス

京山線各站、前門、西便門、保定、保定南站、石門、順德、彰德、新鄉、坨里、周口店、天津西站、滄縣、泊頭、南霞口、東光、連鎖、桑園、德縣、濟南、泰安、兗州、臨城、柳泉、徐州、蚌埠、濟寧、棗莊、廣安門、西直門、南口、康莊、下花園、宣化、張家口、陽高、大同、豐鎖、官村、平地泉、厚和、包頭、石景山、門頭溝、雙橋、新通州、順義、懷柔、密雲、石匣、古北口、通州南站、通州、青島、青島埠頭、四方、滄口、高密、膠縣、坊子、濰縣、益都、張店、周村、博山、黌山、井陘、陽泉、榆次、井陘炭礦、岱岳、朔縣、太原北站、太原、太谷、口泉、連雲碼頭、海州、商邱、開封、

貨物通知書及貨物引換證ハ其ノ書換又ハ再交付ノ請求ニ應ゼス

貨物通知書及貨物引換證ノ樣式ハ別表帳表樣式所定ノ通トス

補則一 貨物通知書ハ左ニ依リ作成スベシ

1 運送狀又ハ集貨票ニ基キ必要事項ヲ記入スルコト

2 左ノ荷造ハ下記ノ略號ヲ以テ記入スルコトヲ得

荷造	略號	荷造	略號	荷造	略號
安平包	アン	叺入	カン	叺入	カン
莚包	コモ	甕入	カメ	俵入	タラ
藁包	ワラ	繩締	ナク	籠入	カコ
板締	イタ	枠締（入）	ワク	箱入	ハコ
桶入	オケ	針金締	ハリ	麻袋入	マ
袋入	フク	樽入	タル	布包	ヌノ
布包鐵帶締	テツ	行李	コリ	裸	○

3 左ノ記事ハ下記ノ略號ヲ以テ記入スルコトヲ得

記事	略號	記事	略號
荷主積卸	ニツオ	專用側線取卸	セオ
荷主積込	ニツ	專用側線積卸	セツオ
荷主取卸	ニオ	集配貨物	集配
專用側線積込	セツ	集貨附貨物（又ハ集貨料）	集
		配達附貨物（又ハ配達料）	配

4 遊車ヲ使用シタル場合ハ記事欄ニ遊車ノ貨車記號及番號ヲ記入スルコト

5 指定貨物運送狀ヲ以テ託送シタル貨物ニ對シテハ指定貨物通知書ヲ作成スルコト

補則二 貨物引換證ハ左ニ依リ作成スベシ

1 運送狀ニ基キ必要事項ヲ記入スルコト但シ特約條件其ノ他ノ略號ハ之ヲ用ヒザルコト

2 記名指圖式證券交付ノ請求アルトキハ貨物引換證面指圖文言中「荷受人殿又ハ本證指參人殿」トアルヲ「荷送人殿又ハ其ノ指圖人殿」ト改訂スルコト

3 記載ヲ改訂シタルトキハ其ノ改訂箇所ニ站長職印ヲ押捺スルコト

4　站長ノ氏名ヲ記入シ且站長職印ヲ押捺スルコト

補則三　貨物通知書（甲片ヲ除ク）ノ紛失等ニ依リ再製又ハ寫ヲ要スルトキハ別表帳表樣式所定ノ再製用貨物通知書ニ依ルベシ此ノ場合再製事由ヲ記入スベシ

補則四　輸送上ノ都合ニ依リ一口ノ貨物ヲ二車以上ニ分載スルトキハ關係運送書類ニ分載輸送ノ事由及數量ヲ記入シ分割ノ部分ニ對シテハ再製用貨物通知書ヲ作成スベシ

第十九條　構內運搬

荷主ヨリ同一站構內竝ニ站構內ヨリ分岐スル貨物支線、專用側線又ハ專用鐵道ニ跨リ一車ヲ使用スル貨物ノ運送申込アリタルトキハ運輸上支障ナキトキニ限リ之ガ申込ニ應ズ此ノ場合專用側線及專用鐵道內ニ於ケル貨物ノ積卸ハ荷主ノ負擔トス

前項ノ構內運搬ニ對シテハ別表貨物料金率表所定ノ構內運搬料ヲ收受ス但シ貨物支線又ハ專用側線ニ於テ貨物ノ積込又ハ取卸ヲ爲シタル場合ハ當該支線料又ハ專用側線入換料ヲ加算收受ス

構內運搬ノ申込ヲ爲サントスル者ハ運送狀ニ左ニ依リ記載スルノ外一般所定ニ依リ之ヲ當該站ニ提出スルコトヲ要ス

一　發站欄　貨物積込箇所

二　著站欄　貨物取卸箇所

三　記事欄　「構內運搬」

構內運搬貨物ニ對シテハ貨物通知書及貨物引換證ノ發行ヲ爲サズ

註　專用鐵道ニ跨ル構內運搬貨物ノ授受ハ當該站ニ於ケル貨車受渡線ニ於テ之ヲ爲ス

補則一　本條ノ料金ハ別表帳表樣式所定ノ運賃料金領收書ニ依リ之ヲ收受スベシ

補則二　貨物ノ引渡ヲ爲ストキハ荷受人ニ運送狀記事欄ニ受領ノ旨及其ノ年月日ヲ記入シ記名捺印セシムベシ

第三節　運　送

第二十條　輸送ノ順序

貨物ノ輸送順序ハ運輸上又ハ公益上必要アルモノニ對シテハ之ヲ他ノ貨物ニ優先シ其ノ他ノニ對シテハ受託ノ順序ニ依ル

補則　本條ニ依リ優先輸送ヲ爲ス貨物ハ別ニ之ヲ指示ス

第二十一條　積　卸

站ニ於ケル貨物ノ積卸ハ會社ニ於テ之ヲ爲ス但シ槽車積貨物及會社ニ於テ特ニ指定シタル貨物ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ貨物ノ積卸ハ別ニ定ムル貨物取扱區域ニ於テ之ヲ爲ス但シ荷主ヨリ貨物取扱區域外ニ於テ貨物ノ積卸ノ申出アリタル場合ハ車扱貨物ニシテ且運輸上支障ナキトキニ限リ之ニ應ズ此ノ場合別表貨物料金率表所定ノ貨車入換料ヲ收受シ會社ニ於テ必要ト認ムルトキハ之ガ積卸ハ荷主ノ負擔トス

荷主ニ於テ貨物ノ積込又ハ取卸ヲ爲ストキハ左ニ依ルモノトス

一　積卸時間ハ貨物ノ積込又ハ取卸毎ニ會社ガ貨車準備終了ノ通知又ハ貨物到著ノ通知ヲ發シタル時ヨリ起算シ四時間（夜間ニ在リテハ五割增）トス但シ會社ニ於テ必要アリト認ムルトキハ之ヲ伸縮スルコトアルベシ貨物ノ引渡手續終了後荷主ノ責ニ歸スベキ事由ニ因リ貨車ヲ取卸箇所ニ廻入スルコト能ハザリシトキハ廻入ニ至ル迄ノ時間ハ之ヲ積卸時間ニ算入ス

二　積卸箇所ニ於ケル受託前又ハ到著貨物積載貨車廻入後生ジタル貨物、貨車竝ニ貨車用具ノ損失ハ荷主ノ負擔トス

三　荷主ガ所定ノ時間內ニ積込又ハ取卸ヲ了セザルトキハ以後ノ時間ニ對シ貨車留置料ヲ收受シ必要アルトキハ運送ノ

準備ヲ撤シ又ハ貨物ノ取卸ヲ爲スコトアルベシ此ノ場合運送ノ準備ニ要シタル費用及貨車準備終了後ノ時間ニ對シ貨車留置料ヲ收受ス

註　貨物ノ貨車積載方竝ニ積載制限ハ別ニ之ヲ定ム

補則一　本條ノ貨物取扱區域ハ站毎ニ鐵路局長ニ於テ之ヲ指定スベシ

補則二　本條第一項但書及第二項但書ノ場合ノ貨物ノ指定及積卸ノ承認ハ站長ニ於テ之ヲ爲スベシ

補則三　本條第三項第一號ノ規定ニ依ル積卸時間ノ伸縮ハ站長ニ於テ之ヲ爲シ運送關係書類ノ記事欄ニ其ノ要旨ヲ記入スベシ

第二十二條　貨物ノ積替

準軌線ト挾軌線間ヲ通ジ運送セラルル場合接續站ニ於ケル貨物ノ積替ハ會社ニ於テ之ヲ爲シ車扱貨物ニ對シテハ別表貨物料金率表所定ノ積替料ヲ收受ス

註　本條ノ接續站ハ楡次站トス

第四節　引渡

第二十三條　到著ノ通知

貨物ガ著站ニ到著シ引渡ノ準備ヲ了シタルトキハ配達附ノ貨物ヲ除キ遲滯ナク荷受人ニ貨物到著ノ通知ヲ發ス

註一　到著通知ハ貨物引換證ヲ發行シタル場合ニ在リテモ證券面ノ荷受人ニ對シテ之ヲ爲スモノトス

註二　輸送上ノ都合ニ依リ一口ノ貨物ヲ二車以上ニ分載シ輸送シタル場合ノ到著通知ハ特ニ必要アル場合ノ外全部ノ引渡準備ヲ了シタルトキ之ヲ爲スモノトス

第二十四條　引取期間

荷受人ハ會社ガ貨物到著ノ通知ヲ發シタル時又ハ通知ニ代ルベキ掲示ヲ爲シタル時ヨリ起算シ左ノ期間內ニ引取ヲ爲スコトヲ要ス

一　死體、動物、危險品（火藥類ヲ除ク）及汚穢品ニ在リテハ六時間

二　其ノ他ノ食物ニ在リテハ當日共二日間但シ電話及口頭ニ依リ通知ヲ發シタル場合ハ左ノ期間トス

1　十二時以前ニ通知シタルモノハ當日中

2　十二時後ニ通知シタルモノハ翌日十二時迄

第一項ノ引取期間ハ會社ニ於テ必要アリト認ムルトキハ之ヲ伸縮スルコトアルベシ

第一項ノ期間ガ滿了スルモ貨物ノ引取ナキトキハ會社ハ引取期間經過後引渡ノ時迄ノ時間ニ對シ別表貨物料金率表所定ノ貨物保管料ヲ收受ス

補則一　死體ヲ本條ノ引取期間內ニ引渡スコト能ハザルトキハ必要ニ應ジ官憲ニ屆出ヅルト共ニ鐵路局長ニ速報スベシ

補則二　本條第二項ノ規定ニ依リ引取期間ヲ伸縮スル必要アリト認ムルトキハ左ニ依ルベシ

1　貨爲輻輳等ノ爲引取期間ヲ短縮スル必要アルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承クルコト

2　天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ依リ引取期間ヲ延長スル必要アルトキハ站長ニ於テ適宜之ガ延長ヲ爲シ運送關係書類記事欄ニ其ノ要旨ヲ記入シ站長ニ於テ認印ヲ爲スコト

第二十五條　貨物ノ引渡及債務ノ辨濟

貨物ハ荷受人ノ請求ニ依リ著站ニ於テ之ガ引渡ヲ爲ス貨物引換證附貨物ニ在リテハ該證券ト引換ニ其ノ他ノ貨物ニ在リテハ荷受人ノ印章ニ依リ引渡ヲ爲ス此ノ場合貨物引換證ニハ其ノ裏面ニ記名捺印スルコトヲ要ス

前項ノ場合貨物引換證ノ紛失其ノ他ノ事由ニ依リ引渡請求者ニ於テ有效ノ證券ヲ提出シ難キトキハ引渡請求者ニ於テ其

ノ權利ヲ證明シ又ハ會社ノ相當ト認ムル擔保ガ提供セラレタルトキニ限リ貨物ノ引渡ヲ爲ス

貨物ノ引渡請求者ハ未拂ノ運賃、料金、立替金其ノ他運送ニ關シ會社ニ對シテ生ジタル債務ノ辨濟ヲ爲スコトヲ要ス

荷受人又ハ貨物引換證所持人ガ貨物ノ貨車取卸ヲ爲ストキハ第二項乃至第四項ノ規定ニ依リ引渡ノ手續ヲ了シタル後當該貨物積載貨車ヲ取卸箇所ニ廻入スルモノトス此ノ場合ハ貨車廻入ヲ了シタルトキヲ以テ引渡ノ時ト看做ス

註　本條第三項ニ依リ提出セラレタル擔保ハ貨物引換證ガ提出セラルルカ又ハ其ノ形態若ハ效力ノ失ハレタル事實ニ就キ證明ガ爲サレタル場合ヲ除キ第六十五條所定ノ期間經過後ニ非ザレバ之ガ返還ヲ爲サズ

補則一　貨物引換證紛失ノ旨屆出アルトキハ要項ヲ具シ鐵路局長ニ報告スベシ

補則二　本條第三項ニ依リ擔保ヲ提供セシムル場合ハ證券發行荷物擔保引渡手續ノ定ムル所ニ依ルベシ

第二十六條　引渡濟貨物ノ搬出、留置

荷受人ハ貨物ノ引渡ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ搬出スルコトヲ要ス荷受人ガ左ノ期間內ニ貨物ノ搬出ヲ了セザルトキハ其ノ後搬出完了迄ノ時間ニ對シ貨物留置料ヲ收受ス但シ荷受人又ハ貨物引換證所持人ガ貨物ノ貨車取卸ヲ爲ス場合ノ貨物留置料ノ收受期間ハ引取期間滿了ノ時ヨリ搬出完了ノ時迄ノ時間トス

一　引取期間內ニ引渡ヲ受ケタルモノハ引取期間滿了ノ時迄

二　引取期間經過後引渡ヲ受ケタルモノハ既ニ收受シタル貨物保管料計算期間滿了ノ時迄

前項ノ貨物留置料ハ一口每ニ引渡ノ際ニ於ケル運賃計算重量ニ依リ之ヲ計算ス

留置貨物ニ對シテハ會社ハ必要ニ應ジ之ガ搬出ニ就キ期間ヲ定メ催告ヲ發ス此ノ場合指定ノ期間內ニ搬出ヲ爲サザルトキハ荷主ノ負擔ニ於テ貨物ノ換價又ハ留置場所ノ變更ヲ爲スコトアルベシ

補則一　本號第四項ノ規定ニ依リ留置貨物ノ換價ヲ爲サントスルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

換價ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク荷受人ニ其ノ旨通知スベシ

補則二　本條第二項第一號及第二號ノ時間ハ天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ依リ搬出困難ナルカ又ハ站ノ狀況ニ依リ其ノ儘留置セシムルモ支障ナシト認ムルトキハ站長ニ於テ相當期間延長スルコトヲ得

第五節　集貨及配達

第二十七條　集貨又ハ配達ノ引受

小口扱貨物ハ荷送人ノ請求ニ依リ別表料程表ニ定ムル集配取扱站ニ於テ其ノ集配區域內ニ限リ集貨又ハ配達ノ取扱ヲ爲ス但シ左ニ揭グル貨物ハ此ノ限ニ在ラズ

一　死體、動物、危險品及特種貴重品

二　一箇ノ長サ六米、重量三百瓩又ハ容積一立方米ヲ超ユルモノ

貨物ノ集貨又ハ配達ヲ引受ケタルトキハ別表貨物料金率表所定ノ集貨料又ハ配達料ヲ收受ス

第二十八條　集貨附貨物ノ受取

前條ニ依リ集貨ノ引受ヲ爲シタル貨物ハ荷送人指定ノ箇所ニ於テ之ガ受取ヲ爲ス此ノ報合ハ荷送人ニ對シ別表帳表樣式所定ノ集貨票ヲ交付ス

第二十九條　配達附貨物ノ引渡

配達附貨物ハ屆先ニ於テ之ガ引渡ヲ爲ス

第三十條　荷受人ノ申出ニ依ル配達又ハ站渡

配達附貨物ニ對シ荷受人ヨリ站渡ノ請求アリタルトキハ配達ニ著手前ニ限リ之ニ應ジ既ニ收受シタル配達料ハ之ガ拂戻ヲ爲サズ

配達附ニ非ザル貨物ニ對シ荷受人ヨリ配達ノ請求アリタルトキハ支障アル場合ヲ除キ所定ノ配達料ヲ收受シ配達ヲ爲ス

第三十一條 配達ノ支障

配達附貨物ヲ會社ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ因リ配達ヲ爲スコト能ハザルトキハ配達附ニ非ザル貨物トシテ處理ス

前項ノ場合配達料ハ配達ニ著手シタル場合ヲ除キ之ヲ收受セズ既ニ收受シタル配達料ハ荷受人ニ對シ之ガ拂戻ヲ爲ス

註 配達附貨物ノ取扱制限ニ反シ又ハ配達區域外ノ屆先ヲ指定シタル貨物ヲ配達ニ著手前發見シタルトキハ配達ヲ爲スモ支障ナシト認ムルトキハ其ノ儘配達ヲ爲シ然ラザルモノハ本條第一項ノ例ニ依リ處理ス

第三章 運賃及料金

第一節 通則

第三十二條 一口ノ運賃及料金

運賃及料金ハ一口毎ニ之ヲ計算ス但シ指定貨物運送狀ニ依リ託送シタル場合ノ運賃ハ一運送狀毎ニ之ヲ計算ス

運賃又ハ料金ヲ計算スル場合ニ於テ最後ニ生ジタル一角（儲備銀行券ニ在リテハ一圓）未滿ノ端數ハ之ヲ一角（儲備銀行券ニ在リテハ一圓）ニ運賃ト料金（料金ガ二種以上ナルトキハ各種別毎ニ）トヲ各別ニ切上グ

補則 會社ノ都合ニ依リ一口ノ貨物ヲ其ノ數量ニ適應セザル貨車ニ積載シタル場合ニ於ケル運賃及料金ノ計算ニ就テハ所管鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

第三十三條 運賃、料金等ノ收受

運賃、料金其ノ他運送ノ爲ニ要スル費用ハ運送受託ノ際荷送人ヨリ之ヲ收受ス

補則 運賃、料金等ハ資力、信用充分ナリト認メタル者ニ對シテハ當日分ヲ取纏メ之ヲ收受スルコトヲ得

第二節 運賃及料金ノ計算

第三十四條 運賃ノ計算

運賃ハ貨物ノ運送粁程、扱種別及等級ニ應ズル運賃率竝ニ運賃計算重量ニ依リ之ヲ計算ス運賃ノ最低額ハ小口扱貨物ニ在リテハ一圓、車扱貨物ニ在リテハ運賃計算重量一瓲ニ付三圓ノ割合ニ依リ計算シタル額トス

註 最低運賃ハ運賃率ノ割引又ハ割增ヲ爲ス場合ニ於テモ割引又ハ割增ヲ爲シタル結果ニ對シ之ヲ適用スルモノトス

第三十五條 貨物ノ等級

貨物ノ等級及之ガ適用方ハ別表貨物等級表ニ之ヲ定ム

第三十六條 粁程ノ計算

運賃ヲ計算スル場合ノ粁程ハ左ニ依ル

一 別表粁程表ニ基キ全運送區間ヲ通ジ計算ス

二 運送徑路ガ二途以上アルトキハ最短徑路ノ粁程ニ依ル

三 會社ニ於テ徑路ノ指定ヲ爲シタルトキハ當該指定徑路ノ粁程ニ依ル

註 運送徑路ガ二途以上アル場合ニ於テ天災事變又ハ運輸上ノ必要ニ因リ運賃ノ低廉ナル徑路ニ依リ難キ時ト雖モ當該徑路經由ノ貨物ニ對シ受託停止ヲ爲サザルカ又ハ特ニ徑路ノ指定ヲ爲サザル限リ其ノ徑路ノ粁程ニ依リ運賃ヲ計算ス

第三十七條 運賃率

運賃率ハ別表貨物運賃率表ニ之ヲ定ム

貨物等級表上小口乘率ノ定アル貨物ノ小口扱運賃率ハ當該貨物ノ運賃率ニ所定乘率ヲ乘ジタルモノトス

貨物等級表上小口乘率ノ定アルモノニシテ標記荷重三十瓲未滿ノ貨車（以下小型車ト稱ス）ニ積載シ得ル數量ノ貨物ヲ車扱トシ小型車ヲ使用シタルトキハ車扱運賃率ノ二割增トス規則第十九條ニ定ムル構內運搬料計算ノ場合亦同ジ

註　二車以上ニ跨ル貨物又ハ之ト他ノ貨物トヲ共ニ託送スル場合小型車ニ積載スルトキハ本條第三項ニ依ル割増ハ之ヲ爲サズ

第三十八條　貨物ノ重量

貨物ノ重量ハ左ノ各號ニ依ル此ノ場合一瓩未滿ノ端數ハ一口毎ニ之ヲ一瓩ニ切上グ

一　左ニ揭グル貨物ノ一箇ノ重量及一瓲當リノ箇數ハ左ニ依ル（以下標準數量ト稱ス）

品種		荷造	一箇ノ瓩數	一瓩當リ箇數（車扱ニ限ル）
紡績綿糸	四〇玉	布包帶鐵締	一九八	五・一
〃	二〇〃	莚包	一〇〇	一〇・〇
鐵釘	六〇瓩	樽入	六四	一五・七
小麥粉	二二瓩	袋入	二二	四五・五
白米	四三〃	叺入	四六	一一・八
〃	六〇〃	叺入	六五	一五・四
〃	三〇〃	袋入	三一	三二・三
麥酒大瓶	四打	箱入	七七	一三・〇
〃 〃	三〃	透箱入	三五	二八・五
砂糖	九〇瓩	袋入	九三	一〇・八
〃	八一〃	安平包	八四	一一・九
〃	六〇〃	〃	六三	一六・〇
〃	三〇〃	袋入	三一	三二・五
食鹽	六〇〃	俵又ハ叺入	六三	一六・〇
醬油	一六立	樽入	二四	四一・七
セメント	五〇瓩	袋入	五一	一九・七
〃	五〇〃	紙袋入	五〇・五	一九・九

二　死體　一體ニ付二瓲

三　甲種鐵道車輛

自重二瓲又其ノ未滿ニ付一瓲

四　前各號以外ノ貨物ノ重量ハ其ノ實重量ニ依ル

註　一瓲當リ箇數ニ依リ數量ヲ計算スル場合ニ於テ計算上生ジタル一箇未滿ノ端數ハ其ノ品種ヲ異ニスルモノ毎ニ之ヲ切捨ツ

第三十九條　運賃計算重量及最低重量

小口扱貨物ノ運賃計算重量ハ前條ニ依リ計算セラレタル重量トス但シ十瓩未滿ハ十瓩ニ切上ゲ十瓩單位トシ其ノ最低ヲ三十瓩トス

車扱貨物ノ運賃計算重量及最低重量ハ使用貨車ノ標記荷重トス但シ甲種鐵道車輛ニ在リテハ前條所定ニ依ル

第四十條　濶大貨物ニ對スル附加運賃

一箇ノ重量一瓲ヲ超ユルモノハ一箇毎ニ左ノ附加運賃ヲ收受ス

一瓲ヲ超ユルモノ	五圓
三瓲ヲ超ユルモノ	三〇圓
五瓲ヲ超ユルモノ	六〇圓
一〇瓲ヲ超ユルモノ	一二〇圓

二〇瓲ヲ超ユルモノ　三〇〇圓
三〇瓲ヲ超ユルモノ　五五〇圓
長サ一〇米ヲ超ユル貨物ニ在リテハ一口全部ニ對シ左ノ附加運賃ヲ收受ス
一〇米ヲ超ユル場合　所定運賃ノ三割相當額
二〇米ヲ超ユル場合　所定運賃ノ一〇割相當額
重量及長サニ對シ同時ニ附加運賃ヲ計算スル場合ハ一口中ノ重量ニ對スル附加運賃ノ合計ト長サニ對スル附加運賃トヲ比較シ何レカ高キ方ノ附加運賃ニ依ル
甲種鐵道車輛、死體及容器又ハ足枷ヲ用ヒザル動物ニ對シテハ本條ヲ適用セズ
註一　本條ノ附加運賃ハ最低運賃ト別個ニ之ヲ取受ルモノトス
註二　本條ノ附加運賃ハ規則第十九條ニ定ムル構内運搬ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條　料金ノ計算
料金ハ別表貨物料金率表所定ニ依リ之ヲ計算ス此ノ場合一口中同一種別ノ料金率ニシテ料率ヲ異ニスルモノハ其ノ最高ノ料金率ニ依ル
前項ノ料金計算重量ハ第三十九條、粁程ノ計算ハ第三十六條所定ニ依ル
小口扱貨ニシテ貨物等級表上小口乘車ノ定アル貨物ノ貨物保管料、貨物留置料、集貨料及配達料計算ノ場合ノ料金率ハ當該貨物ノ料金率ニ所定乘率ヲ乘ジタルモノトス
料金ノ最低額ハ其ノ種別ヲ異ニスルモノ毎ニ二角トス
貨物保管料、貨物留置料及貨車留置料ハ貨物輻輳ノ緩和其ノ他公益上ノ事由ニ基キ必要アリト認メタルトキハ十倍迄增

額スルコトアルベシ
補則　本條ニ依リ料金ノ增額ヲ爲ストキハ鐵路局長ニ於テ其ノ站、期間及料金率ヲ指定スベシ

第四章　指圖及事故

第一節　指圖

第四十二條　指圖ノ申込
荷送人又ハ貨物引換證所持人ハ發站又ハ著站ニ於テ貨物通知書又ハ貨物引換證ヲ提出シテ貨物ノ一口全部ニ付左ニ掲グル指圖ヲ爲スコトヲ得但シ運輸上支障アルトキハ之ニ應ゼザルコトアルベシ
一　貨物發送前ノ場合
　託送ノ取消
二　第四十七條又ハ第四十八條ノ規定ニ依リ會社ヨリ指圖ヲ求メタル場合
　發站送還、著站又ハ荷受人ノ變更
前項ノ指圖ヲ爲サントスルトキハ指圖申込者ニ於テ貨物通知書ノ適當欄（貨物引換證ニ在リテハ便宜用紙）ニ指圖ノ要旨ヲ記入捺印スルコトヲ要ス
補則一　荷受人ガ商號又ハ記號ヲ變更シタル爲ノ荷受人名ノ訂正其ノ他同音異字等ニ基ク誤記訂正ニシテ事實上荷受人ノ同一ナルモノハ指圖トシテノ取扱ヲ爲サズ便宜訂正シタル上其ノ理由ヲ附記スベシ
補則二　貨物引換證ヲ提出セズシテ指圖ノ申込アリタル場合ノ取扱方ニ就テハ證券發行荷物擔保引渡手續ノ定ムル所ニ依ル
補則三　貨物通知書ヲ紛失等ノ爲之ヲ提出セズシテ指圖ノ申込アルトキハ保證狀ヲ徵シ之ガ受附ヲ爲スコトヲ得但シ指

圖申込者ガ正當荷送人ナルコト明ラカナル場合ハ保證狀ヲ徵セズシテ之ガ受附ヲ爲スコトヲ得

補則四 荷送人ヨリ第二十條ノ規定ニ依ル優先運送貨物ニ付本條ノ指圖ノ範圍ヲ超エ著站變更ノ申出アリタルトキハ事情調査ノ上站長ニ於テ已ムヲ得ザルモノト認ムルモノニ限リ之ガ處置ニ付鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

第四十三條 指圖ノ受理、處理

指圖ノ申込ヲ受理シタルトキハ受理站ニ於テ別表貨物料金率表所定ノ指圖手數料ヲ收受ス但シ會社ノ責ニ歸スベキ場合及第四十七條ノ場合ニ於テ指定ノ期間內ニ申込アリタル指圖ニ就テハ此ノ限ニ在ラズ

指圖ヲ受理シタルトキハ運賃、料金及費用ハ左ニ依リ指圖申込者ニ對シ追徵又ハ拂戻ヲ爲ス

一 託送ノ取消

既收運賃、料金等ノ全額ヲ拂戻ス但シ會社ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ依リ指圖ガ爲サレタルトキハ左ノ料金及費用ヲ收受ス

1 集貨ヲ爲シタルトキハ集貨料

2 受託ノ時ヨリ指圖申込者ニ貨物ヲ引渡シタル時迄ノ時間ニ對スル貨物保管料

3 車扱貨物ニ在リテハ當該貨物積込箇所ニ貨車ヲ廻入シタル時ヨリ指圖ヲ受理シタル時（荷主積込ノモノニ在リテハ荷主ニ於テ貨物ノ取卸ヲ了シタル時）迄ノ時間ニ對スル貨車留置料

4 會社ニ於テ貨物ノ貨車積込ヲ爲シタルトキハ之ガ取卸ヲ爲シ貨物積卸ノ費用トシテ其ノ實費

5 貨物取扱區域外ニ於テ貨物ノ貨車積込ヲ爲ス場合入換著手後ニ在リテハ所定ノ貨車入換料

6 特ニ常備站ヨリ專屬車ノ廻送ヲ爲シタルトキハ當該區間ノ往復料程ニ對シ別表貨物料金率表所定ノ貨車廻送料

二 發站送還

1 會社ノ責ニ歸スベキ場合

既收ノ運賃及料金ノ全額ヲ拂戻ス

2 其ノ他ノ場合

發站貨物所在站間ノ運賃及料金ヲ往復各別ニ打切リ計算シ合算シタルモノト既收運賃及料金トノ差額ヲ追徵又ハ拂戻ス

第四十七條第一項ノ場合ニ於テ指定ノ期間內ニ指圖ガ爲サレズシテ送還スルトキハ指定ノ期間經過後第四十八條ノ規定ニ依リ指圖ガ爲サレタルトキハ著站ニ於テ到著通知ヲ發シタル時ヨリ指圖受理ノ時迄ノ時間ニ對シ貨物保管料及貨車留置料ヲ收受ス

三 著站變更

1 會社ノ責ニ歸スベキ場合

發站變更著站間ノ粁程ニ依リ計算シタル運賃及料金ト既收ノ運賃及料金トノ差額ヲ追徵又ハ拂戻ス

2 其ノ他ノ場合

發站貨物所在站、貨物所在站變更著站間ノ運賃及料金ヲ各別ニ打切リ計算シ合算シタルモノト既收運賃及料金トノ差額ヲ追徵又ハ拂戻ス

前項ノ場合貨物所在站ニ於ケル貨物保管料及貨車留置料ハ第二號2第二項ノ例ニ依リ計算收受ス

四 荷受人ノ變更

原荷受人ニ貨物到著ノ通知ヲ發シタル時ヨリ指圖ヲ受理シタル時迄ノ時間ニ對スル貨物保管料及貨車留置料ヲ收受ス

註 貨車ノ常備站及專屬車ニ關シテハ貨物輸送規程參照

補則一　託送取消ノ申込ヲ受ケタルトキハ左ニ依リ處理スベシ

1　指圖ニ伴フ運賃、料金其ノ他ノ費用ノ收受又ハ拂戻ハ荷物賃訂正通知書ヲ發行シ之ヲ爲スコト

2　貨物通知書（甲片ヲ含ム）、貨物引換證ハ事由ヲ附記ノ上一括審査課ニ提出ノコト

補則二　發站送還、著站變更又ハ荷受人變更ノ指圖ノ申込ヲ受ケタルトキハ左ニ依リ處理スベシ

1　指圖受理站ハ貨物所在站（指定貨物通知書中ノ貨物ノ一部ニ就キ指圖ヲ受理シタル場合ハ貨物所在站、原著站及變更著站）ニ對シ直ニ指圖ノ要旨ヲ電報スルコト

2　貨物所在站ハ貨物通知書乙、乙ノ二片及乙ノ三片ニ指圖ノ要旨ヲ記入シ關係事項ヲ訂正シ貨物ト共ニ新著站又ハ發站ニ送付スルコト此ノ場合原荷札ハ之ヲ抹消シ相當スル荷札ヲ作成スルコト

3　貨物所在站ハ指圖ノ爲貨物保管料、貨車留置料又ハ其ノ他ノ費用ヲ收受スベキ場合ハ其ノ金額及計算ノ基礎ヲ指圖受理站ニ電報ヲ以テ通知スルコト

4　指圖ニ伴フ運賃、料金其ノ他ノ費用ノ追徵若ハ拂戻ヲ爲ストキハ受理站ニ於テ荷物賃訂正通知書ヲ發行シ之ヲ爲スコト

5　曩ニ提出セシメタル貨物通知書又ハ貨物引換證ハ受理站ニ於テ指圖ノ要旨ヲ記入シ指圖申込者ニ返附スルコト

6　指定貨物通知書中ノ貨物ノ一部ニ就キ指圖ヲ受理シタル場合ハ指定貨物通知書丁片ハ左ニ依リ處理スルコト

イ　原著站ニ於テハ原貨物通知書ニ指圖ノ要項ヲ記入ノコト

ロ　變更著站ニ於テハ指圖サレタル部分ニ對シ再製用貨物通知書ヲ作成シ貨物ノ引渡終了後審査課ニ提出ノコト

7、荷受人變更ノトキハ變更荷受人ニ對シ貨物到著ノ通知ヲ發スルコト

第二節　事　故

第四十四條　滅失、毀損等ニ對スル處理

貨物ノ滅失又ハ毀損ヲ發見シタルトキハ必要ニ應ジ荷主ニ其ノ旨ノ通知ヲ發ス貨物ニ對シ差押ヘ其ノ他官憲ノ處分又ハ命令アリタルトキ亦同ジ

貨物ノ全部ガ滅失シタルトキハ運賃、料金其ノ他ノ費用ノ金額ヲ、貨物ノ一部ガ滅失シタルトキハ其ノ殘存部分ニ相當スル運賃、料金其ノ他ノ費用ヲ控除シタル殘額ヲ拂戻ス但シ其ノ滅失ガ貨物ノ性質、荷造ノ不完全其ノ他荷主ノ責ニ歸スベキ事由ニ基因スルコトヲ證明シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

荷主ノ責ニ歸スベキ事由ニ因ル荷崩又ハ荷造破損等ノ爲ノ積替、手當等ニ要シタル費用及之ガ爲貨車ノ留置ヲ爲シタルトキハ其ノ留置時間ニ對シ所定ノ貨車留置料ヲ收受ス

荷主ノ責ニ歸スベキ事由ニ因リ官憲ノ沒收處分アリタル場合會社ハ既收運賃及料金ハ之ガ拂戻ヲ爲サズ

補則一　本條第二項ノ運賃ノ拂戻方請求アルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

補則二　本條第三項ノ料金及費用ハ積替、手當等ヲ爲シタル站ニ於テ貨物通知書ニ記入スルト共ニ荷物賃訂正通知書ヲ發行シ著站ニ於テ荷受人ヨリ之ヲ收受スベシ

補則三　積載貨物ノ脫落、荷崩又ハ積載貨車ノ故障ヲ發見シタルトキハ積替其ノ他適宜ノ手當ヲ爲シ輸送困難ナルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

補則四　積殘貨物ニ對シテハ再製用貨物通知書ヲ作成シ直ニ追送ノ手配ヲ爲シ且關係ノ向ニ其ノ旨通知スベシ

第四十五條　品名、數量等ノ相違ニ對スル處理

貨物ノ品名、性質、數量等ガ運送狀ノ記載又ハ荷送人ノ申告ト相違スルトキハ會社ハ必要ニ應ジ其ノ輸送ヲ中止シ又ハ他ノ貨車ニ積替若ハ其ノ超過部分ヲ分割輸送ス

前項ノ場合運賃及料金ガ事實ニ基キ計算シタル正當額ニ相違スルトキハ過剩額ハ之ヲ荷送人ニ拂戻シ不足額ハ荷受人又ハ荷送人ヨリ追徴ス

前項ノ正當運賃及料金ハ左ニ依リ之ヲ計算ス

一　一口トシテ取扱ヒ得ル貨物ノミナル場合（車扱貨物ニ過積アルモ其ノ儘運送シ得ル場合ヲ含ム）ハ其ノ全數量ヲ一口トシテ原扱種別ニ依リ運賃及料金ヲ計算ス

二　一口トシテ取扱フコトヲ得ザル貨物ヲ一口中ニ混ジタル場合ハ一口トシテ取扱ヒ得ル貨物毎ニ別口トシテ原扱種別（原扱種別ニ依ルコトヲ得ザルモノナルトキハ現品相當ノ扱種別）ニ依ル運賃及料金ヲ計算ス但シ車扱貨物ニシテ其ノ混ジタルモノヲ別口ト爲シ一車ヲ使用シタルトキハ車扱、其ノ他ノ場合ハ小口扱ニ依ル運賃及料金トス

三　車扱貨物ノ數量ガ貨車積載制限ヲ超過シ分割輸送ヲ要スル場合ハ積載制限内ノ數量ニ對シ原扱種別ニ依リ計算シタル運賃及料金ト超過數量ニ對シ小口扱ニ依リ計算シタル運賃及料金トノ合算額トス但シ當該超過數量ニ對シ一車ヲ使用シタル場合ニ於ケル運賃及料金ハ車扱ニ依ル

四　第二號及第三號ノ事實ガ競合シタルトキハ第二號ニ依リ別口ト爲シタル後第三號ニ依リ計算ス

第一項ノ場合積替ノ爲貨車ノ留置ヲ爲シタルトキハ其ノ留置時間ニ對スル所定ノ貨車留置料及積替ニ要シタル費用ヲ收受ス

補則一　死體又ハ危險品ガ他ノ品名ヲ以テ託送セラレ若ハ所定ノ荷造ヲ爲サズシテ託送セラレタルトキハ必要ニ應ジ所管鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

補則二　貨物ノ品名又ハ數量ノ相違ヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ旨關係站ニ電報スベシ

補則三　運賃、料金等ノ拂戻ハ發站ニ於テ運送人ニ對シ追徴ハ著站ニ於テ荷受人（荷受人ニ於テ支拂ヲ爲サザルトキハ荷送人）ニ對シ荷物賃訂正通知書ニ依リ之ヲ爲スベシ

補則四　本條ノ場合運賃及料金ニ移動アルモ其ノ總額ニ於テ一口ニ付一圓未滿ニシテ原運賃、料金ガ收受後ナルトキハ貨主ヨリ申出アリタルトキニ限リ追徴又ハ拂戻ヲ爲ス

補則五　途中站ニ於テ過積ヲ知リタル場合ハ前途ノ輸送ニ支障ナキコトヲ確認シタルモノハ其ノ儘輸送ヲ繼續シ支障アリト認ムルモノハ他ノ貨車ニ積替又ハ其ノ超過部分ヲ分割ノ上輸送スベシ

補則六　運賃、料金等ニ關係ナキ運送關係書類ヲ訂正スル必要アルトキキハ更正通知書ヲ作成シ關係站ニ通知スベシ

第四十六條　品名、數量等ノ相違ニ對スル加重金

前條ノ規定ニ依リ不足運賃ノ追徴ヲ要スルモノニ對シテハ不足運賃ヲ追徴スルノ外其ノ三倍ノ加重金ヲ收受ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　小口扱貨物及會社ニ於テ積込ヲ爲シタル車扱貨物ノ數量超過

二　荷主ニ於テ積込ヲ爲シタル貨物ノ數量ノ百分ノ一以内ノ超過但シ橋秤ニ依ルニ非ザレバ檢量困難ナル貨物ニ在リテハ百分ノ五以内ノ超過

三　品名其ノ他ノ相違ニ付會社ニ於テ知リタル以前ニ荷送人ヨリ訂正ヲ申出タルトキ

危險品（火藥類ヲ除ク）ガ他ノ品名ニ依リ託送セラレタルトキハ會社ハ前項ノ規定ニ依ルノ外其ノ包裝込實重量ニ對シ一瓩又ハ其ノ未滿ニ付一圓ノ加重金ヲ收受ス

前各項ノ規定ニ依ル加重金ハ荷送人ノ申告シタル發著區間ニ對スル正當運賃ヲ基礎トシテ計算シ荷送人ヨリ之ヲ收受ス但シ荷受人ガ貨物ノ引取ヲ爲ス場合ハ荷送人ニ於テ既ニ支拂ヲ爲シタルトキヲ除クノ外荷受人ヨリ之ヲ收受ス

補則　前條補則四ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條　天災事變其ノ他ノ事故ノ場合ニ於ケル處理

天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ運送ニ著手シ又ハ之ヲ繼續スルコト能ハザルトキハ會社ハ遲滯ナク荷送人ニ其ノ旨通知ヲ發シ相當ノ期間ヲ定メテ第四十二條ノ指圖ヲ求ム但シ荷送人ノ指圖ヲ俟ツトキハ損害ヲ大ナラシムル虞アリト認ムル場合ハ荷主ノ負擔ニ於テ貨物ノ換價其ノ他機宜ノ處置ヲ爲スコトアルベシ

前項本文ノ場合ニ於テ指定ノ期間ヲ經過スルモ指圖ガ爲サレザル場合會社ハ荷主ノ費用ヲ以テ貨物ノ貨車取卸又ハ發站ニ送還ヲ爲スコトアルベシ

補則一　本條ノ場合ハ發著站、受託月日、品名、數量等ヲ鐵路局長ニ速報シ又他ノ運送徑路ニ依リ運送ヲ爲スベキ場合ノ取扱方等ニ關シ其ノ指示ヲ承クベシ

補則二　本條第一項ニ依リ換價ヲ爲サントスルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

第四十八條　引渡支障貨物ノ處理

會社ハ左ノ場合ニハ發站ヲ介シ荷送人ニ其ノ旨ノ通知ヲ發シ相當ノ期間ヲ定メテ第四十二條ノ指圖ヲ求ム

一　荷受人ヲ確知スルコト能ハザルトキ

二　貨物ノ引渡ニ付爭アルトキ

三　荷受人ガ貨物ノ引取ヲ拒ミタルトキ

四　荷受人ガ貨物ノ引取ヲ爲スコト能ハザルトキ

五　前各號以外ノ貨物ニシテ到著ノ通知ヲ發シタル後十日ヲ經過スルモ貨物引渡ノ請求ナキトキ

前項ノ通知ヲ發シタル後荷受人ノ請求ニ依リ貨物ノ引渡ヲ爲シタルトキハ會社ハ遲滯ナク荷送人ニ其ノ旨ノ通知ヲ發ス

第一項ノ通知ヲ發スルモ指圖ナク貨物到著ノ通知發信後三十日ヲ經過シタルトキハ會社ハ荷主ヲ費用ヲ以テ之ヲ換價スルコトアルベシ貨物ノ性質上時日ノ經過ニ因リ著シク價格ヲ減ズル虞アル爲荷送人ノ指圖ヲ俟ツコト能ハザルトキ亦同ジ

補則　本條第三項ノ換價ヲ爲サントスルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承クベシ

第四十九條　換價金ノ處理

貨物ノ換價ヲ爲シタルトキハ會社ハ其ノ換價金ヲ以テ換價ニ要シタル費用、立替金、未拂ノ運賃、料金其ノ他運送ニ關シ會社ニ對シテ生ジタル債務ノ辨償ニ充當シ荷送人ニ對シ過剩アルトキハ之ガ拂戻ヲ、不足アルトキハ之ガ追徵ヲ爲ス

第五十條　取扱上ノ錯誤

會社ノ收受スベキ運賃、料金及費用ガ誤算其ノ他取扱上ノ錯誤ニ依リ正當額ニ相違スルコトヲ發見シタルトキハ訂正ノ上荷送人又ハ荷受人ニ對シ追徵又ハ拂戻ヲ爲ス

補則　第四十五條補則四ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十一條　事故證明

貨物引渡ノ際荷受人ヨリ一部滅失、毀損又ハ延著ヲ事由トシテ其ノ數量、狀態又ハ引渡日時等ノ證明方請求アルトキハ著站ニ於テ事故證明書ヲ作成交付ス荷送人又ハ荷受人ヨリ貨物全部ノ滅失、引渡期間ヲ經過スルモ不著ナル場合ニ於テ其ノ事實ニ付證明ノ請求アルトキ亦同ジ

補則　本條ノ證明書ハ一口ニ付一通ヲ限リ作成シ站長職印押捺ノ上之ヲ交付スベシ

第五十二條　引取權利者不明貨物ノ處理

引取權利者ヲ確知スルコト能ハザル貨物アルトキハ關係站ニ公告ス

前項ノ公告ヲ爲シタル後六月ヲ經過スルモ引取權利者ヲ確知スルコト能ハザルトキハ會社ニ於テ其ノ所有權ヲ取得ス

註　關係站トハ貨物發見站及發著站ヲ謂フ

補則　本條ノ貨物ニ對シテハ關係站ハ遲滯ナク別表帳表樣式所定ノ文例ニ依リ五日以上掲示スベシ

第五十三條　貨物引渡請求權ノ消滅

荷主ノ貨物引渡請求權ハ引渡期間滿了ノ日（引渡遲延ノ場合ハ貨物ノ到著通知發信ノ日）ヨリ一年間之ヲ行使セザルニ因リテ消滅ス

第五十四條　運賃、料金等ノ排戻又ハ支拂請求權ノ消滅

運賃、料金其ノ他運送ニ關シ會社ガ收受シタル金錢ノ拂戻請求權ハ收受シタル日ヨリ一年間行使モザルニ因リテ消滅ス

運賃、料金其ノ他運送ニ關シ會社ガ收受スベキ金錢ノ支拂請求權ハ收受スベカリシ日ヨリ一年間行使セザルニ因リテ消滅ス

第五章　會社ノ責任

第五十五條　滅失、毀損又ハ引渡遲延ニ因ル損害ノ賠償責任

會社ハ運送受託ノ時ヨリ引渡ノ時迄ノ間ニ生ジタル貨物ノ滅失又ハ毀損竝ニ第八條ニ定ムル引渡期間經過後引渡ニ因ル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ズ但シ其ノ原因ガ天災事變其ノ他不可抗力、貨物ノ性質、荷主ノ過失其ノ他會社ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ基因スルコトヲ證明シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

引渡期間經過後貨物ノ引渡ヲ爲シタル場合ト雖モ會社ガ引渡ノ準備ヲ爲シ且貨物到著ノ通知ヲ發スベキモノニ付其ノ通知ヲ發シタルトキハ其ノ後ノ期間ニ就テハ引渡期間ハ超過セザリシモノト看做ス但シ會社ノ責ニ歸スベキ事由ニ因リ遲延シタル期間ニ就テハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條　會社ノ故意又ハ重過失ニ因ル損害ノ賠償責任

貨物ノ滅失、毀損又ハ引渡遲延ガ會社ノ故意又ハ重大ナル過失ニ基因スルトキハ本規則中責任ノ限度ヲ規定スル場合ト雖モ會社ハ一切ノ損害ヲ賠償スルノ責ニ任ズ

第五十七條　書證券ノ記載ニ對スル會社ノ責任

會社ハ貨物ニ對スル貨物通知書又ハ貨物引換證ノ記載ニ付其ノ責ニ任ズ但シ貨物ノ內容、性質及荷送人ガ貨車積込ヲ爲シタル貨物ノ數量ニ就テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十八條　會社ノ責任ノ免除

左ノ貨物ガ他ノ品名ヲ以テ託送セラレタルトキハ會社ハ運送契約ニ因ル一切ノ責ニ任ゼズ危險品ガ所定ノ荷造ニ據ラズ託送セラレタルトキ亦同ジ

一　運送ガ法令ノ規定、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ違反スルモノ

二　死體

三　銃砲

四　危險品

第五十九條　損害賠償責任ノ即時消滅

荷主ガ引取ノ際留保ヲ爲サズシテ受取リタル貨物ノ一部滅失又ハ毀損ニ對シテハ會社ハ之ガ損害ヲ賠償スルノ責ニ任ゼズ但シ直ニ發見スルコト能ハザル一部滅失又ハ毀損アリタル場合ニ於テ荷主ガ引取後ニ生ジタルモノニ非ザルコトヲ證明シ引取後十日以內ニ申出ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ會社ノ故意又ハ重大ナル過失ニ付キ之ヲ適用セズ

第六十條　滅失又ハ毀損ニ因ル損害賠償額

貨物ノ滅失又ハ毀損ニ因ル損害ノ賠償額ハ全部滅失ノ場合ニハ引渡期間滿了ノ日ノ一部滅失又ハ毀損ノ場合ニハ貨物ノ

引渡アリタル日（引渡遲延ノ場合ニハ引渡期間滿了ノ日）ノ到著地ニ於ケル同種類、同品質ノモノノ價格ニ依リ之ヲ定ム但シ貴重品ニ在リテハ包裝込重量一瓩ニ付八十圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額以内ニ限リ之ヲ賠償スルノ責ニ任ズ

第四十四條第二項ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタルカ又ハ收受セザル運賃、料金及費用ノ額ハ前項ノ賠償額ヨリ之ヲ控除ス

第六十一條　引渡遲延ニ因ル損害賠償額

貨物ノ引渡遲延ニ因ル損害ノ賠償額ハ荷主ニ於テ其ノ損害額ヲ證明シタルトキハ運賃額ヲ限度トシテ一切ノ損害額、證明セザルトキハ運賃額ノ二分ノ一ヲ限度トシテ引渡遲延日數一日ニ付運賃額ノ百分ノ五トス

前項ノ場合ニ於ケル運賃額ニハ集貨料及配達料ヲ含ム

引渡遲延ニ因ル損害額ノ證明ガ爲サレザル場合ニ於ケル第一項ノ賠償額ハ貨物ノ一部ニ付引渡遲延アリタルトキ又ハ引渡遲延ノ期間ヲ異ニスルトキハ引渡遲延アリタル各部分ガ一口ノ一部トシテ負擔スル運賃額ニ基キ之ヲ計算ス

第六十二條　賠償請求權利者、賠償請求方法

損害賠償請求權ハ貨物ガ著站ニ到著シ荷受人ヨリ引渡ノ請求アル以前ハ荷送人、其ノ後ハ荷受人之ヲ有ス但シ貨物引換證ヲ交付シタル場合ハ引渡請求前ト雖モ貨物引換證所持人之ヲ有ス

損害賠償ノ請求ハ要求スベキ賠償額ヲ明示シタル書面ニ賠償ニ關スル一切ノ證據書類ヲ添附シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十三條　滅失ト看做シ得ル時期

引渡期間滿了後一月ヲ經過スルモ貨物ノ引渡ヲ受クルコト能ハザルトキハ荷主ハ之ヲ滅失シタルモノト看做スコトヲ得

第六十四條　賠償請求權ノ消滅

貨物ノ滅失又ハ毀損ニ因ル損害ノ賠償請求權ハ貨物ノ引渡ヲ爲シタル日（滅失ノ場合ハ引渡期間滿了ノ日）ヨリ一年間之ヲ行使セザルニ因リテ消滅ス但シ其ノ滅失又ハ毀損ガ會社ノ故意又ハ重大ナル過失ニ基因スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

（規則別表）

帳表樣式

一　二葉式以上ノ帳表ハ各片同時ニ作成スルコト

二　番號ヲ印刷シアル帳表ヲ取消、紙數不足、番號ノ重複其ノ他ノ事由ニ因リ廢紙ト爲ス場合又ハ再製ノ爲作成スル場合ハ當該帳表ニ其ノ要旨、月日及自站名ヲ記入シ再製使用スル片ノ外ハ×線ヲ以テ抹消ノ上控片ヲ除ク殘餘ノ各片ハ當日ノ貨物收入内譯日報ト共ニ之ヲ所管審査課ニ提出スルコト

三　缺番號ヲ發見シタルトキハ次號ノ番號ノ下ニ「前號缺」ト附記スルコト

貨物通知書ノ缺番號再製又ハ廢紙アルトキハ當日ノ貨物收入内譯日報ノ記事欄ニ其ノ要旨ヲ記入スルコト

四　貨物引換證其ノ他站長職印ヲ押捺發行スル帳表ノ記載事項ヲ改訂シタルトキハ站長職印ヲ、其ノ他ノ帳表ノ記載事項ヲ改訂シタルトキハ取扱者ノ認印ヲ執レモ當該箇所ニ押捺スルコト

五　番號ヲ印刷シアル帳表類ノ受入ニ際シテハ番號其ノ他ヲ檢査シ缺番號、重複番號、印刷相違其ノ他ノ過誤ヲ發見シタルトキハ其ノ要旨ヲ遲滯ナク所管審査科ニ報告スルコト

六　番號ヲ印刷シアル未發行ノ帳表類ノ紛失、盜難又ハ滅失アリタルトキハ其ノ要旨ヲ遲滯ナク所管審査課ニ電報シ更ニ書面ヲ以テ其ノ顚末ヲ報告スルコト

七　帳表類ハ出納簿ニ依リ之ガ出納ヲ明カニシ置クコト

八　本表樣式中刷色）ニ付特ニ明示ナキモノハ黑刷トス

帳表様式目次

番號	帳表名	番號	帳表名
一	運送狀	六	集貨票
二	指定貨物運送狀	七	證明書
三	貨物通知書	八	保證狀
四	貨物引換證	九	荷札
五	指定貨物通知書		

（様式第一號）

運送狀

（備考）

一　處理方

規則第十四條ニ依ルノ外會社所管線内著貨物ニ對スルモノト其ノ他トニ區分整理ノ上自站ニ保存スルコト

二　記入方

太線區劃内ニシテ○印アル箇所ハ站係員ニ於テ左ニ依リ記入スルコト

イ　貨車所屬記號番號ハ車扱ニ限リ記入スルコト但シ貨車所屬ハ貨車ノ記號及番號ノミニテハ其ノ所屬明カナラザル場合ニ限ル

ロ　線別ハ必要ニ應ジ運賃率ヲ異ニスル線名ヲ略記スルコト

受付番號（集貨物ノ受付番號ハ請負人ヨリ貨物ヲ受取リタルトキノ受付順序ニ依ル）ハ日毎ニ更新スルコト

係員ニ於テ記入スベキ必要事項ニシテ相當欄ナキモノハ記事欄ニ記入スルコト

前各項ニ掲グルノ外本狀ノ記入方ニ付テハ規則第十四條、同條補則一及二參照

三　本狀ヲ要スル場合ニ付テハ規則第十四條參照

華北交通株式會社印刷中（合繼）　○　華北交通株式會社

下記ノ貨物ヲ貨物運送證（託運單）

（鐵路下列貨物發貨會社鐵道運送證規則第二條之比較）　昭和　年　月　日　運送狀　昭和　年　月　日（申請）

發（起運站）	經由線又ハ（或）站名	著（到達站）	貨物通運書又ハ貨物引換證（提貨單）要否 ※
	○	（○　線）	貨車所屬記號番號（號碼） 第　號

荷送人	住所又ハ營業所（住址或營業所）※ 氏名又ハ商號印（姓名或商號名蓋章）	荷受人	住所又ハ營業所（住址或營業所）※ 氏名又ハ商號（姓名或商號名）
			運賃料金納別（運費雜費支付方法） 拔（辨理）種別（拔（辨理））

品名（貨名）	荷造記號（包裝）	個數（件數）	重量（運賃計算重量）	容積（體積）（立方米）（立方公尺）	運賃計算重量 線別（路別）	運賃率（運賃率）	運賃（運賃）	料金（雜費）
	※	○		○	○	円		
合計								種別　金額

特殊約事項	價格	集貨負人	拔（辨理）者認印 貨監査 站受取
○			

注意

1　太線區劃内ハ係員ニ於テ記入スルコト但シ○印アル箇所ハ特ニ必要アル場合ニ限ル
2　太線區劃外ハ荷送人ニ於テ記入スルコト但シ○印アル箇所ハ次ノ場合ニ限リ記入スルコト。經由線又ハ站名ハ運賃率ノ異ル場合及運賃計算重量ノ異ル場合。特約事項及記事ハ特約アルトキ其ノ他會社ニ於テ必要ト認ムル事項アル場合。荷印ハ荷送人ニ於テ必要ト認ムル場合ニ限リ省略スルコトヲ得。貨物引換證ハ荷送人ニ於テ必要ト認ムル場合。住所又ハ營業所ハ特ニ記載セザルモ明カナル場合。貨物引換證ノ記號ヲ記載セザル場合。運賃ハ自己ノ車輛ニ依リ運送セラルル線道車輛、定路記號ハ貨物ノ記號ヲ用ヒザル動物ノ場合。運賃料金欄ハ別欄ヘ後拂及振替拂ノ取扱ヲ爲ス場合及連絡運送ノ場合ニ限リ記入スルモノトス

1　粗線格内ハ係員ニ於テ記入スルコト但シ○印アル箇所ハ特ニ必要アル場合ニ限ル
2　粗線格以外ハ荷送人ニ於テ記入スルコト但シ○印アル箇所ハ次ノ場合ニ限リ記入スルコト。經由線或站名ハ運賃率ノ異ル場合。重量ハ運賃計算重量ノ異ル場合。容積ハ必要ニ應ジ運賃計算重量ノ異ル場合。荷造記號ハ貨物ノ記號ヲ用ヒザル動物ノ場合。運賃ハ自己ノ車輛ニ依リ運送セラルル線道車輛、定路記號ハ貨物ノ記號ヲ用ヒザル動物ノ場合。運賃料金欄ハ後拂及振替拂ノ取扱ヲ爲ス場合及連絡運送ノ場合ニ限リ記入スルモノトス

（樣式第二號）

指定貨物運送狀

備考

本狀ノ取扱方ニ就テハ運送狀ニ準ズルコト

華北交通株式會社

華北交通株式會社

指定貨物運送狀
（指定貨物託運單）

下記ノ貨物ヲ貴會社鐵道運送諸規則ニ依リ託送候也
（茲將下列貨物按貴公司鐵路運送號係規章託運此致）

昭和　年　月　日受付（受理）第　號	昭和　年　月　日受託（承運）指定貨物通知書第　號			係員監査認印（路員監查蓋章）

品名		發（起運）站		積込箇所（裝貨處所）		荷送人（發貨人）	印
		著（到達）站		取卸箇所（卸貨處所）		荷受人（收貨人）	

貨車記號番號（貨車記號號碼）	箇數	運賃計算箇數（運費計算箇數）	貨車入換料（貨車調車費） 發（起運）站	著（到達）站	記事
合計					
特約條件		運賃率（運費率）		運賃（運費）	

A列4　　太線區劃內ハ係員ニ於テ記入ス（粗線格內由路員填記）

（樣式第三號）

貨物通知書

一　種別、色別、番號

イ　貨物通知書　　黑刷　五〇〇一五九

ロ　貨物引換證附貨物通知書　　青刷　四五〇一四九九

二　編成

イ　貨物通知書

報告用　丙、丙ノ二
統計用　丙ノ三
受託用　甲
又著站ハ通報告用用　乙ノ三
薄葉

運送用　乙、乙ノ二　厚葉

ロ　貨物引換證附貨物通知書

報告用　丙、丙ノ二
統計用　丙ノ三
又著站ハ通報告用用　乙ノ三
薄葉

運送用　乙、乙ノ二　厚葉

厚葉

註　本書ニハ各號毎ニ貨物引換證ヲ添綴シアリ甲片ナシ

三　其ノ他

イ　薄葉ハ和紙乙ノ一、厚葉ハ洋紙更四十二斤トス

ロ　番號右方ノ○内ニハ鐵路局ノ頭文字ヲ表示スルモノトス

ハ　丙ト丙ノ二、乙ト乙ノ二ノ切取線ニハミシンヲ入レズ

（備考）

一　使用方

後拂又ハ振替拂ノ取扱ヲ爲ス貨物ニ對ニ對シテハ發拂用通知書ヲ使用スルユト此ノ場合必要ニ應ジ別册ヲ使用シ其ノ右端ヲ後拂ニ對シテハ青色、振替拂ニ對シテハ赤色ニ染ムルコト

二　處理方

甲　片

荷送人ニ交付スルコト但シ軍事輸送處理規程中供用令ニ準ジ取扱フモノハ荷送人ニ交付セズ運送狀ニ準ジ整理保管スルコト

乙、乙ノ二片

貨物ト共ニ著站ニ送付シ著站ニ於ニ於テハ貨物引渡當日分（配達附ノモノニ在リテハ前日配達ノ分）ヲ扱種別毎ニ發站別發行月日及番號順ニ取纏メ綴込ミ自站ニ保存スルコト

註一　乙及乙ノ二片ハ連續ノ儘取扱フコト

註二　連絡運送ノ場合他運輸機關作成ノ乙及乙ノニ片處理方ニ付テハ貨物連絡運送規則第二十七條補則二ニ依ルモノトス

乙ノ三片

貨物ト共ニ著站ニ送付スルコト

著站ニ於テハ引渡當日分ヲ乙、乙ノ二片ノ例ニ依リ取纏メ貨物收入内譯日報ニ添附シ所管審査課ニ提出スルコト但シ配達附ノモノハ翌日報告ノ分ト共ニ處理スルコト

連絡運送ノ場合ハ前各項ニ拘ラズ左ニ依リ處理スルコト

イ　通關ヲ要スル貨物ニ在リテハ荷物通關取扱規則補則所定ノ封筒ヲ使用シ通關關係書類ト共ニ當該貨物ノ通關擔當站（通關擔當站ガ二以上アル場合ハ最初ノ通關擔當站）宛貨物ニ先チ到著スルヨウ送付シ通關ヲ要セザル貨物ニ在リテハ乙及乙ノ二片ト共ニ貨物ト回送スルコト

ロ　通關擔當站ニ於テハ通關手配ニ利用シ自站ニ保存スルコト但シ華中線向ノ場合ハ徐州ニ於テ貨物及運送關係書類ノ授受ヲ爲シタル後當該乘務係員ニ於テ之ヲ取纏メ所管審査課ニ提出スルコト

註　通關擔當站ニ於テ特ニ通知書寫ノ提出ヲ必要トスル場合ハ別ニ定ムル再製用貨物通知書ヲ便宜作成使用スルコト

丙、丙ノ二斤

發行當日分ヲ會社所管線内著ト其ノ他トニ取纏メ更ニ扱種別毎ニ整理シ貨物收入内譯日報ニ添附シ所管審査課ニ提出スルコト但シ集貨附ノモノハ翌日發行ノ分ト共ニ處理スルコト

註　丙、丙二片ハ連續ノ儘取扱フコト

丙ノ三斤

一旬毎ニ取纏メ總裁室資業部統計主幹ニ提出スルコト

三　記入方

規則第十八條補則一及補則二並貨物連絡運送規則第二十條補則ニ依ルノ外左ニ依ルコト

イ　發站ノ記入方

運送狀ノ記載ニ基キ要項ヲ記入スルコト

運送經路二途以上アル場合運送經路ノ經由線又ハ站名ヲ相當欄ニ記入スルコト

貨物引換證附ノモノハ其ノ簿冊表紙裏面ニ其ノ都度要項ヲ記入スルコト

ロ、途中站ノ記入方

途中站ニ於テ生ジタル立替金又ハ料金其ノ他ノ費用ハ乙ノ二片及乙ノ三片相當欄ニ、又其ノ他ノ必要事項ハ乙片及乙ノ三片記事欄ニ記入スルコト

貨物ヲ中轉シタルトキハ中轉印（月日站名）ヲ乙、乙ノ二片ノ裏面右方箇所ニ上部ヨリ順次押捺スルコト

此ノ場合事扱貨物ニ對シテハ前途ノ區間ニ對スル賃事所屬記號番號ヲ附記スルモノトス

ハ　著站ノ記入方

到著月日列車番號、到著通知日時、引渡日時（配達附ノモノニ在リテハ請負人ニ交付日時）又ハ保管料（火藥類ニ在リテハ留置料）ヲ乙ノ二片及乙ノ三片相當欄ニ記入スルコト

ニ　其ノ他

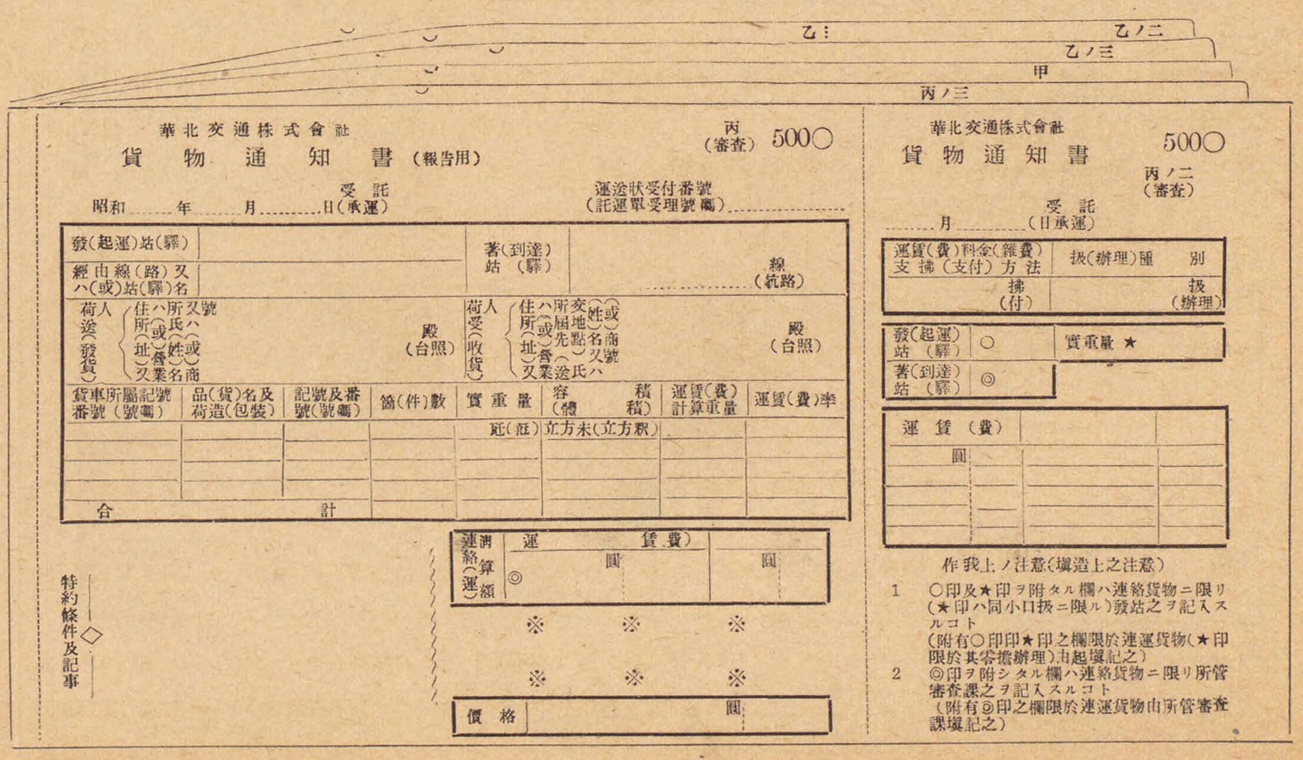
1　貨物通知書面ニ○印及★印ヲ附シタル欄ハ連絡貨物ニ限リ（★印ハ同小口扱ニ限ル）發站之ヲ記入スルコト

2　●印ヲ附シタル欄ハ連絡貨物ニ限リ發站之ヲ記入スルコト但シ著拂區間ノ運賃料金ノ計算ヲ爲サザル場合ヲ除ク

3　◎印ヲ附シタル欄ハ連絡貨物ニ限リ所管審査課之ヲ記入スルコト

註　貨物引渡手續ヲ了シ關係貨物通知書處理濟後發生シタル貨物保管料其ノ他ノ料金又ハ費用ハ貨物通知書ニ記載セズ運賃料金領收書ニ依リ處理スルコト

本書ヲ荷主ニ交付スベキ場合ニ付テハ規則第十八條並ニ貨物運絡運送規則第二十條參照



華北交通株式會社

貨物通知書

（統計用）

丙ノ三（統計）　500〇

昭和　年　月　日（受託承運）　運送狀番號（託運單號碼）　月　日（受託承運）

發（起運）站（驛）		著（到驛）站（驛）	線（航路）
經由線（路）又ハ（或）站（驛）名			

運賃（費）料金（雜費）支拂（支付）方法	扱（辦理）種別
發拂（先付）	扱（辦理）

※　※　※　※　※　※

荷人送（發貨）住所（址）又ハ所屬（或）氏名（姓名）又ハ（或）商號　殿（台照）

荷受人（收貨）住所（址）又ハ所屬地（或）先業（姓名）又ハ（或）商號　殿（台照）

貨車所屬記號番號（號碼）	品（貨）名及荷造（包裝）	記號及番號（碼）	箇（件）數	實重量	容積（體積）	運賃（費）計算重量	運賃（費）率
				瓩（瓩）	立方米（立方粍）		
合計							

運賃（費）			
圓			

特約條件及記事

價格	圓

華北交通株式會社

貨物通知書

（受託用）

甲（荷送（發貨）人）　500〇

昭和　年　月　日（受託承運）　運送狀受付番號（託運單受理號碼）　月　日（受記承運）

發（起運）站（驛）		著（到達）站（驛）	線（航路）
經由線（路）又ハ（或）站（驛）名			

運賃（費）料金（雜費）支拂（支付）方法	扱（辦理）種別
（拂付）	扱（辦理）

※　※　※　※　※　※

荷人送（發貨人）住所（址）又ハ所屬（或）氏名（姓名）又ハ（或）商號　殿（台照）

合人受（收貨）住所（址）又ハ所屬地（或）先業（姓名）又ハ（或）商號　殿（台照）

貨車所屬記號番號（扱 欄）	品（貨）名及荷造（包裝）	記號及番號（號碼）	箇（件）數	實重量	容積（體積）	運賃（費）計算重量	運賃（費）率
				瓩（瓩）	立方米（立方粍）		
合計							

運賃（費）			
圓			

注意

貨物ハ印章ニ依リ引渡シマスカラ本書ハ荷受人ニ送付スル必要ハアリマセン

（貨物係依印章付故本書勿廚收貨人）

特約條件及記事

價格	圓

華北交通株式會社

貨物通知書

（著（到達）站報告用
又ハ（或）通（報）關用）

乙ノ三
（著（到達）站→審査
又ハ（或）通（報）關係）

500〇

昭和　年　月　日（承運）　受託

運送狀受付番號
（託運單受理號碼）

發（起運）站（驛）		著（到達）站（驛）	線（航路）
經由線（路）又ハ（或）站（驛）名			

荷人（發送）住所又ハ所在地（或氏名又ハ姓名）殿（台照）

荷受人（收貨）住所又ハ所在地（或氏名又ハ姓名）殿（擧照）

貨車番號	所屬記號（號碼）	品（貨）名及荷造（包裝）	記號及番號（號碼）	箇（件）數	實重量	容積（體積）	運賃（費）計算重量	運賃（費）率
					瓩（瓩）	立方米（立方積）		
合計								

運賃（費）料金（雜費）支拂（支付）方法	扱（辨理）種別
拂	扱（辨理）

※　※　※　※　※

運賃（費）	
圓	

立替金（墊款）　月　日第　號　圓

特約條件及記事

…月…日……列車到著（到達）

集配請負人ニ交付
…月…日…時…分（交付取送承攬人）
到著（到達）通知（書面　電話）

…月…日…時…分荷受人ニ引渡（交付收貨人）

價格	圓

保管料（費）	計算日數	日	金額	圓

華北交通株式會社

貨物通知書（運送用）

乙
（著（到達）站）

500〇

昭和　年　月　日（承運）　受託

運送狀受付番號
（記運單受理號碼）

發（起運）站（驛）		著（到達）站（驛）	線（航路）
經由線（路）又ハ（或）站（驛）名			

荷人（發送）住所又ハ所在地（或氏名又ハ姓名）殿（台照）

荷受人（收貨）住所又ハ所在地（或氏名又ハ姓名）殿（台照）

貨車番號	所屬記號（號碼）	品（貨）名及荷造（包裝）	記號及番號（號碼）	箇（件）數	實重量	容積（體積）	運賃（費）計算重量	運賃（費）率
					瓩（瓩）	立方米（立方積）		
合計								

特約條件及記事

…月…日……列車（自動車、汽船）到著
（列車（汽車、輪船）到達）

集配請負人ニ交付
…月…日…時…分（交付取送承攬人）
到著（到達）通知（書面、電話）〇

…月…日…時…分荷受人ニ引渡（交付收貨人）（　）

保管料（費）	計算日數	日	金額	圓
價格	圓			

切取線

華北交通株式會社

貨物通知書

發拂（先付）用

乙ノニ
（著（到達）站→審査）

500〇

昭和　年　月　日（承運）　受託

運賃（費）料金（雜費）支拂（支付）方法	扱（辨理）種別
拂（付）	扱（辨理）

發（起運）站（驛）	〇	實重量	★
著（到運）站（驛）	◎	品（貨）名	◎

運賃（費）	
圓	

立替金（墊款）　月　日第　號　圓

（附有◎印之欄限於運賃物由到達站塡記之）
◎印ヲ附シタル欄ハ運賃貨物ニ限リ著站之ヲ記入スルコト

…月…日……列車（自動車、汽船）到著
（列車（汽車、輪船）到達）

集配請負人ニ交付
…月…日…時…分（交付取送承攬人）
到著（到達）通知（書面、電話）〇

…月…日…時…分荷受人ニ引渡（交付收貨人）（　）

保管料（費）	計算日數	日	金額	圓

貨物引換證
乙
乙ノ二
乙ノ三
丙ノ三

華北交通株式會社
貨物通知書
貨物引換證附附(提貨單)

丙 審査 4500

(報告用)
受託
昭和 年 月 日(承運)
運送狀受付番號
(託運單受理號碼)

發(起運)站(驛)		著(到達)站(驛)	線(航路)
經由線(路)又ハ(或)站(驛)名			
荷人 送(發貨) 住所(又ハ所在地)又ハ(或)氏名(又ハ商號)又業者名	殿(台照)	荷人 受(收貨) 住所(又ハ所在地)又ハ(或)氏名(又ハ商號)又業者名	殿(台照)

貨車番號	所屬記號(號碼)	品(貨)名及荷造(包裝)	記號及番號(號碼)	箇(件)數	實重量	容積(體積)	運賃(費)計算重量	運賃(費)率
					瓩(瓩)	立方米(立方米)		
合計								

特約條件及記事

※ ※ ※

價格	圓

※ ※ ※

昭和 年 月 日 發(驛)驛ニ於テ作成ス
(由起運站(驛)塡遣)

華北交通株式會社
貨物通知書
貨物引換證附(附提貨單)

丙ノ二 (審査) 4500

受託
月 日(承運)

運賃(費)料金(雜費)支拂(支付)方法	拂(付)	扱(辨理)種別	扱(辨理)
發(起運)站(驛)	○	實重量	★
著(到達)站(驛)	◎	※	※
運賃(費)			

作成上ノ注意(塡遣上之注意)

1 ◎印及★印ノ附シタル欄ハ連絡貨物ニ限リ(★印ハ同小口★ニ限ル)發站之ヲ記入スルコト此ノ場合貨物引換證ニハ之ヲ記入スヘカラス(附○印及印印之欄限於連運貨(★印要於其零擔辨理)由起運站塡記之此時提貨單內不得塡記之)

2 ○印ヲ附シタル欄ハ連絡貨物ニ限リ所管審査課之ヲ記入スルコト
(附有○印之欄限於連運貨物由所管審査課塡記之)

發行者……站驛(長)……

華北交通株式會社
貨物通知書
貨物引換證附(附提貨單)

丙ノ三 (統計) 4500

(統計用)
運送狀番號
(託運單受理號碼)
受託
昭和 年 月 日(承運)
受記
月 日(承運)

運賃(費)料金(雜費)支拂(支付)方法	拂(付)	扱(辨理)種別	扱(辨理)
運賃(費)			

發(起運)站(驛)		著(到達)站(驛)	線(航路)
經由線(路)又ハ(或)站(驛)名			
荷人 送(發貨) 住所(又ハ所在地)又ハ(或)氏名(又ハ商號)又業者名	殿(台照)	荷人 受(收貨) 住所(又ハ所在地)又ハ(或)氏名(又ハ商號)又業者名	殿(台照)

貨車番號	所屬記號(號碼)	品(貨)名及荷造(包裝)	記號及番號(號碼)	箇(件)數	實重量	容積(體積)	運賃(費)計算重量	運賃(費)率
					瓩(瓩)	立方米(立方米)		
計								

特約條件及記事

價格	圓

華北交通株式會社

貨物通知書

貨物引換證附(附提貨單)

乙ノ三
(著(到達)站→審査
又ハ(或)通報關站)

450○

(著站報告用又ハ通關用)(到達站報告用或報關用)
運送狀受付番號
(託運單受理號碼)

昭和……年……月……日(承運)　受託

……月……日(承運)　受託

發(起運)站(驛)		著(到達)站(驛)	線(航路)
經由線(路)又ハ(或)站(名)			
荷人(發送)住所(又ハ所在地)氏名(又ハ商號)又ハ(或)姓名(又ハ商號)又業種	殿(台照)	荷受人(收貨)住所(又ハ所在地)氏名(又ハ商號)又ハ(或)姓名(又ハ商號)又業種	殿(台照)

貨車番號(番號號碼)所屬記號	品(貨)名及荷造(包裝)	記號及番號(號碼)	箇(件)數	實重量 瓩(瓩)	容積(體積) 立方米(立方積)	運賃(費)計算重量	運賃(費)率
合計							

運賃(費)料金(雜費)支拂(支付)方法	扱(辨理)種別
拂(付)	扱(辨理)

※　※
※　※　※　※

運賃(費)	
圓	

立替金(墊款)	月　日第　號　圓

保管料(費)	計算日數　日	金額　圓

……月……日……刻車到着(到達)
集配請人ニ交付
……月……日……時……分(交付取送承攬人)
到著通知(書面、電話)○
……月……日……時……分荷受人ニ引渡(交付於收貨人)(　)

價格	圓

特約條件及記事

華北交通株式會社

貨物通知書

貨物引換證附(附提貨單)

乙
(著(到達)站)

450○

(運送用)
運送狀受付番號
(託運單受理號碼)……

昭和……年……月……日(承運)　受託

發(起運)站(驛)		著(到達)站(驛)	線(航路)
經由線(路)又ハ(或)站(驛)名			
荷人(發送)住所(又ハ所在地)氏名(又ハ商號)又ハ(或)姓名(又ハ商號)又業種	殿(台照)	荷受人(收貨)住所(又ハ所在地)氏名(又ハ商號)又ハ(或)姓名(又ハ商號)又業種	殿(台照)

貨車番號(號碼)所屬記號	品(貨)名及荷造(包裝)	記號及番號(號碼)	箇(件)數	實重量 瓩(瓩)	容積(體積) 立方米(立方積)	運賃(費)計算重量	運賃(費)率
合計							

著(到)拂(付)●	運賃(費)	
	圓	

價格	圓

……月……日……刻車(自動車、汽船)到著
(刻車(汽車、輪船)到達)
集配請負人ニ交付
……月……日……(時分交付取送承攬人)
到著(到達)通知(書面、電話)○
……月……日……時分荷受人ニ引渡(交付收貨人)(　)

保管料(費)	計算日數　日	金額　圓

特約條件及記事

切取線

華北交通株式會社

貨物通知書

貨物引換證附(附提貨單)

乙ノ二
(著(到達)站→審査)

450○

……月……日(承運)　受託

運賃(費)料金(雜費)支拂(支付)方法	扱(辨理)種別
拂(付)	扱(辨理)

發(起運)站(驛)	○	實重量	★
著(到達)站(驛)	◎	品(貨)名	◎

運賃(費)	
圓	

立替金(墊款)	月　日第　號　圓

保管料(費)	計算日數　日	金額　圓

……月……日……刻車(自動車、汽船)到著
(刻車(汽車、輪船)到達)
集配請負人ニ交付
……月……日……時……分(交付取送承攬人)
到著(到達)通知(書面、電話)○
……月……日……時……分荷受人ニ引渡(交付收貨人)(　)

(附有●印之限於連運貨物由到運站擔記之)
(附有◎印之限於連運貨物由起運站(不計算到付區間之運賃、雜費時除外、附有◎印之除ク)○印ヲ附シタル欄ハ連絡貨物ニ限リ著站之ヲ記入スルコト●印ヲ附シタル欄ハ連絡貨物ニ限リ發站(著拂區間ノ運賃、料金ノ計算ヲ爲サザル場合ヲ

（様式第四號）

貨物引換證

一　表面ニ淡赤色地紋ヲ附ス

地紋印刷**インキ**ハ原則トシテ**インキ**消ニテ消ユルモノヲ使用ス

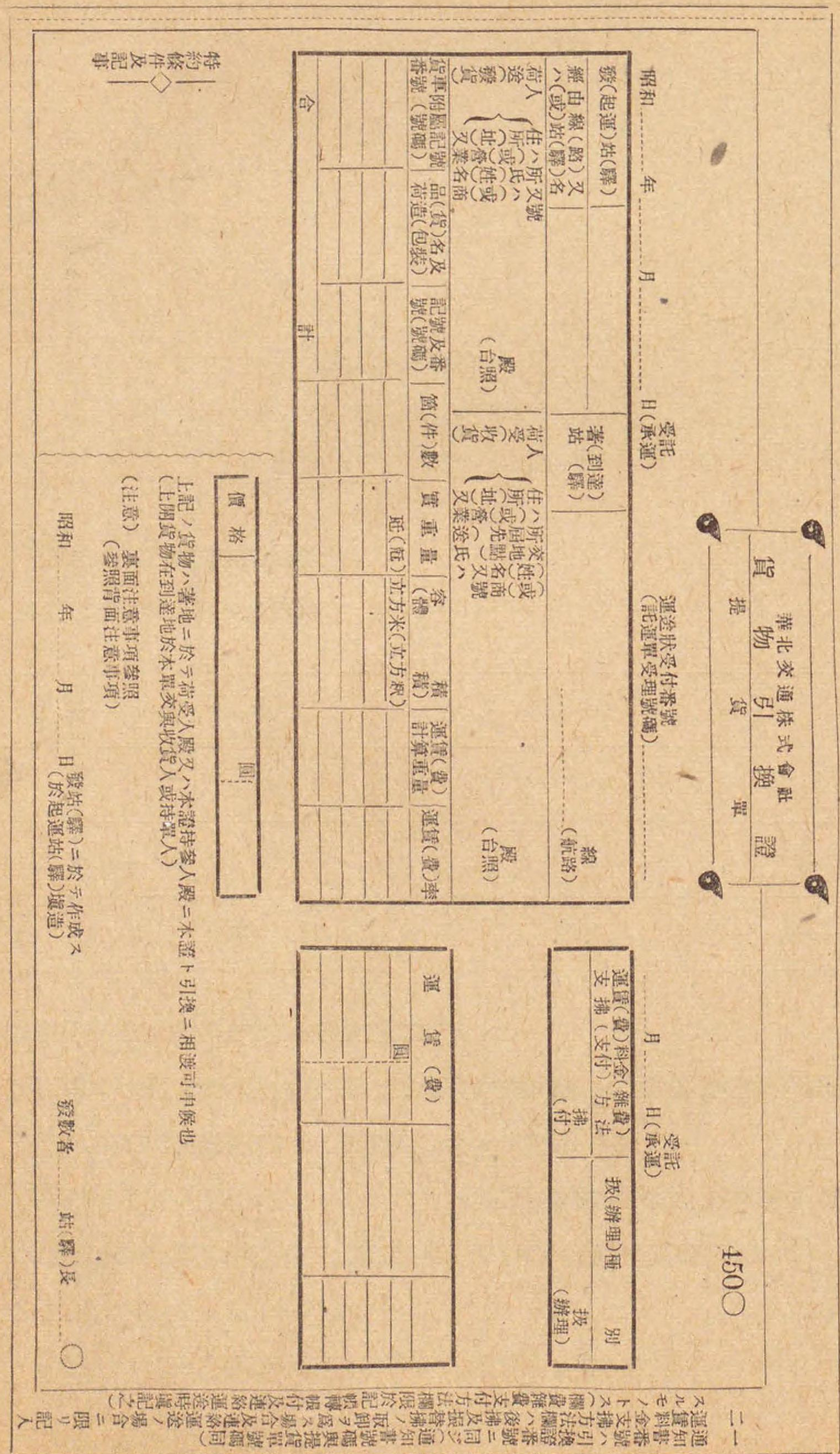
二　番號ハ貨物通知書ニ同ジ

三　紙質ハB模造八十斤トス

（備　考）

一　關係貨物通知書ト同時ニ作成スルコト

二　本證ヲ荷主ニ交付スベキ場合ニ付テハ規則第十八條並ニ貨物連絡運送規則第二十條參照



本記載ノ貨物全部正ニ受取候也

昭和　年　月　日

受取人住所

受取人住所

氏名　印

（姓名肇）

本記載ノ貨物全部ノ内数量不足ノ事

（本記載ノ貨物全部ノ内数量不足ノ事）

年月日	年月日	年月日	
年月日	年月日	年月日	
渡	○	○	渡
受	○	○	受
入			入

一　指圖證券ニ對スル讓渡及讓受ハ連續セシメ讓渡人ニ於テ捺印スルコトヲ要シ其ノ記載ハ左表ニ之ヲ爲スモノトス

（對於賣證券之讓渡及讓受使之連續由讓渡人掌日其記載須依左表爲之）

二　前號ノ外貨物ノ運送ニ關スル事項ニ付テハ關係法令及鐵路所定ノ關係規定（運時關於）

（略運送ノ場合船舶運送ニ付テハ船業者ノ定ム約款）ニ依ル

（除前報以外關於貨物運送之事項依船關係法令及鐵路所定之關係規定運時關於）

（船舶運送依照船舶業者所定之約款辦理之）

裏面記載事項

（背面記載事項）

（様式第五號）

指定貨物通知書

一　番號

一―一〇〇（乙片ヲ除ク）

二　編成

報告用　（丙）（丙ノ二）

受託用　（甲）

著站報告用　（丁）　薄葉

運送用　（乙）　厚葉

三　其ノ他

1　薄葉ハ和紙乙ノ一、厚葉ハ**クラフド**紙トス

2　番號右方ノ○内ニハ鐵路局ノ頭文字ヲ表示スルモノトス

備考

本書ノ取扱方ニ就テハ左ノ各號ニ依ルノ外貨物通知書ニ準ズルコト

一　本書ハ連絡運送ニハ使用セザルコト

二　乙片ハ指定貨物運送狀ニ基キ一車毎ニ一葉ヲ作成スルコト

三　丁片ハ旅客列車便ヲ以テ著站宛先送シ著站ニ於テハ乙片到著後之ト對照所定事項記入ノ上最終貨物引渡當日分ヲ發站別發行月日及番號順ニ取纏メ貨物收入內譯日報ニ添附所管審査課ニ提出スルコト

註一　本書ヲ發行シタル場合著站ニ於ケル保管料ノ收受ハ運賃料金領收書ニ依ルモノトス

註二　乙片ハ貨物通知書用封筒ニ挿入スルコトナク其ノ儘現車ト同送スルモノトス

華北交通株式會社

指定貨物通知書 (報告用)

10

昭和……年……月……日受託(承運)　指定貨物運送狀(指定貨物託運單)第……號

丙(審査)

品名		發(起運)站		積込箇所(裝貨處所)		荷送人(發貨人)	
		著(到達)站		取卸箇所(卸貨處所)		荷受人(收貨人)	

貨車記號番號(貨車記號號碼)	運賃計算噸數(運費計算噸數)	貨車入換料(貨車調車費) 發(起運)站	著(到達)站	引渡日(交付日) 年	月	日	記事
合計				特約條件			
運賃率(運費率)		運賃(運費)					

A列4

華北交通株式會社

指定貨物通知書 (報告用)

10

昭和……年……月……日受託(承運)　指定貨物運送狀(指定貨物託運單)第……號

丙ノ二(統計)

品名		發(起運)站		積込箇所(裝貨處所)		荷送人(發貨人)	
		著(到達)站		取卸箇所(卸貨處所)		荷受人(收貨人)	

貨車記號番號(貨車記號號碼)	運賃計算噸數(運費計算噸數)	貨車入換料(貨車調車費) 發(起運)站	著(到達)站	引渡日(交付日) 年	月	日	記事
合計				特約條件			
運賃率(運費率)		運賃(運費)					

A列4

K○

華北交通株式會社

指定貨物通知書

（受託用）
（承運用）

1○
甲
（荷送人）
（發貨人）

昭和……年……月……日受託（承運）　指定貨物運送狀（指定貨物託運單）第……號

品名		發（起運）站		積込箇所（裝貨處所）		荷送人（發貨人）	
		著（到達）站		取卸箇所（卸貨處所）		荷受人（收貨人）	

貨車記號番號（貨車記號號碼）	運賃計算噸數（運費計算噸數）	貨車入換料（貨車調車費） 發（起運）站	著（到達）站	引渡日（交付日） 年	月	日	記事
合計				特約條件			
運賃率（運費率）		運賃（運費）					

A 列 4

華北交通株式會社

指定貨物通知書

（著站報告用）
（到達站報告用）

1○
丁
（著（到達）站→審査）

昭和……年……月……日受託（承運）　指定貨物運送狀（指定貨物託運單）第……號

品名		發（起運）站		積込箇所（裝貨處所）		荷送人（發貨人）	
		著（到達）站		取卸箇所（卸貨處所）		荷受人（收貨人）	

貨車記號番號（貨車記號號碼）	運賃計算噸數（運費計算噸數）	貨車入換料（貨車調車費） 發（起運）站	著（到達）站	引渡日（交付日） 年	月	日	記事
合計				特約條件			
運賃率（運費率）		運賃（運費）					

A 列 4

K1

乙(著(到達)站)

華北交通株式會社

指定貨物通知書　(運送用)

第　　號

昭和　　年　　月　　日受託(承運)

貨車記號番號 (貨車記號號碼)		換算輛數	
品名		運賃計算㎧數 (運費計算㎧數)	
發站 (起運站)		積込箇所 (裝貨處所)	
荷送人 (發貨人)			
著線 (到達線)		(　　經由)	
著站 (到達站)			
荷受人 (收貨人)		取卸箇所 (卸貨處所)	

記事

昭和　　年　　月　　日　　列車到著(到達)

昭和　　年　　月　　日　　時到著通知(到達通知)

昭和　　年　　月　　日　　時引渡(交付)

荷受人(收貨人)　　印

90×180

(樣式第六號)

集貨票

一　編成

請負人控　(丙)
荷主用　(甲)　薄葉
發站用　(乙)　厚葉

一〇〇組ヲ以テ一冊トス

(備考)

一　處理方

請負人ニ於テ集貨ノ際作成シ甲片ハ荷送人ニ交付、乙片ハ貨物及關係書類ト共ニ發站ニ提出、丙片ハ請負人ノ控トスルコト但シ運送狀ノ提出ヲ要スルモノニ在リテハ乙片ハ之ヲ提出セシメザルコト

二　記入方

イ　荷送人ノ申告ニ基キ作成シ記載方ニ就テハ運送狀ニ準ズルコト

ロ　太線區劃內ハ站係員ニ於テ記入スルコト

三　本票ヲ荷主ニ交付スベキ場合ニ就テハ規則第二十八條參照

水色

華北交通株式會社

集(取)　貨　　票

No.
丙
(控)(存根)

昭和　年　月　日申込(申請)受理

昭和　年　月　日集貨(運送/引受)

發站(起運站)		經由線(路)又ハ(或)站名	
著站(到達站)	(線(路))		
荷發送人	住所又ハ營業所(住址或營業所)		
	集貨先(取貨處)		
	氏名又ハ商號(姓名或商號)	殿(台照)	
荷收受人	住所又ハ營業所(住址或營業所)		
	屆先(送達處)		
	氏名又ハ商號(姓名或商號)	殿(台照)	

運賃料金拂別(運費雜費支付方法)	扱種別(辦理種別)
拂(付)	小口扱(零擔)

品名(貨名)	荷造(包裝)及記號	箇數(件數)	重量瓩(公斤)	容積(體積)立方米(立方公尺)
合計				

特約事項及記事	

價格	円

集貨請負人(取貨承攬人)
氏名

ホテー1119　B列5

(注意) 1 運賃料金拂別欄ハ後拂及振替拂ノ取扱ヲ爲ス場合及連絡運送ノ場合ニ限リ記入スルモノトス(運費雜費支付方法欄限於記帳轉帳付及連絡運送時塡記之)
2 價格ハ貴重品及貨物引換證附ノモノニ限リ記入スルコト(價格限於貴重品及請求提貨單者塡記之)

華北交通株式會社

集(取)　貨　　票

No.
甲
(荷主用)(貨主用)

昭和　年　月　日申込(申請)受理

昭和　年　月　日集貨(運送/引受)

發站(起運站)		經由線(路)又ハ(或)站名	
著站(到達站)	(線(路))		
荷發送人	住所又ハ營業所(住址或營業所)		
	集貨先(取貨處)		
	氏名又ハ商號(姓名或商號)	殿(台照)	
荷收受人	住所又ハ營業所(住址或營業所)		
	屆先(送達處)		
	氏名又ハ商號(姓名或商號)	殿(台照)	

運賃料金拂別(運費雜費支付方法)	扱種別(辦理種別)
拂(付)	小口扱(零擔)

品名(貨名)	荷造(包裝)及記號	箇數(件數)	重量瓩(公斤)	容積(體積)立方米(立方公尺)
合計				

特約事項及記事	

價格	円

集貨請負人(取貨承攬人)
氏名印

ホテー1119　B列5

(注意) 1 運賃料金拂別欄ハ後拂及振替拂ノ取扱ヲ爲ス場合及連絡運送ノ場合ニ限リ記入スルモノトス(運費雜費支付方法欄限於記帳轉帳付及連絡運送時塡記之)
2 價格ハ貴重品及貨物引換證附ノモノニ限リ記入スルコト(價格限於貴重品及請求提貨單者塡記之)

黃

華北交通株式會社

集(取)　貨　票

No.
乙
(發站用)

昭和　年　月　日申込(申請)受理

昭和　年　月　日集貨(運送引受)

受取(領收)站	昭和　年　月　日	受付番號(受理號碼)	

貨物通知書番號(提貨單號碼)	
貨物保管場所(貨物保管處所)	
貨車所屬記號番號(號碼)	

發站(起運站)		經由線(路)又ハ(或)站名	
著站(到達站)		(　線(路))	
荷發送人	住所又ハ營業所(住址或營業所)		
	集貨先(取貨處)		
	氏名又ハ商號(姓名或商號)	殿(台照)	
荷受取人	住所又ハ營業所(住址或營業所)		
	配送先(送達處)		
	氏名又ハ商號(姓名或商號)	殿(台照)	

運賃料金拂別(運費雜費支付方法)	扱種別(辦理種別)
拂(付)	小口扱(零擔)

品名(貨名)	荷造(包裝)及記號	箇數(件數)	重量(瓩(公斤))	容積(體積)立方米(立方公尺)	運賃計算重量(運費計算重量)	運賃(運費) 線別(別)	運賃率(運費率)	金額	雜料金(雜費) 種別	金額
								円	集貨料(取貨費)	円
									配達料(送達費)	
合計										

特約及記事事項	價格	圓
	集貨請負人(取貨承攬人)氏名印	

認印(蓋章)站受取(站領收)

ホテー1119　B列5

(備考)
1 太線區劃內ハ站係員記入(粗線格內○站員攬入)
2 運賃料金拂別欄ハ後拂及振替拂ノ取扱ヲ爲ス場合並及絡運送ノ場合ニ限リ記入スルモノトス(運費雜費支付方法欄限於記帳賃帳付及連絡運送時攬記之)
3 價格ハ貴重品及貨物引換證ノモノニ限リ記入スルコト(價格限於貴重品及請求提貨單者攬記之)

(樣式第七號)

證　明　書

一　番　號

一一五〇

二　編　成

控　報告用　(乙)　薄葉
　　(丙)

荷主用　(甲)　厚葉

(備考)

一　處理方

甲片ハ荷主ニ交付、乙片ハ自站ニ保存シ丙片ハ證明報告又ハ收入證憑トシテ所管運輸課ニ提出スルコト

二　記入方

イ　貨物ノ狀態ニ付證明ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ數量ガ原書證券面記載ノ數量ニ不足スル場合ハ證明事項欄ニハ不足分ノ數量ヲ記載セズ現在數量ヲ記載スルコト

ロ　證明事項ニシテ相當欄ナキモノハ備考欄ニ記入スルコト

ハ　不要ノ欄ニハ抹線ヲ施スコト

ニ　甲片ニハ站長職印ヲ押捺スルコト

←(1.5糎)……(24.2糎)……→

↕(18.2糎)

乙控(存根)、丙報告用

No. 1

甲
(荷主用)
(貨主用)

華北交通株式會社

證　明　書

切符又ハ通知書記載事項								
扱種別(辨理種別)	日附番號(日期號碼)	發站(起運站)	著站(到達站)	荷送人(發貨人)	荷受人(收貨人)	運賃料金拂別(運費雜費支付方法)		
扱(辨理)	昭和　年　月　日 第　號					拂(付)		
品名(貨名)	荷造(包裝)及記號	箇數(件數)	重量	容積(體積)	長サ(長度)	運賃料金(運費雜費) 別種	金額	特約事項及記事
			瓩(公斤)	立方米(立方公尺)	米(公尺)		円	

證明事項			
發送日	荷物ノ狀態其ノ他(　　)		
昭和　年　月　日	箇數(件數)	重量	
	箇(件)	瓩(公斤)	
引渡日(交付日)	容積(體積)	長サ(長度)	
昭和　年　月　日	立方米(立方公尺)	米(公尺)	

上記ノ通證明ス(確如上列所載特此證明)

昭年　年　月　日

殿
(合照)

證明手數料(證明手續費)	円	

站長

B列5　運賃料金拂別欄ハ後拂及振替拂ノ取扱ヲ爲ス場合及連絡運送ノ場合ニ限リ記入スルモノトス(運賃雜費支付方法欄限於記帳轉帳付及連絡運送時塡記之)

(樣式第八號)

證　狀

(備考)

一　指圖ノ場合ハ自站ニ保存スルコト

二　官公衙作成ノモノニハ收入印紙ノ貼附及連帶保證人ヲ要セズ

三　本狀ヲ毀スベキ場合ニ付テハ規則第四十二條補則三參照

華北交通株式會社
保　證　狀　（保證書）

昭和　年　月　日

收入印紙
（印花稅票）

本人 住所（住址）＿＿＿＿ 氏名印（姓名蓋章）

連帶保證人 住所（住址）＿＿＿＿ 氏名印（姓名蓋章）＿＿＿＿

華北交通株式會社御中（分驛）

切符、通知書			發站（起運站）	著站（到達站）	荷送人氏名又ハ商號（發貨人姓名或商號）	荷受人氏名又ハ商號（收貨人姓名或商號）	品名（貨名）	荷造（包裝）及記號	箇數（件數）	重量（體積）	容積	記事
月	日	番號（號碼）										
										瓩（公斤）	立方米（立方公尺）	

上記ノ　物ニ對スル　紛失ノ爲本狀ヲ差入レ　候事實正ナリ然ル處本件ニ關シ萬一紛議相生ジ貴社ニ損害ヲ及ボス樣ノ場合有之候節ハ一切拙者等連帶ヲ以テ其ノ責ニ任ジ毫モ貴社ニ迷惑相掛申間敷候

具結人　今因遺失對於上開　之　特具本保結緣本人業將　無　倘關於本件發生糾葛而損害累及貴社時概歸本人連負帶責任毫與貴社無涉立此保證書是實此致

B列 5

（樣式第九號）

荷　札

左ノ條件ヲ具フルモノヲ標準トス

一　模造正百五十斤（九十瓩）以上ノ强度ヲ有シ其ノ兩面ニ模造正二百斤（百二十瓩）以上ノ强度ヲ有スル鳩目ヲ附シタル紙製ノモノ又ハ之ト同程度ノ布製其ノ他ノモノニシテ且白色又ハ淡茶色ノモノ但濕潤性ノ貨物ニ附スルモノハ木札其ノ他濕氣ニ耐ヘ得ル經木類ノモノ

二　貨物ニ括附用トシテ相當强キ纖線又ハ麻條ヲ附スルコト

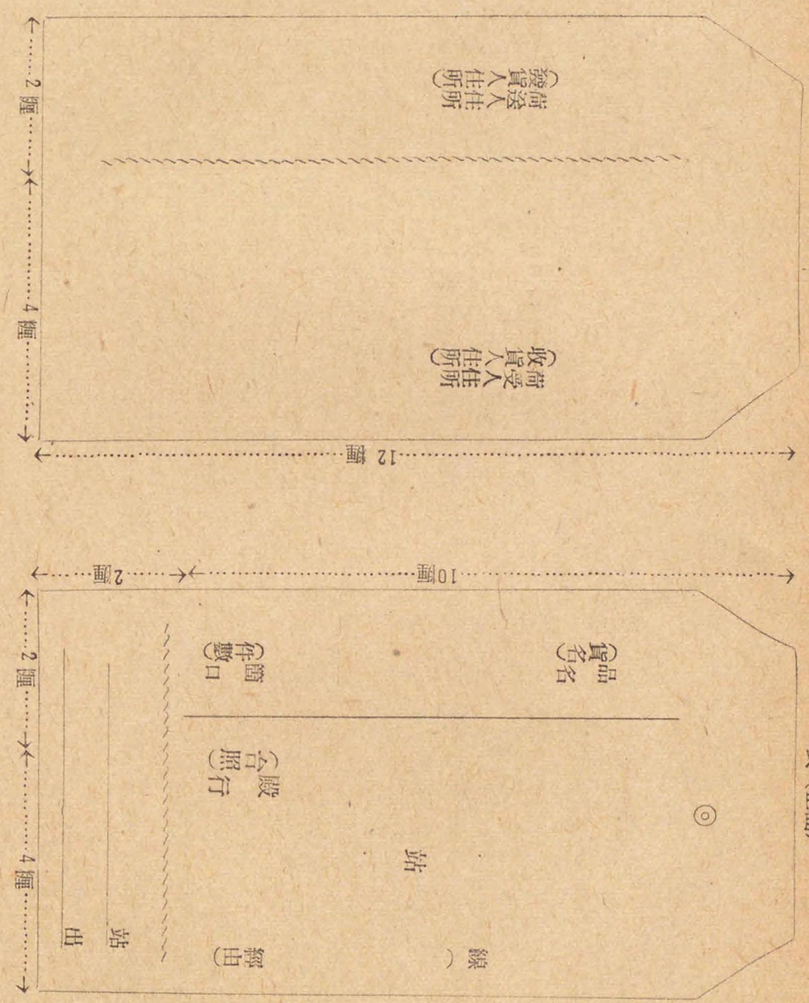
註一　鳩目紙ノ上部ニ用紙ノ重量及製造者名ヲ表示シタルモノヲ使用スルコトヲ得

註二　模造正百五十斤トハ模造紙四六判全紙五百枚ノ重量百五十斤ノ謂ナリ

（備考）

一　品名ノ記載方ニ付テハ規則第十二條ニ依ルモ運送途中通關ヲ要スルモノニ在リテハ當該荷札ヲ添附スベキ貨物ノ品名及箇數ヲ附記シ「何何外何箇口ノ中何何」何箇」ト記載スルコト

二　荷札ヲ附スベキ場合ニ付テハ規則第十二條參照



（補則別表）

帳表樣式

一　二葉式以上ノ帳表ハ各片同時ニ作成スルコト

二　番號ヲ印刷シアル帳表ヲ取消、紙數不足、番號ノ重複其ノ他ノ事由ニ因リ廢紙ト爲ス場合又ハ再製ノ爲作成スル場合ハ當該帳表ニ其ノ要旨、月日及自站名ヲ記入シ再製使用スル片ノ外ハX線ヲ以テ抹消ノ上控片ヲ除ク殘餘ノ各片ハ當日ノ貨物收入內譯日報ト共ニ之ヲ所管審査課ニ提出スルコト

三　缺番號ヲ發見シタルトキハ次號ノ番號ノ下ニ「前號缺」ト附記スルコト

貨物通知書ノ缺番號、再製又ハ廢紙アルトキハ當日ノ貨物收入內譯日報ノ記事欄ニ其ノ要旨ヲ記入スルコト

四　貨物引換證其ノ他站長職印ヲ押捺發行スル帳表ノ記載事項ヲ改訂シタルトキハ取扱者ノ認印ヲ執レモ當該箇所ニ押捺スルコト

五　番號ヲ印刷シアル帳表類ノ受入ニ際シテハ番號其ノ他ヲ檢査シ缺番號、重複番號、印刷相違其ノ他ノ過誤ヲ發見シタルトキハ其ノ要旨ヲ遲滯ナク所管審査課ニ報告スルコト

六　番號ヲ印刷シアル未發行ノ帳表類ノ紛失、盜難又ハ滅失アリタルトキハ其ノ要旨ヲ遲滯ナク所管審査課ニ電報シ更ニ書面ヲ以テ其ノ顚末ヲ報告スルコト

七　帳表類ハ出納簿ニ依リ之ガ出納ヲ明カニシ置クコト

八　本表樣式中刷色ニ付特ニ明示ナキモノハ黑刷トス

樣式番號	帳表名
一	荷票
二	再製用貨物通知書
三	問合書
四	集貨證明書、配達證明票
五	集貨不能通知、配達不能通知
六	運賃料金領收書、貨物持出書
七	貨物到著通知
八	到著通知代用掲示
九	書證券預リ證
十	引渡支障貨物照會
十一	公
十二	貨物持込表

（樣式第一號）

荷　票

荷札式トシ兩面刷トス

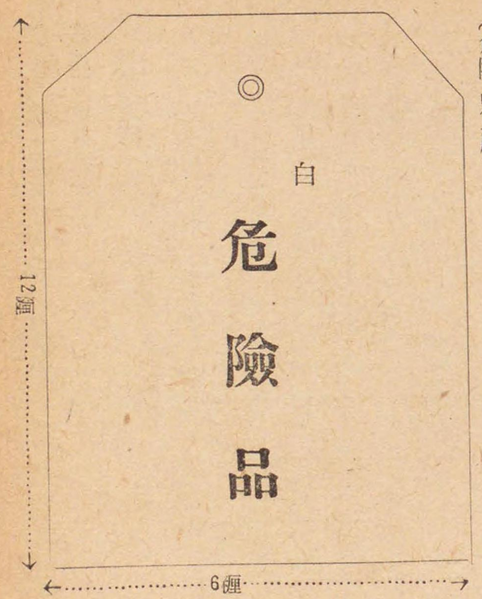
（備　考）

一　配達附貨物荷票ハ荷札ノ兩面中央部ニ横線二條ヲ朱書シテ之ヲ省略シ又ハ荷札ニ兼用セシムルコトヲ得

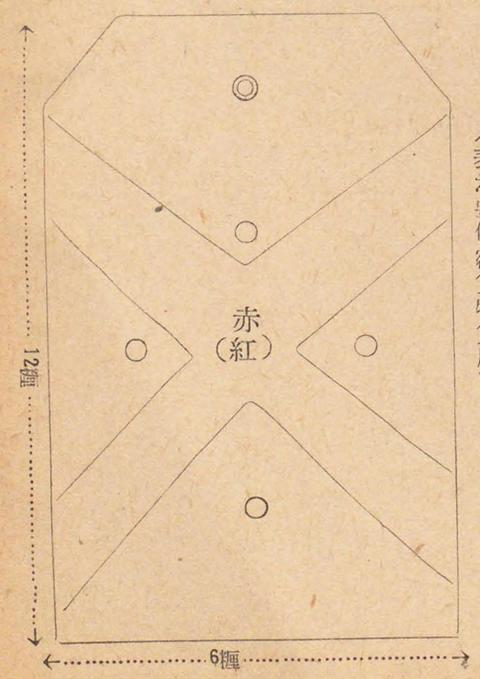
二　荷票ヲ附スベキ場合ニ就テハ規則第十七條補則參照

荷　票（貨　牌）

危險品荷票
（危險品貨牌）



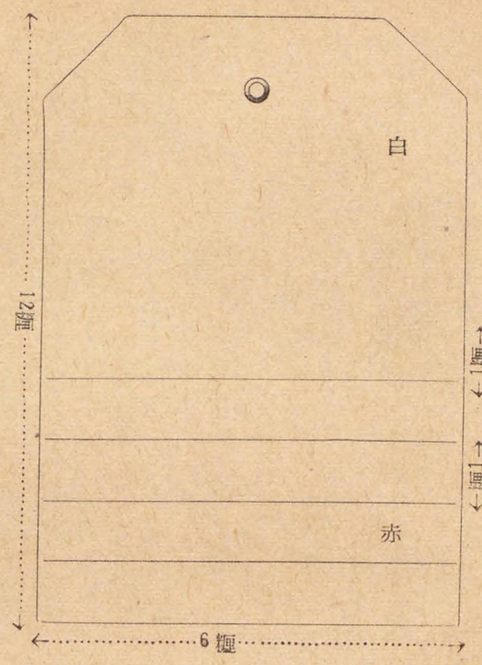
要償額表示貨物荷票
（表示要償額貨物貨牌）



註　赤色地ニ白色文字ヲ染抜キ兩面刷トス（於紅色地染白色地印刷兩面）

配達附貨物荷票

（送貨貨牌）



註白地ニ赤色ヲ以テ※印ヲ兩面ニ印刷ス（於白色）※印印刷兩面

（樣式第二號）

再製用貨物通知書

一　左右兩片ノ切取線ニハミシンヲ入レス

二　濃綠色刷トス

三　紙質ハ更四十一斤トス

（備考）

一　處理方

再製シタルモノハ原貨物通知書ト看做シ同一ノ方法ニ依リ處理スルコト

二　記入方

イ　關係站ニ照會シ又ハ荷札原貨物通知書其ノ他ニ依リ一件毎ニ記入スルコト

ロ　著站ニ於テ代金引換ニ係ル丁片ノ再製ヲ爲ス場合ハ相當欄ニ其ノ收入月日及站名ヲ記入シ且站長職印ヲ押捺スルコト

ハ　再製事由其ノ他ノ必要事項ハ記事及再製事由欄ニ記入スルコト

ニ　○印欄ニハ原貨物通知書記載ノ鐵路（道）局頭文字ヲ記入スルコト

三　本書ヲ發行スル場合ニ付テハ規則第十八條補則三及補則四竝貨物連絡運送規則第二十五條補則第三十一條補則參照

華北交通株式會社
貨物通知書（提貨單）（再製用）

昭和　年　月　日（承運）

發（起運）站（驛）
經由線（路）又ハ（或）站（驛）名
荷貨人（送人）住ハ所又ハ所在地（住番地又ハ業名）
車記號番號（號碼）
所品（貨）名及記號荷造（包裝）
記號及番號（號碼）
數（件）
實重量
瓩（噸）
容積（體積）
立方米（立方糎）
合計
運賃（費）
圓
雀創付○佛

特約條件、記事及再製事由

月　日　時　分荷受人ニ引渡（受付番號）

月　日　時　分荷受人ニ引渡（受付番號）

月　日　刻車到著（到達）
指定店又ハ配達人ニ交付
月　日　時　分（交付指定店或送貨人）
到著（到達）通知（書面、電話）（）
月　日　時　分荷受人ニ引渡（受付或受人）○

保管料（費）
立替金（墊款）
計算日數　日
金額　円
月　日第　號　円

華北交通株式會社
貨物通知書（提貨單）（再製用）

原通知書片號名及番號（原通知書員名及號碼）
片（貨）
貨物引換番號（港倉番號）
運送状受付番號（宅運單受理號碼）

○

發（起運）站（驛）
著（到達）站（驛）
線（航路）
殿（合照）
荷貨人受取人
住ハ所（住番地）又ハ業名
殿（合照）
運賃（費）等（電）
運賃（費）料金（雜費）支拂（支付）方法
扱（辦理）種別
扱（辦理）
發（起運）站（驛）
著（到達）站（驛）
品（貨）名
實重量
運賃（費）
圓
立替金（墊款）
月日第號
円

切取線

記事及再製事由
月　日　時　分刻車到著（到達）
指定店又ハ配達人ニ交付
月　日　時　分（交付指定店或送貨人）
到著（到達）通知（書面、電話）
月　日　時　分荷受人ニ引渡（交付或受人）
保管料（費）
計算日數　日
金額　円

乙ノ二
月　日（承運）
受託（著（到達）站→審査）
通知（宅運單受理號碼）

七八

（樣式第三號）

問合書

用紙ハ私製往復葉書トス

（備考）

一　往信片各欄及文言中ノ空位ニ相當要項ヲ記入シ且「集貨」、「配達」、「ニ御引渡」、「カラ御受取」ノ字句ハ集貨又ハ配達ノ區別ニ應ジ不要ノ分ヲ抹消スルコト

二　切符、通知書又ハ引換證番號欄ニハ貨物引換證附ノモノニ對シテハ貨物引換證番號ヲ記入スルコト

三　右側下部（　）內ニハ「貨物」ト記入スルコト

四　復信片表面ニ記載サルベキ宛名（自站名）竝ニ同片裏面ニ記載サルベキ照會日附番號及前號所定ノ要項ハ發信ノ際豫メ記入シ且文言中ノ「ニ引渡シタ」「カラ受取ツタ」ノ字句ハ集貨又ハ配達ノ區別ニ應ジ不要ノ分ヲ抹消シ置クコト

五　本書ヲ發信シタルトキハ適宜發信月日、番號、宛先等ヲ記錄シ置クコト

六　荷主ヨリ接收シタル復信片ハ用濟ノ上番號順ニ整理保存スルコト

七九

（往信用）

照會第　　號（　　）

集貨又ハ配達（送達）月日	發站	著站	荷送人（發貨人）	荷受人（收貨人）	品名	箇數（件數）	切符、通知書又ハ貨物引換證（票、通知書或提貨單）月日	番號（號碼）

御多忙中御手數乍ラ右荷物ニ關シ左記ノ事項ヲ折返シ御回答下サル樣御願シマス

記

一　荷物ヲ集配人ニ御引渡カラ御引取ニナツタ時刻

二　集配人ニ運賃料金其ノ他ヲ御支拂ニナツタナラバ其ノ金額

三　集配人ノ作業振ニ就テノ御意見

四　其ノ他御氣付ノ點

關於右開貨物之左列事項請即裁卜答覆爲荷

計開

一　將貨物向取送人交出之時刻

二　如向取送人支付運價雜費或其他費用時爲其金額

三　關於取送人作業上之意見

四　其他關於貨物處理上閣下之意見

昭和　年　月　日

華北交通株式會社　站長

（復信用）

月　日附照會第　號ニ對スル回答（　）

一　集配人ニ引渡シタ時刻（カラ受取ツタ時刻）

（將貨物向取送人交出之時刻）　月　日　時

二　集配人ニ支拂ツタ金額（向取送人支付之金額）　圓

三　集配人ノ作業振（取送人之作業情況）

四　其ノ他氣付ノ點（其他關於貨物處理上之意見）

昭和　年　月　日

住所

氏名又ハ商號

（樣式第四號）

集貨證明票、配達證明票

傳票百枚ヲ以テ一冊トス

（備考）

集貨又ハ配達妨害ノ場合ニシテ之カ作業費金ノ支拂ヲ證スベキモノハ別葉ニ記載セシメ記事欄ニ其ノ旨附記ギシムルコト

集（取）貨證明票

昭和　年　月　日

站名　　站長

種別	件數（批數）	箇數（件數）	運賃計算重量（運費計算重量）	集貨作業賃金（取貨作業工價）額（格）	記事
運賃計算重量（工價計算重量）110瓩（100公斤）爲止			瓩	圓	
運賃計算重量（工價計算重量）100瓩以上（110公斤以上）					
合計					

集配請負人（取送承攬人）

A列 5

配達（投遞）證明票

昭和　年　月　日

站名　　站長

種別	件數（批數）	箇數（件數）	賃金計算重量（工價計算重量）	配達作業賃金額（送達作業工價格）	記事
賃算工算 金重價重 計量計量 100瓩 100瓩 瓩 110 110瓩 瓩 止 以上 以上			瓩	円	
合計					
代金引換貨物（代收貨價）					

集配配達人（取送承擔人）　○

A列5

（様式第五號）

集貨不能通知、配達不能通知

用紙ハ官製葉書トス

（備考）

一　文言中不要ノ字句ニ抹線ヲ施スコト

二　本書ヲ發信シタルトキハ關係貨物通知書乙片其ノ他ニ適宜發信月日、番號、宛先等ヲ記錄シ發信ノ事實ヲ明カニ爲シ置クコト

第　號　集（取）貨不能通知

申込受附（申請受理）月日時	月	日	時	品名（貨）	箇數（件數）	摘要

右御申込ノ貨物ハ　日　時集貨ニ參リマシタガ（御不在御住所不明）ノ爲已ムヲ得ズ歸リマシタ

若シ再集貨ヲ御希望ナレバ此ノ紙片御持參（又ハ電話ヲ以テ）ノ上當站ニ再度御申出下サイ

昭和　年　月　日

華北交通株式會社　站長

第　號　配達（送貨）不能通知

貨物通知書又ハ（或）貨物引換證（提貨單）月日	番號（號碼）	發站	荷送人（發貨人）品名（貨名）	箇數（件數）	重量	配達（送貨）月日
						月　日

貴殿宛ノ右貨物ハ　ノ爲配達不能トシテ持戻リマシタカラ左記御持參ノ上當站ニ受取方御申出下サイ

一　此ノ葉書、印章又ハ貨物引換證

一　運賃其ノ他ノ諸掛　圓　錢

一　引換代金及立替金　圓　錢

追テ　月　日迄ニ御引取ナキトキハ其ノ後ノ時間ニ對シ一日ニ付　錢ノ割合ニ依リ貨物保管料ヲ申受ケマス

昭和　年　月　日

華北交通株式會社　站長

（樣式第六號）

運賃料金領收書

貨物持出書

一　番號

一—一〇〇

一　編成

控　（乙）

旅客又ハ荷主用　（甲）　薄葉

報告用又ハ貨物搬出用（丙）　厚葉

（備考）

一　發行方

次ノ場合ニ發行スルモノトス

イ　荷主ヨリ運賃、料金等ノ領收書ヲ交付ノ請求アルトキ

ロ　持出書ノミ又ハ持出書ト領收書トヲ同時ニ必要トスルトキ

ハ　荷受人ノ申出ニ依リ貨物ヲ配達ニ附スルトキ

ニ　構内運搬ニ對スル料金ヲ收受スルトキ

ホ　貨物託送前發生シタル貨物留置料又ハ費用ヲ收受スルトキ

ヘ　貨物引渡手續終了後發生シタル貨物保管料（指定貨物通知書ヲ使用シタル場合ハ引渡手續終了前ノ貨物保管料モ）、貨物留置料又ハ

費用ヲ收受スルトキ

ト　荷主ガ所定ノ時間內ニ貨車積込ヲ了セザル爲會社ニ於テ運送ノ準備ヲ撤シ貨車留置料、貨車入換料又ハ貨車廻送料ヲ收受スルトキ

チ　其ノ他一定ノ報告用紙ナキ諸料金若ハ費用ヲ收受スルトキ

二　處理方

甲　片

運賃料金支拂者ニ交付スルコト

持出書ノミノ必要ニ依リ發行シタル場合本片ハ其ノ儘原冊ニ殘スコト

乙　片

自站ニ保存スルコト

丙　片

收入又ハ拂戻ノ證憑トシテ發行シタルトキハ所管審査課ニ提出スルコト貨物持出書トシテ發行シタルトキハ荷主ニ交付シ貨物搬出ノ際門衞ニ於テ現品ト對照ノ上之ヲ回收スルコト但シ本片記載ノ數量全部ヲ同時ニ搬出セザルトキハ裏面ノ內出記事欄ニ相當記入捺印ノ上之ヲ荷主ニ返付シ最終ノ搬出ノ際回收スルコト

前項ニ依リ回收シタル本片ハ發行日順、番號順ニ整理シ回收當日每ニ取纏メ自站ニ保存スルコト

領收書ノミノ必要ニ依リ發行シタル場合本片ハ其ノ儘原冊ニ殘スコト

荷受人ノ申出ニ依ル貨物配達ノ爲發行シタルトキニシテ請負人ガ配達料及保管料ノ取立ヲ爲ス場合ハ本片ハ配達ノ翌日所管審査課ニ報告スルコト

三　使用方

本書ハ左ノ區別ニ從ヒ各別冊ヲ使用スルコト

イ　荷受人ノ申出ニ依ル貨物配達ヲ爲ス際發行スルモノ

ロ　持出書ノミ領收書ノミ又ハ持出書ト領收書トヲ同時ニ必要トスル場合發行スルモノ

ハ　收入又ハ拂戻證憑トシテ發行スルモノ

領收書、收入又ハ拂戻證憑及持出書ヲ同時ニ必要トスル場合持出書ノ發行方ニ付テハ前項イ號ニ依ルコト

四　記入方

イ　各其ノ用途ニ應ジ要項ヲ記入スルコト

ロ　丙片ノ表題ハ不要ノモノニ抹線ヲ施スコト

ハ　收入種別欄ニハ「カ」ト記入スルコト

ニ　日時記入欄ノ到著通知、引渡又ハ搬出ノ字句ハ本書ノ用途ニ應ジ料金計算ノ基礎ニ合致スルヨウ適宜改訂スルコト

ホ　貨車廻送料ヲ本書ニ依ル收受スル場合ハ記事欄ニ廻送區間及返送區間ヲ記入スルコト

ヘ　配達料及保管料ノ取立ヲ請負人ニ於テ爲ス場合ハ記事欄ニ「請負人取立ト」記入スルコト

No. 1

乙
(控)

華北交通株式會社
運賃料金領收書
(運費雜費領收最)
貨物持出書
(貨物搬出書)

收入種別

扱別又ハ
保管方法

昭和　年　月　日發行　　站

切符、通知書(票、通知書)	月　日第　號	保管箇所		月　日　時到著通知(引渡)(交付)					
發站(起運站)		荷送人申込者(發貨人申請者)	殿(台照)	月　日　時引　渡(搬出)(運出)					
著站(到達站)		荷受人(收貨人)	殿(台照)	月　日　時指圖受理(受理變更)					

品名(貨名)	荷造及號(包裝及號)(記)	箇數(件數)	重量	容積	運賃料金(運賃雜費)(計算基數)(計算數)	割合(比例)	運賃料金其ノ他(運費雜費及其他) 種別	金額
							運賃(運費)	圓
							保管料(保管費)	
合計								

記事

拂(追)戻(回)	種別	金額
	運賃(運費)	圓

※　※　※　※

列5

No. 1

甲
(旅客又ハ荷主用)

華北交通株式會社
運賃料金領收書
(運費雜費收領書)

收入種別

扱別又ハ
保管方法

昭和　年　月　日發行　　站

切符、通知書(票、通知書)	月　日第　號	保管箇所		月　日　時到著通知(引渡)(交付)					
發站(起運站)		荷送人申込者(發貨人申請者)	殿(台照)	月　日　時引　渡(搬出)(運出)					
著站(到達站)		荷受人(收貨人)	殿(台照)	月　日　時指圖受理(受理變更)					

品名(貨名)	荷造及號(包裝及號)(記)	箇數(件數)	重量	容積	運賃料金(運賃雜費)(計算基數)(計算數)	割合(比例)	運賃料金其ノ他(運費雜費及其他) 種別	金額
							運賃(運費)	圓
							保管料(保管費)	
合計								

記事

拂(退)戻(回)	種別	金額
	運賃(運費)	圓

A列5

No. 1

丙
(報告用又ハ
貨物搬出用)

華北交通株式會社
運賃料金領收書
(運費雜費領收書)
貨物持出書

昭和　年　月　日發行

收入種別

扱別又ハ
保管方法

站

切符、通知書(票、通知書)	月　日第　號	保管箇所		月　日	時到著通知(引渡)(交付)		
發站(起運站)	荷送人申込者(發貨人申請者)	殿(台照)	月　日	時引　渡(搬出)(運出)			
著站(到達站)	荷受人(收費人)	殿(台照)	月　日	時指圖受理(受理變更)			

品名(貨名)	荷造及記號(包裝及號)	箇數(件數)	重量	容積	運賃料金計算基數(運賃雜費計算基數)	割合(比例)	運賃料金其ノ他(運費雜費及其他) 種別	金額
							運賃(運費)	圓
							保管料(保管費)	
合計								

記事

拂戻(退回)	種別	金額
	運賃(運費)	圓

拂戻額受領者氏名印(收到退回額者之姓名印)

A列5

丙片裏面

內出記事

內出月日	品名及荷造(貨名及包裝)	內出箇數	殘箇數(餘箇數)	係員捺印(路員蓋印)	記事

（様式第七號）

貨物到著通知

用紙ハ官製葉書トス

（備考）

一　本書發信ノ場合ハ關係貨物通知書乙ノ二片ニ其ノ番號ヲ記入スルカ若ハ別途適宜ノ方法ニ依リ記錄シ置キ發信ノ事實ヲ明カニスルコト

二　荷主御ノ場合ニ於ケル取卸時限其ノ他本書樣式ニ指示サレタル以外ノ事項ニシテ荷受人ニ通知ヲ要スルモノハ適宜本文末尾ニ附記スルコト

三　未拂ノ運賃、料金又ハ立替金ナキ場合ハ各相當欄ニ斜線ヲ施シ又文言中不要ノ字句ヲ抹消スルコト

第　號　　貨物到著（到達）通知

到著（到達）月日	貨物通知書又ハ貨物引換證（或提貨單）月日	番號（號碼）	發站（起運站）	荷送人（發貨人）	品名（貨名）	箇數（件數）	重量	未拂運賃及料金（未付運賃及雜費）
								圓

右ノ貨物ガ當站ニ着キマシタカラ左ノ通御持參ノ上御引取下サイ

一　此ノ葉書、印章又ハ貨物引換證

一　前記運賃、料金立替金

追テ　月　日　御引取ナキ場合ハ其ノ後ノ時間ニ對シ一日ニ付　圓　時迄ニ　角　分ノ割合ニ依リ貨物保管料ヲ申受ケマス

右列貨物已到本站即請常左列各件前來領取可也

一　此明信片圖章或提貨單

一　前列運費雜費代收貨價墊款

再截至　月　日止倘不前來領取時對其以後之時間毎一日依　圓　角　分之比率核收貨物保管費

昭和　年　月　日

華北交通株式會社　站長

（樣式第八號）

到著通知代用揭示（文例）

（備考）

本揭示ヲ爲スベキ場合ニ付テハ規則第十條參照

到著通知不能貨物（到達後不能通知之貨件）

左記ノ貨物ガ當站ニ到著シテ居リマスカラ至急御引取願ヒマス

揭示ノ時カラ起算シテ左ノ期間ヲ過グルモ御引取ナキトキハ其ノ後ノ時間ニ對シ貨物保管料（火藥類ニ對シテハ貨物留置料）ヲ申受ケマス

一　火藥類　四時間　　二　死體及動物、危險品（火藥類ヲ除ク）及汚穢品　六時間　　三、其ノ他ノ貨物　揭示ノ日共二日間

左開之貨物已運到本站希急速前來領取爲盼

由揭示之時算起若經過左列之期間而猶未將該貨物領去者則對於以後之時間須分別照收貨物保管費（對火藥類則爲貨物留置費）

一　火藥類　四小時　　二　屍體及動物、危險品（火藥類除外）及汚穢品　六時間　　三、其他貨物　連揭示日在內共二日間

站長

月日	貨物通知書又ハ貨物引換證（或提貨單）番號（號碼）	發站（起運站）	荷送人（發貨人）	荷受人（收貨人）	品名（貨名）	箇數（件數）	重量	到著（到達）月日	揭示月日	記事

（樣式第九號）

書證券預リ證

（備考）

指圖ノ申込ヲ受ケ直ニ之ヲ受理スルコト能ハザル爲貨物引換證ヲ預ル場合其ノ證トシテ要項ヲ記入ノ上指圖申込者ニ交付シ貨物引換證ヲ返付スル際之ト引換ニ回收ノ上自站ニ保存シ置クコト

華北交通株式會社

書證券預リ證
（書證券寄存證）

昭和　年　月　日

殿（台照）

站長

預リ書證券ノ種類及番號（寄存書證券之種類及號碼）
第　號

預リ（寄存）書證券面記載要項	
作成（塡發）年月日	昭和　年　月　日
發站（起運站）	
著站（到達站）	
品名（貨名）	
荷送人又ハ發貨人（名號氏名商姓商號或名）	
荷受人又ハ收貨人（名號氏名商姓商號或名）	

上記ノ書類相預候指圖能否確定ノ上ハ本證ト引換ニ御返付可致候也

（所存下開書類候確定能否變更後憑本證退還此證）

（樣式第十號）

引渡支障貨物照會

用紙ハ私製往復葉書トス

（備考）

一　著站ノ照會（電報）ニ基キ發站ニ於テ作成シ荷送人宛送付スルモノトス

二　往信片ニ要項ヲ記入スルノ外復信片表面ニ記載サルベキ宛名（自站名）竝ニ裏面ニ記載サルベキ照會日附、番號ハ發信ノ際豫メ記入シ置クコト

三　本書ヲ發信シタルトキハ其ノ日附、番號ヲ關係電報ニ記入又ハ別途適宜ノ方法ニ依リ記錄シ發信ノ事實ヲ明カニ爲シ置クコト

四　本書ニ對スル返信ヲ受ケタルトキハ相當手配ノ上關係電報ニ添附若ハ別途番號順ニ整理保存スルコト

昭和　年　月　日

氏名（住所又ハ商號名）

月　日　引渡支障（交付障礙）（貨物照會）第　號回答

（回復信用）

華北交通株式會社　站長

昭和　年　月　日

一、カラ貴殿御託送シ貴殿カラ當駅ニ到着シ貴殿ヘ引渡シ方ヲ御依頼シタル貨物ハ何ト御返事願ヒマス

一、折返シ到着駅ニ御回答ヲ願ヒマス

一、貴殿ヘ引渡シ方ヲ御依頼シタル貨物ハ何ト御返事願ヒマス

一、カラ當駅ニ到着シ貴殿ヘ引渡シ方ヲ御依頼シタル貨物ハ何ト御返事願ヒマス

再動ニ於テ到着駅ニ尚ホ何ト御返事願ヒマス

合備運送ニ於テ到着駅ニ尚ホ何ト御返事願ヒマス

月　日　番號（號數）　貨物運送知書

（到着駅）（荷受人）（貨物名）（個數）

引渡支障（交付障礙）（貨物照會）第　號

（去往信用）

（様式第十一號）

公　告（文例）

（備　考）

一　引取權利者ヲ確知スルコト能ハザル貨物ヲ發見シタル場合關係站ニ七日以上掲示スルモノトシ甲文例ニ依リ紙片ニ記載スルコト但シ該當件數比較的多キ站ニ於テハ乙文例ニ依ル且掲示板ヲ用ヒルコトヲ得

二　文例指定ノ表示事項ニシテ不明ノモノアルトキハ相當欄ニ「不明」ト記入スルコト

三　本公告掲示ニ付テハ規則第五十二條補則竝ニ貨物連絡運送規則第三十九條參照

甲

公告

左記荷物ハ荷主(發著站)不明ノ爲(査左列貨物因貨主(起運到達站)不明現在　站ニ保管致居候間御心當ノ向ハ御申出相成度候
站保管中如有知其著落者希即報知爲荷)

昭和　年　月　日

華北交通株式會社

站長

記

一品名、荷造、記號(貨名、包裝、記號)

一數量　箇(瓩(公斤))

一發著站(起運到達站)　站發(起運)　站著(到達)

一扱種別(辦理種別)

一託送(託運)　年　月　日　昭和　年　月　日

一到著(到達)　年　月　日　昭和　年　月　日

追テ本公告後六箇月內ニ權利者ノ申出ナキトキハ成規ニ依リ當社ニ於テ其ノ所有權ヲ可得可致候
(再於本公告後六箇月內如領取權利人仍未前來請領時即依定章歸本社取得其所有權)

乙

公告

左記荷物ハ荷主(發著站)不明ノ爲保管致居候間御心當ノ向ハ御申出相成度候
追テ本公告後六月內ニ權利者ノ申出ナキトキハ成規ニ依リ當社ニ於テ其ノ所有權ヲ取得可致候
(査左列貨物因貨主(起運到達站)不明保管中如有知其下落者希即前來請領爲荷
再於本公告後六箇月以內如領取權利人仍未前來請領時即依定章歸本社取得其所有權)

華北交通株式會社

站長

發站(起運站)	著站(到達站)	發送(起運) 年	月	日	到著(到達) 年	月	日	扱種別(辦理種別)	品名(貨名)	荷造及記號(包裝及記號)	箇數(件數)	重量	公告 年	月	日	荷物(貨件)保管站
		昭和			昭和							昭和				
		昭和			昭和							昭和				
		昭和			昭和							昭和				
		昭和			昭和							昭和				
		昭和			昭和							昭和				

○

華北交通株式會社

貨物持込表
（貨物搬入表）

○

No.……

昭和……年……月……日

著到驛站	經由線又ハ（或）站名	荷受人	荷送人	品名（貨名）	荷造（包裝）及記號	箇數（件數）	重量	容積（體積）	記事
合計									

注意　分割持込ノ場合ハ其ノ都度裏面ニ持込月日、品名及箇數ヲ記載スルコト
（分次搬入時體峙在背面將搬入月日、貨名及件數記載之）

B列6

（格式第十二號）貨物搬入書

（樣式第十二號）貨物特込表

○鐵道貨物運送取扱指針

第一章　總則

第一條　準據規定

會社ハ中國法人デアル、從テ會社ノ行フ鐵道運送ハ中國ノ一般法令ニ準據シテ居ル、然シ乍ラ此ノ一般法令ハ運送委託者タル荷主公衆ト運送人タル會社トノ間ニ於ケル權利義務ノ基本的大綱ガ定メラレテ居ルニ過ギズ複雜多岐ナル鐵道運送ノ一切ニ亙リ單ニ此ノ一般法令ノミヲ以テ律スルコトハ猶不充分ナノデ會社ハ茲ニ鐵道貨物運送規則ヲ制定シテ鐵道貨物運送業務ノ圓滿ナル遂行ヲ期シタ次第デアル。

扨テ第一條ノ規定ハ會社所管鐵道ニ於ケル貨物ノ運送ニ關シテハ他ニ特別ノ規定又ハ契約アル場合ヲ除キ總テ此ノ鐵道貨物運送規則ニ依ルルモノデアルト謂フ準據規定ヲ明示シタモノデアル。換言スレバ此ノ鐵道貨物運送規則ハ會社所管鐵道ニ於ケル貨物ノ運送ニ關スル一般的ナ基本規定デアツテ、對外的ニハ會社ト荷主トノ鐵道貨物運送契約ノ約款デアリ、對內的ニハ總裁ノ鐵道係員ニ對スル職務指令デアル。從テ荷主モ會社モ本規則ノ定ムル所ニ從テ貨物運送ニ關スル權利ヲ有シ義務ヲ負ヒ又鐵道係員モ其ノ業務ヲ遂行セネバナラヌ。而シテ本條ノ「特別ノ規定又ハ契約」ハ運送上特別ノ取扱ヲ必要トスル貨物ニ對シ會社ガ特ニ規定又ハ契約スルモノデアル其ノ貨物ニ對シテハ其ノ特別ノ規定又ハ契約ガ本規則ニ優先シテ適用サレルモノデアツテ現存ノ其ノ主ナルモノハ本條註ニ擧示シタ通デアル。

次ニ鐵道貨物運送規則補則ハ鐵道貨物運送規則ノ定ムル所ニ從テ貨物ノ取扱ヲ爲スニ當タリ必要トスル事項ヲ總裁ガ指令シタモノデアツテ本補則ハ規則ト異リ會社ト荷主間ノ約款事項デハナク從テ單ニ本補則ヲ以テ會社ハ荷主ニ對抗スルコトハ出來ナイ。而シテ第一條ノ補則ハ鐵道係員ガ站ニ於テ常多數ノ荷主公衆ヲ相手方トシ多種多樣ノ貨物ヲ取扱フ場合時ニ是等規定ノ全ク豫想セザル事項又ハ前例ノナイ事項等ニ直面シタ場合ニ於ケル取扱上ノ區々又ハ錯誤ヲ防止セン

トスル趣旨ニ出デタ規定デアルカラ斯カル場合ニハ假令夫レガ法令ヤ其ノ他公ニ規定セラレテ居ル事項デアツテモ站係員トシテハ徒ナル獨斷專行ヲ避ケ一應所管鐵路局長ノ指示ヲ俟ツテ取扱フベキデアル。

第二條 略語

略語制定ノ理由ハ今更述ベル迄モナク此ノ規則中ニ屢使用スル用語ノ意義ヲ明確ナラシメルト共ニ文言ヲ簡潔ナラシメル爲ニ外ナラヌ

第三條 運送ノ拒絶、契約ノ解除

鐵道營業ハ由來獨占企業的性質ヲ多分ニ包藏シテ居ルガ反面又重要ナル社會公共的機關デアツテ常ニ不特定多數人ノ公平利用ヲ本旨トシテ居ル。從テ鐵道ハ運送契約締結ニ當タリ其ノ獨占企業的立場ヲ惡用シテ徒ニ自由意志ヲ以テ之ガ取捨選擇ヲ爲シ或ハ鐵道ノ都合主義ニ依ル取扱ヲ爲ストキハ以テ社會一般ノ鐵道利用者ニ對シ不公平ヲ招致シ鐵道ノ社會公共的使命ニ背馳スルベク、又之ニ反シ鐵道ガ常ニアラユル貨物ヲ無條件的ニ運送ノ强制ヲ受ケルコトハ爲ニ鐵道運送ノ秩序ガ破壞サレ延イテハ社會一般利用者ニ對シ迷惑ヲ及ボシ之亦鐵道ノ使命ヲ全ウスル所以デハナイ。依テ會社ハ豫メ運送實行上ノ可否ヲ定メ本條ニ七ツノ場合ヲ列擧シテ此ノ場合ニハ會社ハ其ノ貨物ノ運送受託ヲ拒絶シ又ハ既ニ結ンダ運送契約ヲモ解除シ得ル旨ヲ規定シタ。尙補則ニ於テ貨物ガ受託ノ日共二日以內ニ發送シ得ラレル見込ノナイトキニ其ノ運送ヲ拒絶スルニ當ツテハ一應所管鐵路局長ノ指示ヲ俟ツベキ旨ヲ規定シタ趣旨ハ前述ノ樣ニ鐵道ハ何時デモ何人デモ公平ニ利用シ得ラレナケレバナラヌト謂フ鐵道本來ノ使命ニ鑑ミ出來ルダケ一般荷主ノ不便不利ヲ避ケヤウトスル本心ニ出テタモノデアルカラ站長カラ此ノ指示ヲ仰ガレタ鐵路局長ハ其ノ時ノ輸送狀勢、站ノ保管施設、託送貨物ノ性質等ヲ充分考慮シ愼重ニ其ノ指示內容ヲ決定スベキデアル。

第四條 運送制限

本規則ニ規定シテ居ルコトハ本來通常ノ狀態ニ於ケル場合ノ貨物運送ニ關スル取扱方デアツテ運輸上又ハ天災事變其ノ他ニ依リ特ニ必要ガアレバ假令本規則ニ明示サレテ居ル場合ト雖モ其ノ運送徑路、方法其ノ他運送ニ關シ特殊ノ制限ヲ爲サナケレバナラヌトキデアル。例ヘバ線路支障ノ爲通常ノ運送徑路ニ依リ難イ場合ニ他ノ異ツタ徑路ヲ指定スル要アルガ如キ、或ハ輸送ノ輻輳ヲ緩和スル爲一時特定貨物ノ受託停止ヲ行フ要アルガ如キ其ノ例デアル。本條ノ設定趣旨ハ斯カル非常事態發生ノ場合會社ハ直ニ機宜ノ處置ヲ講ジ以テ公共運輸機關タルノ使命ヲ全ウセンガ爲デアル。而シテ是等ノ運送制限內容ハ其ノ都度本社若ハ鐵路局ヨリ站長ニ指示スル。

第五條 站構內出入者、作業等ノ限制

無用ノ者ノ站構內出入ヲ禁止スルコトハ當然デアルガ假令荷主ト雖モ運輸上又ハ取締上、例ヘバ輸送ガ極度ニ輻輳シ構內出入者ヲ制限セネバ業務遂行上支障アルトキ、警戒、防諜上必要アルトキ等ニ於テハ會社ハ站構內ノ出入者ヲ制限スルコトガアル。又荷主積卸貨物ト雖モ會社ハ必要アリト認メタナラバ其ノ積卸作業ヲ會社ニ於テ爲シ或ハ積卸工人ヲ特ニ指定スル等必要ナル各種ノ制限ヲ爲スコトガアル。

而シテ是等ノ制限ハ何レモ鐵道利用者ヲ或程度拘束スル結果トナル場合ガ多イカラ、會社ガ之ヲ行フニハ常ニ公正妥當ナル理由ヲ必要トスルコト勿論デアル。依テ之ヲ行ハントスル場合ハ站長ノ獨斷專行ヲ避ケ本條ニ依リ鐵路局長ノ指示ヲ承ケサセルコトトシタ次第デアル。

第六條 扱種別

貨物一口ノ託送數量ノ大小ニ依リ貨物運送ノ扱種別ヲ小口扱ト車扱トニ分ケ、其ノ何レノ扱種別ニ依ルカハ本條ニ依ツテ特ニ指定シタモノ以外ハ總テ荷送人ノ自由選擇ニ委セタ。而シテ此處ニ特ニ之等數種ノ貨物ヲ車扱トシテ指定シタ所以ハ、是等ノ貨物ハ其ノ本來ノ性質、形狀等カラ見テ小口扱トシテ取扱フコト不適當ト思ハレタカラデアツテ此ノ指定

貨物ハ其ノ數量ガ如何ニ少クトモ常ニ車扱トシテノミ取扱フノデアル。

尙本條ニハ列擧シテ居ナイガ貨物取扱區域外扱貨物卽チ構內運搬、專用側線及貨物支線發著貨物ハ小口扱ノ取扱ヲシナイシ又第八條第一號ニ規定シテ居ル貨物モ特ニ承諾シナケレバ小口扱ノ取扱ヲシナイ。

第七條 一口ノ制限

一口トハ貨物運送ノ場合ニ於ケル運送契約ノ單位デアル。運送契約ヲ結ブニ當タツテハ先ヅ一定ノ單位ヲ定メテ其ノ單位毎ニ受取、輸送、引渡等ノ作業ヤ運賃、料金ノ計算等ヲ行フノガ便利デアル。此ノ運送契約ノ單位ガ卽チ一口デアル。

一口トハ右ノ如ク貨物貨送契約ノ單位デアルカラ一口ノ貨物ハ同時ニ受取リ、輸送シ、引渡、運賃、料金ノ計算ヲシテ恰モ一箇ノ貨物ノ如ク取扱ハルベキモノデアル。故ニ此ノ一口ノ制限ニ就テ何等ノ制限ヲ設ケナイトキハ取扱上種々ノ不便ヲ生ズルノミナラズ又取扱不能ノ場合モ生ズルノデ現有ノ設備ヤ取扱上ノ利便ヲ考慮シテ本條ノ樣ナ制限ヲ附シタ次第デアルガ之ニ付多少ノ說明ヲ加ヘレバ次ノ通デアル。

一　專用側線積又ハ卸貨物ト站積又ハ卸貨物ハ一口ト爲シ得ナイ、之卽チ引渡手續ガ異ルカラデアル。

二　貨物引換證附貨物ト然ラザル貨物トハ一口ト爲シ得ナイ、之卽チ運賃支拂方法ガ異ルカラデアル。

三　發拂、豫納拂、後拂扱貨物ハ相互之ヲ一口ト爲シ得ナイ、之卽チ引取期間ガ異ルカラデアル。

四　死體、動物、危險品又ハ汚穢品ト一般貨物トハ一口ト爲シ得ナイ、之卽チ引渡期間ガ異ルカラデアル。

五　賠償限度ノ異ルモノ例ヘバ貴重品ト然ラザルモノ、**ニトヤ**ノアルモノト然ラザルモノ等ハ之ヲ一口ト爲シ得ル。然シ此ノ場合ハ後日ノ損害調査ニ便スル爲現品及通知書面ニハ明確ニ區分シ置ク必要ガアル。

第八條 臨時ノ約束ニ依リ運送スル貨物

鐵道ノ有スル施設及供與シ得ル利便ニハ自ラ限度ガアリ、無制限ニ運送ヲ引受ケルコトハ出來ナイ。多數ノ貨物中ニハ長サ、重量、容積等ノ過大ナルモノ或ハ汚穢品、特種貴重品等ノ如ク特殊ノ取扱ヲ要スルモノモアリ、輸送上ノ施設及取扱上種々ノ手配ヲ要スルモノガアルノデ、斯カル貨物ハ荷送人ヨリ運送ノ申込ヲ受ケタトキ一應會社ニ於テ其ノ取扱ノ能否ヲ檢討シ所要ノ手配ヲ爲シタ上始メテ受託ヲスルモノデ、其ノ都度ノ約束ニ依ツテ運送ヲ引受ケルコトニシテ居ル。站長ハ本條列記ノ貨物運送ノ申込ヲ受ケタナラバ直ニ鐵路局長ニ對シ其ノ品名、數量、發着站等ノ要項ト共ニ事前手配ヲ爲スニ必要ナル長サ、重量、容積其ノ他ノ事項ヲ詳細報告シ鐵路局長ガ所要ノ手配ヲ終リ其ノ受託差支ヘナイ旨ノ指示ガアツタトキ始メテ受託スル樣ニシナケレバナラヌ。

第九條 引渡期間

鐵道ハ重要ナル社會ノ公共的機關デアツテ一度運送ヲ受託シタ貨物ハ之ヲ遲滯ナク相當ナ期間內ニ荷受人ニ引渡スベキ義務ガアリ、若シ此ノ相當期間ヲ超過シタナラバ之ニ因ツテ生ジタ損害ヲ賠償スベキ責任ガアル。然シナガラ如何ナル期間ヲ其ノ相當ナル期間ト看做スカハ事實問題トシテ仲々困難ナ問題デアル。依ツテ會社ハ個々ノ場合ニ荷主トノ爭ヲ生ジナイ樣、受託カラ引渡迄ノ期間ニ對シ一定ノ基準ヲ定メタ。此ノ基準期間ヲ引渡期間ト謂フ。而シテ此ノ引渡期間ハ發送期間、輸送期間、接續期間及集配期間ノ四期間ヲ以テ構成シ此ノ四期間ノ日數ヲ合算シタモノヲ以テ引渡期間トシタ。而シテ發送期間トハ發站ニ於ケル貨物發送準備ノ爲ニ要スル期間デアリ。輸送期間トハ發站カラ著站迄ノ輸送及著站ニ於ケル貨物引渡準備ニ要スル期間デアリ、接續期間トハ準軌線ト狹軌線間ヲ通シ運送スル場合其ノ兩線接續站ニ於ケル貨物積替ニ要スル期間デアリ、集配期間トハ其ノ貨物ノ集貨又ハ配達作業ニ要スル期間デアルガ此ノ中準軌線又ハ狹軌線ノミ運送ノ貨物ニハ勿論接續期間ガ無ク、站授受ノ貨物ニハ當然集配期間ガ無イ。從ツテ其ノ他ノ期間ノ合算日數ガ其ノ儘其ノ貨物ノ引渡期間トナルノデアル。

引渡期間ニハ天災事變等ノ不可抗力、荷主ノ指圖其ノ他荷主ノ責ニ歸スベキモノ等會社ノ責ニ歸シ得ナイ事由ニ因ル遲

延日數ヲ加算スル、即チ夫レダケ期間ヲ延長スルコトトシタ。尙此ノ場合會社ノ責ニ歸シ得ナイ事由ニ因ツテ遲延シタ期間ハ會社ガ之ヲ立證シナケレバナラナイカラ斯ノ樣ナ場合ニハ其ノ遲延期間卽チ發生及終期ノ日時ハ正確ニ當該貨物通知書ノ餘白ニ記入シ置クコトヲ忘レテハナラヌ。又此ノ引渡期間ヲ超過シタカ否カノ決定ハ各構成期間各別ニ定メルモノデハナク之ヲ合算シタ總日數ニ依ツテ定メルモノデテル。

第十條 通知又ハ催告ニ代フル揭示

到着通知ト催告通知ノ代用揭示樣式ハ補則別表ニ示シタ通デアルガ其ノ他樣式ノ制定ナイモノハ要スルニ一見シテ判然ト解リ得ル如ク揭示スレバヨイ。

第二章 貨物ノ取扱

第一節 通則

第十一條 荷造

荷送人ハ貨物ノ性質、重量、長サ、容積、運送距離等ニ依リ運送中ノ滅失、毀損ヲ防止スルト共ニ取扱ニ適應シ且他ノ貨物ニ迷惑ヲ及ボサナイ程度ノ荷造ヲ爲ス必要ガアル。然シ如何ナル荷造ガ右ニ該當スルカハ貨物ノ種類、運送距離、積替回數等ヲ考慮シテ各ノ場合ニ應ジテ判斷サレルベキモノデアル。從ツテ取扱ニ適應シ且自他ノ保全ニ必要ナル條件ヲ備ヘテ居ル貨物、例ヘバ車扱ノ砂利、木材、石炭等ノ如キモノハ勿論荷造ヲ施ス必要ハナイ。但シ一般ノ認定ニ俟ツトキハ適切ナル荷造、包裝ヲ誤リ之ニ因テ自他ニ多大ノ損害ヲ與ヘル虞アル危險品ニ就テハ特ニ別表ニ其ノ包裝荷造ヲ示シテ必ズ之ニ依ラシメルコトトシタ。

荷造、包裝ノ完全ハ獨リ其ノ貨物ノ破損落失等ヲ招來スルノミナラズ盜難、紛失等ノ事故ヲ誘發スル原因トモナルカラ係員ハ受託ノ際充分其ノ荷造ヲ監査シ荷造ノ指定サレテ居ルモノハ勿論、指定サレテ居ナイモノテモ其ノ大サ、重量、

性質、積替回數等ニ應ジ必要ナル荷造ガ爲サレ居ルヤ否ヤヲ點檢シ不慮ノ事故防止ニ付豫メ充分ノ注意シ萬全ノ對策ヲ誤ラザル樣心掛ケネバナラヌ。

第十二條 荷札、標記

荷札ハ運送貨物ノ羅針盤トモ謂フベキモノデ貨物ノ行先、荷主名ヲ表示スル大切ナ標識デアルト共ニ運送中他ノ貨物トノ區分ヲ識別シ、又貨物通知書ト現品ガ分離シタ場合該貨物ノ行先、荷受人等ヲ確メル爲必要闕クベカラサルモノデアルカラ所定ノ樣式、記入ノ有無、運送途中脫落スル虞ガ無イカ否カラ受託ノ際充分ニ監査スル必要ガアル。

荷札ハ總テ各箇貨物ニ附著スレバ最モ完全デアルガ實際問題トシテハ之ガ無クトモ取扱ニ支障ノ無イ場合モ多イノテ原則トシテ小口扱貨ニ對シテハ貨物ノ各箇兩端（荷姿ヲ同ジクシ一口相當箇數アルモノデ紛雜ノ虞無シト認メラレルモノニ對シテハ一端）ニ別表帳表樣式所定ノ荷札ヲ荷送人ヲシテ附セシメ車扱貨物ニ對シテハ會社ニ於テ必要ト認メルトキ、例ヘバ荷姿ヲ異ニスルモノヲ一口トシタトキ又ハ準軌線ト狹軌線間ヲ通シテ運送スル場合等ハ必要ト認メル箇數ニ對シ荷札ヲ附著セシメルコトトシタ。此ノトキノ必要ノ有無ノ認定、必要ト認メル箇數、一端ニ附著セシムベキカ兩端着セシムベキカ等ノ點ニ付テハ站長ニ於テ適宜決定スレバヨイ。

此ノ荷札ハ鮮魚等ノ如キ濕潤性ノ貨物ニ對シテハ脫落、破損、記載事項ノ消失等ノ虞ガアルカラ是等ノ貨物ニ對シテハ木札又ハ布切等ヲ使用シ、又荷札ヲ附スルコトノ困難ナ貨物、例ヘバ鐵管、鐵板等ノ如キ貨物ニ對シテハ**ペンキ**ノ如キ容易ニ消失シナイ塗料ヲ以テ荷札ニ記載スベキ事項ヲ直接貨物ニ標記サセレバヨイ。尙此ノ所定ノ荷札又ハ標記以外ノ紛ラハシイ札ヲ附シタリ標記ヲサセルコトハ却ツテ紛雜ノ虞ガアルカラ斯カルコトハ禁止シナケレバナラヌ。

然シ荷送人ニ於テ無封ノ送狀又ハ添狀（俗稱手板）ヲ貨物ニ添附サセテ欲シイトノ希望ガアレバ便宜適當ナ見易イ箇所ニ之ヲ括附サセテモ差支ヘナイ。

荷札ノ記載事項ハ左ノ通テアル。

一　發站及着站名

二　荷送人及荷受人ノ住所又ハ營業所（配達附貨物ニ在リテハ屆先）及氏名又ハ商號

三　品名但シ一口二品目以上ノ場合ハ「何々（運送狀初筆ノ品名）外」ト記載スルコトガ出來ル

四　箇數

配達附貨物ニ對シテハ以上ノ外配達上便宜トナルベキ事項ヲ詳記シタ方ガヨイ。又第十四條補則二ノ規定ニ依リ荷主記號ヲ承認シタモノノ氏名又ハ商號ハ其ノ記號ヲ以テ表示シテモ差支ヘナク此ノ場合ハ更ニ其ノ住所又ハ營業所ノ記入ヲ省略スルモ差支ヘナイ。

荷札ノ記載ニハ墨汁又ハ**インキ**ヲ以テ明瞭ニ行ハシメ鉛筆、**コツピーインキ**等ノ如キ鮮明ヲ闕ク虞アルモノハ用ヒサセテハナラヌ。又小口扱貨物ニ對シテハ其ノ各箇ノ中ニ紙片又ハ布切等ニ此ノ荷札面記載內容ト同樣事項ヲ記載シテ錘入サシル樣可及的ニ荷主ニ慫慂シテ欲シイ。コレ荷札脫落ノ際ニ於ケル其ノ貨物ノ行先ヤ荷受人等ノ調査ニ資スル爲デアル。車扱貨物ニ對シテモ同樣ニ實行出來レバ結構デアル。

第十三條　附添人

附添人ハ貨物ノ運送中ノ安全ヲ確保スル必要カラ絕エズ貨物ニ附添ツテ之ヲ看守シ又ハ保護スル目的ヲ以テ乘込マシセル所ノ貨物ノ管理者デアツテ之ニハ會社ニ於テ强制的ニ附セシメルモノト荷主ノ希望ニ依リ會社ガ承諾ヲ與ヘテ附セメルモノトノ二ツノ場合ガアリ此ノ兩者ノ場合ノ貨物ノ種類及附添人數ハ本條所定ノ通デアル。

附添人ハ凡テ會社ノ承諾ヲ得テ乘車スベキモノデアリ承諾ヲ得ズシテ附添人トシテ乘車シタトキハ發見站ニ於テ運賃料金領收書ニ依リ所定ノ附添人料ヲ收受スルノ外既乘車區間ノ粁程ニ對シ二倍ノ附添人料相當額ヲ收受シ且前途ノ乘車ヲ

拒絕スルコトニシテ居ル。此ノ場合乘車站不明ノトキハ該貨物ノ發站ヲ乘車站ト看做シ、又乘車站又ハ發見站ガ貨物ノ取扱ヲ爲サナイ站デアルトキハ各其ノ外方ノ貨物取扱站ヲ其ノ站ト看做スベキデアル。

附添人ノ乘車位置ハ會社ニ於テ特ニ指定シナイ限リ其ノ貨物ヲ積載シタ貨車（甲種鐵道車輛ハ其ノ車輛）デアル。特ニ指定スル場合トハ積合車、危險品積車等ノ如ク當該貨車ニ乘車スルコト不適當ナル場合、或ハ危險ノ虞アル場合等デ通常斯カル場合ハ車掌車ニ乘車セシメルコトニシテ居ル。

附添人ノ附添中要スル添加積載物ノ承認ニ當タツテハ不當ノ數量ヲ積載セシメヌヤウ站長ニ於テヨク吟味スベキデアル。此ノ添加積載物ニ對シテハ會社ハ運賃料金ヲ收受シナイト同時ニ保管ノ責任モナイ。又積載動物ニ對スル飼養ノ義務モ負ハナイ。

尙添加積載物ニハ本條ノ外冷藏車ノ氷槽ニ入附ケル氷又ハ固形炭酸、甲種鐵道車輛ニ入附ケル炭水及油脂等ハ本規則中明文ハナイガ前項同樣ニ取扱フベキデアル。

第二節　受　託

第十四條　運送ノ申込

貨物ヲ託送セントスルモノハ其ノ貨物ヲ提供シ一口毎ニ運送狀ヲ以テ其ノ申込ヲシナケレバナラヌ。然シ集荷附貨物ニ對シテハ貨物引換證ノ交付ノ請求アルモノヲ除キ必要事項ヲ口頭、電話又ハ便宜ノ方法ヲ以テ申告シ運送狀ノ提出ニ代ヘルコトガ出來ルト謂フ便法ヲ認メタ。

又石炭、鐵鑛、礫土及石類ニシテ左ノ條件ヲ具フルモノハ一通ノ指定貨物運送狀ヲ以テ數口分取扱メテ之ガ申込ヲ爲スコトガ出來ル。

一　車扱ナルコト
二　荷送人、荷受人、發站、著站、託送ノ時、積卸方法及品名等ヲ同ジクスルコト
三　貨物引換證ノ請求ヲ爲サザルコト
死體、動物等其ノ取扱上、保管上特殊ノ注意、手配ヲ要スルモノ其ノ他會社ニ於テ必要アリト認メル貨物ニ對シテハ運送狀ヲ先ニ提出セシメ之ガ積込ノ準備完了ヲ俟ツテ後站長カラ貨物提供ノ通知ヲシ之ヲ提供サセルコトニシタ。此ノ場合荷送人ガ若シ受託前ニ其ノ運送ノ申込ヲ取消シタトキハ會社ハ運送ノ準備ニ要シタ費用（貨物取扱區域外ニ於テ貨物ノ貨車積込ヲ爲ス場合入換著手後デアツタナラバ貨車入換料、又特ニ常備站ヨリ專屬車ノ廻送ヲ爲シタトキハ當該區間ノ往復粁程ニ對スル貨車廻送料、其ノ他特ニ費用ヲ要シタモノアルトキハ其ノ費用）及貨車準備終了後ノ時間ニ對シ貨車留置料ヲ收受スル。運送狀ノ式紙ハ站ニ備ヘ置キ荷主ヨリ請求アルトキハ之ヲ無料デ交付スルコトニシテ居ルガ會社所定樣式ニ合致サヘスレバ私製式紙ヲ使用モ差支ヘナイ。
運送狀ノ記載事項ハ次ノ事項ヲ具備スルヲ要スル。
一　運送狀作成ノ年月日
二　發站名及著站名
三　專用側線又ハ貨物支線ニ於テ積込又ハ取卸ヲ爲スモノハ其ノ積込又ハ取卸箇所、貨物取扱區域外ニ於テ積込ヲ爲スモノハ其ノ積込箇所、又荷主積又ハ卸希望ノモノハ記事欄ニ「荷主積又ハ卸請求」
四　荷送人及荷受人ノ住所又ハ營業所及氏名又ハ商號（住所及營業所ハ補則二ニ依リ省略シ得ル場合ガアリ氏名又ハ商號ハ記號ヲ以テ代ヘ得ル場合ガアル）又集貨若ハ配達附貨物デ其ノ集貨又ハ配達先ガ荷送人又ハ荷受人ノ住所又ハ營業所ト異ルトキハ其ノ集貨又ハ配達先

五　貨物ノ扱種別
六　貨物ノ品名、記號、荷造ノ種類
品名ハ貨物ノ性質、狀態其ノ他等級決定ニ必要ナ事項ヲ知悉シ得ル程度ニ記入セシメルコト但シ一梱包中ニ二種以上ノ貨物ヲ混入シタトキハ貨物等級表ノ等級適用方第五號ノ場合ハ「雜品」ト其ノ他ノ場合ハ「何（在中品中最モ高キ等級ニ屬スル品名）外」ト記入セシメルコト荷送人ガ必要ト認メルトキハ銘柄「商取引上目標トナル商標例ヘバ鐘印綿絲、白金龍「煙草」等）格付（市價決定標準例ヘバ一等品、優等格、一等格等）ヲ品名欄ニ附記シテモ差支ヘナイ。
又荷造ハ「箱入」、「桶入」、「袋入」等ノ如ク簡明ニ記入セシメ荷造ナキ場合ニハ「裸」ト記入セシメルコト荷造ハ第十七條補則所定ノ略號ヲ使用シテモ差支ヘナイ
七　箇數（バラ積ノモノ例ヘバ石炭、鑛石、土、砂等ノ如ク荷造ナキモノデ箇數ノ計算困難ナモノハ「バラ」又ハ「撒」）重量（第三十八條ノ規定ニ依リ標準數量ヲ以テ託送スルトキハ重量欄ニ「標」ト附記セシメルコト）
八　濶大貨物ニシテ附加運賃ヲ收受スルモノハ其ノ計算ノ基礎タル一箇ノ長サ又ハ重量
九　貨物ノ價格（貴重品及貨物引換證ノ請求アルモノニ限ル此ノ價格ハ發送地ニ於ケル託送當時ノ市場價格ニ依ルコト）
十　貨物引換證ノ交付ヲ請求スルトキハ其ノ旨
十一　附添人ヲ附ストキハ其ノ員數
十二　特約アルトキハ特約條件（又ハ略號）ヲ記入シ條件毎ニ捺印サセルコト
十三　集貨又ハ配達附貨物ニ對シテハ其ノ旨
十四　貨物ガ壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯ナルトキハ其ノ中味ノ數量
十五　其ノ他會社ニ於テ必要アリト認メル事項

運送狀ニハ荷送人ニ於テ記名捺印スルコトヲ要スル。若シ已ムヲ得ザル事由アルトキハ署名（署名トハ捺印ノ代用トシテ自ラ姓名ヲ記入スルコト）又ハ記名拇印（拇印トハ捺印ノ代用トシテ拇指ヲ以テ指紋ヲ印スルコト記名ハ必ズシモ自筆タルヲ要シナイ）ヲ以ヲ之ニ代ヘルコトガ出來ル。

運送狀ニ荷送人ガ記載スベキ事項ハ以上ノ通デアルガ此ノ外站側ニ於テハ左ノ事項ヲ記事欄ニ記入スル必要ガアル。

一　第十六條補則二ノ規定ニ依リ平均重量ニテ計算シタ場合ハ其ノ旨ヲ記入スルコト此ノ場合「何箇」ノ記號ヲ用フルコトガ出來ル

二　運賃ノ割引（別表貨物特定運賃率表ニ依ルモノヲ除ク）其ノ他特殊ノ取扱ヲ爲ス場合ニハ其ノ通達ノ種類及番號ヲ記入スルコト

三　其ノ貨物運送上必要ナ許可書、證明書等ガアルトキハ夫レヲ運送狀ニ添附提出セシメ其ノ書類名及其ノ他ノ要項ヲ記入スルコト

四　貨物等級表ノ等級適用方第五號ノ規定ニ依リ二級トシテ取扱フベキ貨物ハ「⑤」ト記入スルコト

五　第十五條第一項第一號ノ規定ニ依リ開扉ノ儘輸送スルトキハ「開扉」ト記入スルコト

六　第十五條第一項第一號ノ規定ニ依リ共載輸送スルトキハ「共載」ト記入スルコト

運送狀ノ記載事項ハ以上ノ通デアルガ茲ニ代理人ニ於テ貨物ノ託送、引取又ハ其ノ他ノ請求ヲ爲ス場合ニ就テ一言スル。代理行爲ニ關シテハ特ニ規定セズ之ヲ一般法令ノ規定ニ依ルコトトシタノデアルガ代理人ニ於テ貨物ノ託送、引取又ハ其ノ他ノ請求ヲ爲サントスルトキハ

1　其ノ都度其ノ權限ヲ明示シタ委任狀ヲ提出セシメルコト但シ同一站ニ於ケル託送又ハ引取ニ就テハ一年以内ノ期間ヲ限リ同一人ヲ代理人トスル一通ノ委任狀ニ依ラシメルコトガ出來ル

2　委任狀ノ樣式ハ別ニ制限シナイガ要スルニ其ノ權限ガ明確ニ表示サシテ居ル有效ナモノデアレバ良イ

3　託送ノ場合ニ限リ運送狀ノ記事欄ニ荷送人ガ權限委任ノ旨ヲ記入シ記名捺印サヘスレバ之ヲ以テ委任狀ノ提出ニ代ヘシメルコトガ出來ル。此ノ場合ハ荷送人欄ニハ「何某代理何某」ト記入セシメ代理人ヲシテ捺印セシメレバ良イ

代理行爲ハ本人ノ爲ニ代理人ガ第三者ニ對シ自ラ意志表示ヲ爲シ又ハ第三者ヨリ意志表示ヲ受ケ之ニ依テ本人ノ爲ニ法律行爲トシテノ其ノ效果ヲ歸屬セシメルコトデアルカラ此ノ場合運送契約ノ相手方ハ依然本人デアリ運送契約ノ效果ハ當然本人ニ歸屬スルモノデアル。從テ荷札面ノ記載方モ代理人デナク荷送人ノ住所氏名ヲ書クベキデアル。

運送狀ハ扱種別毎ニ受付番號順ニ取纒メテ整理シ所定ノ期間保存シ置カナケレバナラヌ。

第十五條　免責事項

免責事項トハ運送貨物ニ損害ガ生ジタ場合運送人タル會社ガ其ノ損害賠償ノ責任ヲ免除サレル事項デアツテ、之ニハ當然ニ免責トナルモノト其ノ都度荷送人トノ特約ニ依テ免責トナルモノトノ二種類アル。本條第一項ノモノハ卽チ前者ニ屬シ第二項ノモノハ卽チ後者ニ屬スル。然シ乍ラ其ノ何レノ免責事項デアツテモ其ノ損害ガ會社ノ故意又ハ重大ナ過失ニ因ツテ生ジタ場合ハ勿論會社ハ之ガ賠償責任ヲ免ガレルコトハ出來ナイ（第五十六條）。

而シテ本條ノ免責特約ヲ爲スニ當タリ注意スベキ事項ハ

一　**チトヤ**ハ鐵路局長ヨリ指示アツタ場合ニ於テノミ徵スベキコト

二　**ニトヤ**ハ改裝ノ爲多大ノ時間、手數、材料又ハ費用ヲ要シ眞ニ止ムヲ得ナイト認メラレルトキノミニ徵スベキデ餘リニ不完全ナ荷造ノモノニ對シテハ第三條第六號ノ規定ニ依リ寧ロ受託ヲ拒絶シ以テ事故ノ發生防止ヲ圖ルベキコト

三　危險品、火藥類等包裝荷造ノ指定サレテ居ルモノニ對シテハ**ニトヤ**ヲ徵シテハナラヌコト

等デアル。尙本條ノ特約ノ外更ニ他ノ免責特約ヲ爲ス必要ガアツタ場合ハ鐵路局長ノ指示ヲ承ケレバ良イ。

第十六條　貨物ノ監査

會社ハ運送ノ爲荷送人ヨリ受取ツタ貨物ハ其ノ儘ノ狀態ニ於テ運送シ著站デ荷受人ニ引渡スベキ義務ガアル。而シテ其ノ受取ツタトキノ狀態ト相違スルヤ否ヤハ發站デ發行シタ貨物通知書ノ記載ト相違スルヤ否ヤニ依リ判斷スルノガ通例デアルガ、其ノ通知書ハ荷送人ノ申告又ハ運送狀ノ記載ニ依テ作成スルノデアル。若荷送人ノ申告又ハ運送狀ノ記載ト相違スルモノヲ其ノ儘漫然ト受託スルトキハ會社ハ不當ナ損害ヲ被ムル場合モアルカラ、會社ハ荷送人ヨリ貨物ヲ受取ルトキニハ申告又ハ運送狀ノ記載ニ基キ其ノ品名、數量、荷札其ノ他ニ付嚴重ナ受託監査ヲシテ相互相違ナイコトヲ確認スル必要ガアル。

更ニ亦會社ノ有スル施設或ハ輸送能力上ヨリ見テ其ノ貨物ガ運送ニ適スルヤ否ヤ、其ノ貨物ノ運送ガ法令ニ依リ禁止又ハ制限ヲ受ケ居ラザルヤ否ヤ發站、著站ノ取扱範圍內ノモノナルヤ否ヤ、荷造ハ完全ナルヤ否等ヲモ充分監査シナケレバナラヌ。

而シテ此ノ監査ヲ爲スニ當タツテ若シ其ノ內容ガ荷送人ノ申告又ハ記載內容ト相違スルノ疑ガアツタトキハ其ノ貨物ノ內容ノ點檢ヲモ爲シ得ルノデアル。但シ解裝シテ內容點檢ヲ爲ス場合ニハ已ムヲ得ナイ場合ノ外荷送人ノ立會ヲ求メテ爲スベキデアル。此ノ解裝點檢ノ結果若シ荷送人ノ申告又ハ記載ト相違シテ居タトキハ其ノ解裝點檢ニ要シタ費用及之ガ爲ニ生ジタ損害ハ荷送人ノ負擔デアリ、相違シテ居ナカツタトキハ會社ノ負擔デアル。受託監査ノ結果運送狀ノ記載ト相違スルコトヲ發見シタナラバ、荷送人ヲシテ運送狀ノ記載ヲ訂正認印セシメ又貨物ニ濡損、汚損、破損其ノ他ノ異狀アルコトヲ發見シタトキハ同ジク運送狀ノ記事欄ニ其ノ現狀ヲ記入認印セシメネバナラヌ。

此ノ受託監査ニ當タツテハ特ニ數量ヲ確認スルコトガ重要デアル。抑モ貨物ノ數重ハ運賃計算ノ基礎トナリ貨車ニ積載スルノ基準トナルバカリデナク又數量相違トカ減量事故等ノ調査基礎トナル事項デアルカラ獨リ箇數、重量ノミナラズ長サ、容積等ヲモ充分ニ監査セネバナラヌ。然シ實際問題トシテ數多ノ貨物ヲ一々監査スルコトハ會社ノ人的、物的施設ノ現狀カラ見テ仲々容易デハナイノデ其ノ監査方法ニ就テハ特ニ次ノ便法ヲ認メルコトトシタ。

一　品名、荷造、形狀等ヲ同ジクスルモノハ相當箇數ヲ檢量シテ其ノ一箇ノ平均ヲ求メ之ニ全箇數ヲ乘ジテ總重量ヲ算出スルコト（之ヲ平均重量ニ依ル算出方法ト謂フ）

二　第三十七條第一號乃至第三號ニ依リ取扱フ貨物（標準數量ニ依ルモノ、死體及甲種鐵道車輛）ニ對シテハ包裝其ノ他ニ異狀アルモノ等特ニ必要アル場合ノ外ハ重量ノ監査ヲ省略シ得ルコト

三　橋秤ニ依ラネバ檢量シ難イ木材ヲ橋秤ノ設備ガナイカ又ハアツテモ破損其ノ他ノ爲使用出來ナイ站ニ其ノ託送申込ガアツタ場合ニ於テ其ノ一部ノ重量ヲ檢量スルコトガ出來タナラバ左ノ方法ニ依リ計算シタ容積ニ其ノ一單位當タリノ重量ヲ乘ジタモノヲ其ノ重量トスルコト

1　元口、末口共同一ノ角材ハ幅、厚サ及長サヲ相乘ズルコト

2　元口ト末口トガ異ナル角材ハ兩口各別ニ幅及厚サヲ乘ジ之ヲ合算シ二分シタモノニ長サヲ乘ズルコト

3　丸材ハ元口ト末口トノ周圍ノ和ノ十分ノ一ノ自乘ニ長ノ二倍ヲ乘ズルコト

四　橋秤ノ働長ガ短イ爲一時ニ秤量シ難イ場合ハ左ノ方法ニ依リ檢量スルコト

1　**ボギー**式貨車ニ積載シタトキハ一**トラック**宛各別ニ秤量シ之ヲ合算スルコト

2　二車ニ荷重ヲ負擔セシメタトキハ一車宛各別ニ秤量シ下ヲ合算スルコト

五　第三號ノ木材其ノ他橋秤ニ依ラネバ檢量スルコトノ困難ナ貨物デアツテ其ノ著站又ハ順路ノ途中站ニ橋秤ノ設備ガアルトキハ發站ハ其ノ檢量ヲ其ノ橋秤ノアル站ニ委託シテモヨイ。此ノ場合ハ運送狀ノ記事欄ニ「〇〇站ニ檢量委託」ト記載シテ檢量站ニ其ノ旨ヲ通知シ、檢量ノ委託ヲ受ケタ站ハ貨物到著後直ニ其ノ檢量ヲシテ其ノ要旨及重量ヲ

貨物通知書記事欄ニ記載シ且其ノ重量ヲ發站及發站所管審査課ニ電報シナケレバナラヌ。檢量ノ結果運賃及料金ガ事實ニ基キ計算シタル正當額ニ相違スルトキハ過剩額ハ之ヲ荷送人ニ拂戻シ不足額ハ荷受人又ハ荷送人ヨリ追徵スルノデアル（第四十五條）。

現在會社デ橋秤ノ設備アル站ハ左ノ通デアル。

豐台、天津北站、天津、塘沽、唐山、古冶、秦皇島、山海關、西直門、宣化、門頭溝、德縣、鳳山、青島、普集、濟南、青島埠頭、大崑崙、博山、黌山、徐州、天津西站、泰安、兗州、臨城、六河溝、焦作、太原、口泉

尙ドウシテモ重量ノ監査困難ナ貨物ノ運送申込ガアツタナラバ鐵跡局長ノ指示ヲ承ケレバヨイ。又第二十一條第一項但書及第二項但書ノ規定ニ依ツテ荷送人ガ貨物ノ積込ヲ爲ス場合ハ前述ニ依ル受託監査ヲ爲ス外其ノ積載方ノ適否ニ就テモ監査セネバナラヌ。

受託監査ハ斯クノ如ク重要ナ事項デアルカラ係員ハ之ガ實施ニ當タツテハ充分ナル注意力ト判斷力ヲ以テ行フト共ニ之ガ直接指導監督ノ任ニ當タル站長、副站長、監理所指導員ハ素ヨリ鐵路局員モ努メテ立會ヲ爲シ其正確ヲ期セシメル樣心掛ケネバナラヌ。

第十七條　運送ノ受託

監査ノ結果運送ニ支障ナシト認メタトキハ其ノ貨物ヲ受取リ運送ヲ受託スルノデアル。コレ會社ノ貨物運送契約ガ要物契約デアルコトヲ示スモノデ、會社ガ運送ヲ爲スコトヲ約束スルト共ニ其ノ貨物ヲ受取ルコトガ運送契約成立ノ要件デアル。內地ヤ朝鮮ノ鐵道デハ荷送人ガ貨物ノ運送ヲ申込ミ鐵道ガ之ヲ受諾スルコトニ依ツテ運送契約ガ成立スル所謂諾成契約デアツテ鐵道ガ荷物ヲ受取ツタガ否カハ契約成立ノ要件ニハナツテ居ナイガ會社ノ運送契約ハ運送ヲ受託シテモ會社ガ貨物ヲ受取ラナケレバ運送契約ハ成立シナイノデアル。從ツテ荷送人ガ貨車積込ヲ爲ス貨物ハ其ノ積込ヲ了ツタ後受託スルコトニナル。此ノ積込ヲ了ツタ後トハ具體的ニハ貨物取扱區域外ニ在ツテハ入換機關車ヲ以テ索出ヲ爲ストキ、又貨物取扱區域內ニ在ツテハ施封ヲ終ツタトキ（荷主積込デアツテ然モ第十五條ノ規定ニ依リ開扉輸送ヲ爲スモノハ實際積込終了ノトキ）ト謂フコトニナル。

次ニ受託ノ順序ハ扱種別毎ニ左ノ順位ニ依ルモノデ又同號中ノモノハ運送申込ノ順序ニ依ルモノデアル。卽チ

一　危險品

二　死體

三　動物及變質又ハ減量シ易イ貨物

四　其ノ他ノ貨物

然シ右ノ順序ハ通常ノ場合ニ於テノコトデアル運輸上又ハ公益上必要アルトキハ必ズシモ右ノ順序ニ依ラナクトモヨイ。又小口扱ノ危險品（火藥類ヲ除ク）ヲ受託シタトキハ別表帳表樣式所定ノ荷票ヲ貨物ノ各箇ニ附ケナケレバナラナイ。然シ貼附ヲ便トスル貨物ニ對シテハ同一樣式（片面刷）ノ紙片ヲ貼附シテ之ニ代ヘルコトガ出來ル。

第十八條　貨物通知書又ハ貨物引換證ノ交付

貨物ノ運送ヲ受託シタトキハ發站デ貨物通知書ヲ作成シ其ノ甲片ヲ荷送人ニ交付スル。但シ荷送人ヨリ貨物引換證交付ノ請求アツタモノハ本條所定ノ貨物引換證發行站ニ限リ之ヲ交付スル。從ツテ此ノ場合ハ貨物通知書甲片ノ交付ハシナイ。

貨物通知書ハ法律ニ基クモノデハナク鐵道ニ於ケル取扱上ノ便宜ノ爲作成スルモノデアリ其ノ目的ハ荷送人トノ間ニ於ケル契約關係、運賃收受ノ關係等ヲ明瞭ニシ、又鐵道內部ニ於ケル運送ノ作業、收入ノ報告其ノ他ノ資料等ニ用ヒントスルニアル。故ニ其ノ記載事項モ右ノ資料トシテ充分ノモノデナケレバナラヌ。原則トシテ運送狀又ハ集貨票ニ基キ必

要事項ヲ記載スル。

貨物通知書及貨物引換證ハ其ノ書換又ハ再交付ノ請求ニ應ズルコトハ出來ナイ。若シ貨物通知書(甲片ヲ除ク)紛失等ノ理由ニ因リ鐵道ノ内部ニ於テ再製又ハ寫ヲトル必要ガ生ジタトキハ再製用貨物通知書ヲ發行スルコトニシテ居ル。之ヲ發行シタトキハ其ノ再製ノ事由ヲ該當欄ニ必ズ記入セネバナラヌ。其ノ再製シタ貨物通知書ハ原通知書ト看做シ同一ノ方法ニ依リ處理スレバ良イ。指定貨物通知書ヲ再製スル場合ニモ同ジク再製用貨物通知書ヲ使用スルノデアル。尚再製用貨物通知書ハ此ノ外輸送上ノ都合ニヨツテ一口ノ貨物ヲ二車以上ニ分載スル場合其ノ分載部分ニ對シテモ發行スル。此ノ場合ハ貨物通知書ト再製用貨物通知書ノ雙方ノ記事欄ニ分載輸送ノ事由ト分載數量ヲ記入シ相互ノ關係ヲ明瞭ニシテ置カネバナラヌ。

次ニ貨物引換證ノ作成要領ハ左ノ通デアル。

1 運送狀ニ基キ必要事項ヲ記入スルコト、但シ特約條件其ノ他ノ略號ハ之ヲ用ヒナイコト(略號ニ非ザル記號ハ荷主記號ノ外之ガ使用差支ヘナイ)

2 記名指圖式證券交付ノ請求アルトキハ貨物引換證面指圖文言中「荷受人殿又ハ本證持參人殿」トアルヲ「荷送人殿又ハ其ノ指圖人殿」ト改訂スルコト

3 記載ヲ改訂シタトキハ其ノ改訂箇所ニ站長職印ヲ押捺スルコト

4 發行站長ノ氏名ヲ記入シ日站長職印ヲ押捺スルコト

貨物通知書ノ作成ヲ了ツタトキハ運送狀又ハ集貨票ノ相當欄ニ貨物通知書ノ番號ヲ記入シ貨物通知書甲片ハ荷送人ニ交付シ乙、乙ノ二片及乙ノ三片ハ貨物ト共ニ之ヲ著站ニ送付シ丙、丙ノ二片ハ扱種別、拂別ニ從ツテ取纏メ各別ニ綴込ミタル上所管審査課ニ提出スルノデアル。指定貨物通知書ヲ作成シタトキハ丁片(貨物通知書乙ノ三片ニ相當)ハ旅客列車

便ヲ以テ著站宛送付スルノデアル。又集貨附物ニ對スル貨物通知書丙、丙ノ二片ハ集貨シタ日ノ翌日取纏メテ之ヲ審査課ニ送付スルノデアル。

貨物通知書又ハ貨物引換證作成後夫レヲ廢紙ニシタトキハ直ニ全面ヲ×線ヲ以テ抹消シ記事欄ニ其ノ事由、月日、站名及「廢紙」ト記入シ審査課ニ提出スルノデアル。此ノ場合ハ關係運送狀又ハ集貨票ノ貨物通知書又ハ貨物引換證番號欄外ニ「第何號廢紙」ト記入スルノデアル。

貨物通知書ヲ作成シ其ノ甲片ヲ荷送人ニ交付シタ後ニ夫レヲ貨物引換證ト引換ヘテ欲シイトイフ請求ガアツタトキハ貨物及關係書類發送前デアリ且自站ニ於テ處理ヲ爲シ得ル場合ニ限リ其ノ貨物通知書中片ヲ回收シ之ニ應ジテ差支ヘナイ。此ノ場合ハ舊貨物通知書ハ記事欄ニ其ノ事由ト「廢紙」ナル字句トヲ記入シテ審査課ニ提出シ關係運送狀又ハ集貨票ノ貨物通知書番號欄ノ欄外ニ「第何號廢紙」ト記入スルノデアル。

第十九條 構内運搬

本條ニ謂フ構内運搬トハ

一 同一站ノ構内線カラ構内線ヘノ運搬

二 站構内ト其ノ站ヨリ分岐シテ居ル貨物支線、專用側線又ハ專用鐵道相互間ノ運搬

三 站構内ヲ通過シ其ノ站ヨリ分岐シテ居ル貨物支線、專用側線又ハ專用鐵道相互間ノ運搬

ノ各場合ヲ謂フモノデアツテ之ガ引受ヲ爲スニ當タリ注意スベキ主ナル事項ハ次ノ通デアル。

1 一車ヲ使用スルモノナルコト

2 列車ノ運轉、構内ノ入換及荷役作業其ノ他運輸上支障ノナイコト

3 運送狀ノ發站欄ニハ積込箇所、著站欄ニハ取卸箇所、記事欄ニハ「構内運搬」ノ記事ヲ記載セシメルノ外一般所

定ニ依リ運送狀ヲ提出セシメルコト

4　貨物通知書及貨物引換證ハ發行セズ運賃料金領收書ヲ發行スルコト

5　料金ハ一號ノ場合ハ所定構內運搬料、二號及三號ノ場合ハ所定ノ構內運搬料ト所定ノ貨物支線料、專用側線入換料又ハ貨車入換料ノ定アル專用鐵道ニ對シテハ當該貨車入換料ヲ合算收受スルコト。尙專用鐵道入込車ニ對シテハ直通ノ場合ト同樣車輛經由旬報ニ記入シ專用鐵道相手方ヨリ後拂ニ依リ貨車使用料ヲ收受スルコト

6　積卸ハ原則トシテ站構內及貨物支線ニ於テハ會社負擔、專用側線及專用鐵道ニ於テハ荷主負擔タルコト

7　引渡手續ハ荷受人ヲシテ便宜樣式ノ受領書ヲ提出セシメルカ又ハ運送狀ノ記事欄ニ受領ノ旨ト其ノ年月日ヲ記入シ荷受人ヲシテ記名捺印セシメルコト

第三節　運　送

第二十條　輸送ノ順序

鐵道ハ其ノ業務ノ性質上社會文化、產業開發ノ先驅トモ稱セラレ社會公共的重要ナル機關デアル。從テ其ノ利用ニ於テハ何人ト雖機會均等公平ノ恩惠ニ俗シ得ベキ性質ノモノデアルガ然シ反面亦國防、政治、經濟上重要ナル機關デアツテ殊ニ非常時局下ニ於テハ此ノ國家的性質ノ發揚ガ濃度ニ要請セラレ居リ國家ノ國防、政治、經濟上緊要ナル物資ハ嚴トシテ他ノアラユル物資ニ先ンジテ之ヲ輸送スルノ必要ガアル。之本規定ヲ設定シタ所以デアツテ、其ノ優先輸送ヲ爲スベキ貨物ハ其ノ都度別ニ指示スルガ大體特殊貨物、物動計畫貨物、災害緊急復舊用資材等ハ之ニ屬スル。

第二十一條　積　卸

站ニ於ケル貨物ノ貨車積卸ハ總テ會社自ラ之ヲ爲スヲ原則トスル。會社自ラ之ヲ爲ストハ必ズシモ會社從事員ガ自ラ爲スト謂フコトデハナク會社ノ責任ト負擔ニ於テ爲スト謂フコトデアツテ、事實上作業其ノモノハ現在華北運輸及蒙疆運輸ニ下請セシメテ居ル。內地ノ鐵道等ノ如ク荷主積卸ヲ原則トシテ居ルトコロモアルノニ敢ヘテ會社ガ自ラ爲ス所以ノモノハ

一　常時專門ノ熟練工人ヲ使用シテ高度ノ荷役作業能率ト貨車積載效率ヲ發揮スルト共ニ荷崩其ノ他ノ事故ヲ豫防スルコト

二　荷役作業ヲ計畫的ニ行ヒ工人ノ使用ヲ合理經濟化スルト共ニ貨車入換、列車組成等ノ構內作業ト連繫統制的ナラシメ以テ站全體ニ於ケル作業能率ヲ向上セシメルコト

三　緊急事態發生ノ場合直ニ所要工人ヲ所要箇所ニ配置シ得ル如ク常ニ會社自ラ積卸工人ヲ準備シ置キ、以テ輸送ノ圓滑ヲ期スルコト

四　站構內ノ出入者ヲ制限シ以テ站ニ於ケル構內ノ整理、防諜、警戒等ノ利便ヲ得ルコト

等ノ效果ヲ期待シタカラデアル。然シ其ノ積卸ニ特殊ノ施設、注意等ヲ要スル槽車積貨物トカ精密機械トカ火藥類等ノ如ク荷主自身ガ積卸ヲシタ方ガ貨物ノ爲ニモ鐵道ノ爲ニモ利便且效果的ト思ハレルモノハ站長ガ指定ヲシテ荷主ニ積卸ヲ爲サシメルコトガ出來ルコトニシタ。

會社ハ積卸作業ノ集約能率化ト監視警戒ノ徹底化ヲ圖ルタメ其ノ積卸場所ヲ站構內ノ一定地域ニ指定スルコトトシタ。此ノ地域ヲ貨物取扱區域ト謂ヒ、其ノ指定ハ鐵路局長ガ爲シ、原則トシテ貨物ノ積卸ハ總テ此ノ區域內デ行フコトトシタノデアルガ若シ荷主ヨリ此ノ區域外デ貨物ノ積卸方申出ガアツタ場合ハ車扱貨物ニ限リ且運輸上支障ノナイトキニ限リ站長ノ判斷ニ於テ之ニ應ジテモヨイ。此ノ運輸上支障ノナイトキトハ線路ノ狀態ガ貨車停留ニ支障ナイトキトカ、其ノ貨車入換ニ煩瑣ナ手數ヲ要シナイトキトカ、他ノ貨物ノ輸送ニ支障ヲ來タサナイトキ等ヲ謂フノデアル。此ノ貨物取扱區域外ニ於ケル積卸ノ請求ニ應ジタトキハ其ノ積卸場所ヘノ貨車廻出入ニ就キ料金率表所定ノ貨車入換料ヲ收受スル

ノ外、會社ガ積卸ヲ爲スニ著シイ困難アル場合等ニ於テハ荷主ニ於テ積卸ヲ爲スベキ旨ノ指定ヲモ爲シ得ルコトトシタ。

更ニ荷主ガ貨物ノ積卸ヲ爲スニ當タツテハ一定ノ時間內ニ之ヲ完了シナケレバナラナイト謂フ制限ヲ附シタ。之徒ナル貨車ノ長時間滯留ヲ防止シ以テ輸送力ノ增强ヲ企圖センガ爲ノ措置デアツテ、此ノ一定時間ヲ積卸時間ト謂フ。而シテ其ノ積卸時間ハ會社即チ站ガ貨物積込ノ爲ノ貨車準備終了ノ通知又ハ荷主取卸貨物ノ到著ノ通知ヲ發シタトキヨリ起算シテ四時間（夜間ハ其ノ五割增）以內デアツテ、此ノ時間內ニ荷主ハ貨物ノ積込又ハ取卸ヲ完了シナケレバナラヌ。若シ其ノ時間內ニ完了シナイ場合ハ以後ノ時間ニ對シ會社ハ貨車留置料ヲ收受シ、且必要ト認メルトキハ其ノ運送ノ準備ヲ撤去シ又ハ會社ニ於テ貨物ノ取卸ヲ爲スコトガ出來ル。此ノ場合運送ノ準備ニ要シタ費用（貨物取扱區域外積込ノモノノ貨車入換料ヲ含ム）及貨車留置料（運送ノ準備ヲ撤去シタトキハ貨車準備終了後ノ時間ニ對シ、又到著貨物ニ對シテハ積卸時間經過後ノ時間ニ對シ）ヲ收受スルノデアル。

積卸時間ハ會社ニ於テ必要ト認メタトキハ之ヲ伸縮スルコトガ出來ル。伸縮ノ限度ニ就テハ別ニ制限ハシナイガ事情已ムヲ得ナイモノト認メタ場合ニ限リ站長ガ爲スモノデ、天災事變、天候、貨物ノ性質、設備ノ狀態等ニ依リ延長シ、又貨物ノ幅輳、輸送ノ都合等ニ依リ短縮スル。此ノ短縮ニ當タツテハ鐵道輸送力ノ減殺ヲ來タサナイ樣、又荷主ニ不慮ノ損害ヲ與ヘナイ樣、之ガ取扱ニ付テハ愼重ニ爲スベキデアル。ソシテ此ノ積卸時間ノ伸縮ヲシタトキハ站長ハ運送關係書類ノ記事欄ニ其ノ要旨ヲ記入シ伸縮ノ事實ヲ明ラカニシテ置カナケレバナラヌ。

尙此ノ積卸時間ノ算定方ニ就テハ例ヘバ貨物取扱區域外取卸貨物ガ其ノ引渡手續終了後荷主ノ都合ニ依リ當該取卸線滿線ノ爲貨車廻入ガ出來ナカツタ場合等ノ如ク凡ソ荷主ノ責ニ歸スベキ事由ニ因ツテ貨車廻入ガ遲延シタ時間ニ總テ之ヲ積卸時間ニ算入スルノデアル。

積卸時間ノ晝間ト夜間トノ區別ハ別ニ規定シテ居ナイガ俗ニ謂フ「陽ノアル間」ガ所謂晝間デ、然ラザルトキガ夜間デアル。從テ日沒後日出前迄ノ時間ガ夜間ト謂フコトニナルガ之ハ原則デアツテ天候、作業上ノ都合等ニ依ツテハ計算上必ズシモ一律ニハ行カナイ。

第二十二條　貨物ノ積替

準軌線ト狹軌線間ヲ通シ運送スル場合其ノ兩線ノ接續站ニ於ケル貨物ノ積替ハ會社ガ行ヒ、車扱貨物ニ對シテノミハ貨物料金率表所定ノ積替料ヲ收受スル。現在會社ノ接續站ハ檢次站一站デアル。

第四節　引渡

第二十三條　到著ノ通知

貨物ガ著站ニ到著シ引渡ノ準備ガ終了シタトキハ配達附ノ貨物ヲ除キ會社ハ遲滯ナク荷受人ニ貨物到著ノ通知ヲシナケレバナラヌ。到著通知ハ貨物到著ノ案內デアルト共ニ鐵道ノ引渡遲延責任有無ノ分界ヲ爲ス重要ナ意義ヲ有スルモノデアル。

到著通知ハ會社ニ於テ貨物ノ取卸ヲ爲ストキハ、取卸ヲ終了シ引渡ノ準備ガ出來タトキ、又荷主ニ於テ取卸ヲ爲ストキハ、著站ニ到著後直ニ發スルノデアル。又輸送上ノ都合ニ依リ一口ノ貨物ヲ二車以上ニ分載シテ輸送シタトキハ特ニ必要アル場合例ヘバ腐敗、變質シ易イ貨物又ハ危險品等ノ如ク至急引取ヲ要スト認メラレルモノノ外一口全部ノ引渡準備ガ終了シタトキ到著通知ヲ發スルノデアル。

到著通知ハ貨物通知書面ノ荷受人ニ對シテ發シ、貨物引換證附ノ場合ニ於テモ證券面ノ荷受人（證券面ノ荷受人ハ貨物通知書面ノ荷受人ト一致ス）ニ對シテ發スルノデアル。貨物引換證ヲ發行シタ場合ハ其ノ貨物ニ對スル權利者ハ證券所持人デアルガ金融ニ供サレテ轉々トシテ所持人ヲ變ヘテ居ル場合モアリ鐵道ガ所持人ヲ知ルコトハ困難デアルカラ鐵道

ハ證券面ノ荷受人ニ對シ通知ヲ發スレバ足リルコトニナツテ居ル。

到著通知ハナルベク連達シ得ルヤウ電話、口頭、書面其ノ他適宜ノ方法デ爲スモノデ、總テ發信主義ニ依ルコトニシテ居ル。發信主義トハ通知ヲ發シタトキヲ以テ通知ヲ爲シタモノト看做スコトデ、郵便ニ依ル場合ト雖モ通知ノ到達時ハ問フトコロデナク**ポスト**ニ投入シタトキヲ以テ通知ヲ發シタモノトスルノデアル。到著通知ヲ爲ストキハ荷主ノ便宜上引取期間（荷主取卸貨物ニ在テハ取卸時間）ヲモ明示シテ通知シタ方ガヨイ。又未收ノ運賃、料金、立替金其ノ他運送ニ關シ會社ガ收受スベキ一切ノ金額、又貨物引換證附ノトキハ其ノ旨ヲモ併セテ通知スベキデアル。

尙電話、口頭等ノ如ク證跡ヲ殘サナイ方法デ到著通知ヲ爲シタトキハ後日紛議ノ起ラナイヤウ相手方ノ名前、月日、時刻等ヲ明ラカニシテ置ク必要ガアル。

又會社ノ責ニ歸スベカラサル事由デ通知ヲ發スルコト不可能ナ場合例ヘバ河川ノ氾濫、治安不良等デ交通ガ杜絕シ通知ノ方法ノナイヤウナ場合ハ第十條所定ノ通リ通知スベキ事項ヲ七日間著站ニ掲示シテ通知ニ代ヘルコトガ出來ル。

到著通知ヲ書面ニ依テ爲ス場合ハ補則別表帳表樣式所定（官製葉書ニ樣式印刷濟）ニ依リ、又到著通知代用ノ掲示ヲ爲ス場合モ同帳表樣式所定ニ依リ之ヲ爲スノデアル。

第二十四條　引取期間

引取期間トハ荷受人ガ鐵道カラ貨物ヲ受取ルベキ期間デアツテ此ノ期間ハ鐵道ハ無料デ貨物ノ保管ヲスル期間デアル。

會社ノ引取期間ハ貨物到著ノ通知ヲ發シタトキ又ハ通知ニ代ルベキ掲示ヲ爲シタトキカラ起算シ

死體、動物、危險品（火藥類ハ火藥類鐵道運送規則ニ依ル）及汚穢品　六時間

其ノ他ノ貨物　當日共二日間

但シ電話及口頭デ通知ヲシタ場合ハ

十二時以前ニ通知シタモノハ當日中

十二時後ニ通知シタモノハ翌日十二時迄

右ノ引取期間ハ會社ニ於テ必要ト認メタトキハ伸縮スルコトガ出來ルコトニナツテ居ルカラ貨物幅輳等ノ爲短縮スル必要アルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承ケ、又天災事變其ノ他已ムヲ得ナイ事由デ延長スル必要アルトキハ站長ニ於テ適宜延長スレバヨイ。此ノ引取期間ノ短縮又ハ延長ヲシタトキハ貨物通知書乙、乙ノ二片及乙ノ三片ノ記事欄ニ其ノ要旨ヲ記入シ站長ガ認印シナケレバナラヌ。此ノ引取期間ハ無料保管期間デモアルカラ此ノ短縮、延長ハ直ニ以テ保管料ノ計算ニ關係アルカラデアル。

引取期間ガ滿了シテモ貨物ノ引取ガナイトキハ會社ハ引取期間經過後ノ時間ニ對シテ所定ノ貨物保管料ヲ收受スル。又死體ガ引取期間內ニ引取ラレナイトキハ所定ノ貨物保管料ヲ收受スルト共ニ官憲ニ屆出デ其ノ處置ニ付指示ヲ求メ且鐵路局長ニ速カニ通報シナケレバナラヌ。

又貨物構內ノ廣大ナ站デハ一般ニ貨物ノ現實ノ引渡ハ到著扱所若ハ到著貨物置場等デ行ハレルガ、引渡ノ手續（荷受人ノ印章ノ押捺、貨物引換證ノ回收、未拂ノ運賃、料金ノ收受等）ハ貨物事務所デ爲サレル場合ガ多イ。此ノ樣ニ貨物引渡ノ手續ト貨物ノ實際ノ引渡トヲ同時ニ行ハナイ站デハ所定ノ引取期間內ニ貨物ノ引渡手續ヲ爲スモ引取期間經過後ニ至リ現實ノ引渡ヲシタトキハ引取期間經過後實際引渡ノ時迄ノ時間ニ對シ貨物保管料ヲ收受スル。之ハ會社ノ運送契約ガ要物契約ノ形式ニ依ルモノデアルカラ受託ノ場合ニ於テモ單ニ當事者間ノ意思表示ノ合致ノミデハ契約ノ成立トナラズ現品ヲ受取ルコトニ依リ初メテ運送契約ノ成立ヲ見ルモノデアルト同樣著站ニ於ケル引渡ノ場合ニ於テモ引渡ノ手續ノミデハ運送契約ノ終了トナラズ必ズ現品ヲ引渡スコトガ運送契約終了ノ要件デアルカラデアル。

尙貨物ノ引渡ヲ爲ストキハ貨物持出書ヲ作成シテ荷受人ニ交付シ貨物搬出ノ際門衞ニ於テ現品ト對照ノ上之ヲ回收スル

ノデアルガ引渡手續ト現品ノ引渡トヲ同一箇所ニ於テ爲シ然モ搬出ノ際混雜ニ因ル錯誤ノナイ樣ナ站デハ貨物持出書ノ發行ヲ省略シテモヨイ。

第二十五條 貨物ノ引渡及債務ノ辨濟

貨物ノ引渡ハ配達附ノモノハ其ノ屆先ニ於テ其ノ他ノモノハ荷受人ノ請求ニ依リ著站ニ於テ爲ス。

貨物引換證附貨物ニ在リテハ該證券ト引換ニ、其ノ他ノ貨物ニ在リテハ荷受人ノ印章ニ依リ引渡ヲ爲スモノデ此ノ場合貨物引換證ニハ其ノ裏面ニ荷受人自ラ記名捺印スルコトヲ要スル。貨物引換證ノ紛失、延著其ノ他ノ事由デ引渡請求者ガ該證券ヲ提出セズシテ貨物引渡ノ請求ヲ爲シタトキハ正當權利者ナルコトヲ確認シ除權判決（公示催告ノ手續ヲシ裁判所ヨリ證券ノ效力喪失ノ宣告ヲ受ケルコト）ガアツタ場合以外ハ證券發行荷物擔保引渡手續所定ノ擔保ヲ提出セシメタ後貨物ノ引渡ヲスルノデアル。此ノ場合提出セシメタ擔保ハ貨物引換證ガ提出セラレルカ又ハ其ノ形態若ハ效力ノ失ハレタ事實ニ付證明ガ爲サレタ場合ヲ除キ貨物ノ引渡ヲシタ日ヨリ一年經過シナケレバ返還シナイ。

鐵道ハ著站ニ到著シタ貨物ヲ荷受人又ハ貨物引換證所持人ニ異狀ナク引渡スベキ義務ヲ有スルモノデアルガ同時ニ荷受人又ハ貨物引換證所持人ハ鐵道ニ對スル債務辨濟ノ義務ヲ負フモノデアル。從テ引渡請求者ハ未拂ノ運賃、料金、立替金其ノ他運送ニ關シ會社ニ對シテ生ジタ一切ノ債務ヲ辨濟シナケレバ貨物ノ引渡ヲ受ケルコトガ出來ナイ。

尙其ノ引渡請求者ガ正當荷受人ナリヤ否ヤハ配達附貨物ノ如ク荷受人ノ住所ニ於テ引渡ヲ爲スモノノ外ハ相當困難ナ場合モアルガ要スルニ個々ノ場合ニ於テ正當荷受人タルコトヲ確認シテ引渡ヲ爲ベキデアル。例ヘバ常時取引ノナイ荷主ニ對シテハ著站ガ荷受人ニ對シテ發シタ到著通知ノ端書ヲ呈示セシメルノモ其ノ一方法デアリ、又常時取引ノアル荷主ニ對シテハ特別ノ方法ヲ講ジナクトモ其ノ認定ハ困難デハナイケレドモ後日ノ紛爭ヲ避ケル爲受領印ヲ一定セシメルノモ一方法デアル。而シテ貨物通知書ヲ交付シタモノニ對シテハ貨物通知書乙片ノ相當欄ニ受領印ヲ押捺（代理引取ノ場合ハ代理ト記入捺印）セシメルカ又ハ受領證ヲ提出セシメ、又貨物引換證ヲ交付シタモノニ對シテハ該證券裏面相當欄ニ受領ノ旨其ノ他必要事項ヲ記入記名捺印ノ上之ヲ提出セシメ貨物ノ引渡ヲ爲スノデアル。

貨物ノ引渡ニ際シテハ現品ト貨物通知書ヲ對照シ過不足其ノ他異狀ノ有無等ヲ監査シ引渡ヲ爲スベキデアル。貨物ノ監査ハ發站デ受託ノ際行フカラ著站ニ於テ更ニ監査ヲ行フ必要ハナイ樣ニ感ジラレルガ發站ノ監査ハ往々完全デナイ場合モアルシ又多數荷主ノ中ニハ運賃逋脫、運送禁制、制限品ノ密輸其ノ他ノ目的デ託送貨物ニ對スル申告ノ相違スルコトガアル。又多數從事員中ニハ規定ノ適用ヲ誤リ延テハ荷主、鐵道ニ對シ不利益ヲ被ラシメル場合モアル。依テ善良ナ荷主ヲ保護スルト共ニ鐵道自衞ノ爲貨物ノ引渡前ニ品名、數量相違ノ有無、異狀ノ有無、其ノ他規定違反ノ有無等詳細ニ亙リ監査ヲシナケレバナラヌ。此ノ場合中味ノ點檢ヲスルトキハ已ムヲ得ナイ場合ヲ除キ荷受人ノ立會ヲ求メテ爲スベキデアル。到著貨物ニ對スル此ノ監査ハ必要ニ應ジ鐵路局員立會ノ上爲スルデアルガ其ノ場合ハ監査人、立會人連名デ鐵路局長ニ其ノ成績ヲ報告セネバナラヌ。

著站ニ於ケル貨物通知書及貨物引換證ノ處理方ハ左ノ通デアル

一　貨物通知書乙、乙ノ二片ハ貨物到著日、列車番號、到著通知發信日時、通知ノ方法、貨物引渡日時、貨物保管料其ノ他必要ノ事項ヲ記入シ扱種別毎ニ引渡日順（指定貨物通知書ニ在ツテハ最終貨物引渡日順）ニ取纒メテ整理シ保存スルコト

二　貨物通知書乙ノ三片ハ貨物到著日、列車番號、到著通知發信日時、通知ノ方法、貨物引渡日時、貨物保管料其ノ他必要ノ事項ヲ記入シ引渡當日分（指定貨物通知書ニ在ツテハ最終貨物引渡當日分）ヲ扱種別毎ニ取纒メ鐵路局審査課ニ提出スルコト

三　回收シタ貨物引換證ハ回收後直ニ全面ニ線ヲ以テ抹消シ當日分ヲ取纒メ鐵路局審査課ニ提出スルコト

站長ガ荷主ヨリ貨物引換證紛失ノ旨ノ屆出ヲ受ケタナラバ遲滯ナク發著站名、荷送人及荷受人氏名又ハ商號、品名、數量、證券番號、受託月日其ノ他ノ要項ヲ具シ鐵路局長竝ニ關係站長ニ通報シナケレバナラヌ。

尙此ノ場合其ノ屆出ヲ受ケタ站長ハ荷主ニ對シ新聞廣告其ノ他ノ方法デ速カニ一般ヘノ周知ノ方法ヲ講ズル樣注意シタ方ガヨイ。

尙荷受人又ハ貨物引換證所持人ガ貨物ノ貨車取卸ヲ爲ストキハ所定ノ引渡手續ガ終了シテカラ當該貨物積載貨車ヲ取卸箇所ニ廻入スルノデアル。

此ノ場合ハ貨車ヲ廻入シタ時ヲ以テ貨物ノ引渡ヲ爲シタモノト看做ス。從テ運送契約モ此ノ時ニ終了スル。

第二十六條　引渡濟貨物ノ搬出、留置

荷受人ハ貨物ノ引渡ヲ受ケタトキハ遲滯ナク之ヲ站構外ニ搬出シナケレバナラヌ。若引渡後左ノ期間內ニ搬出ヲ終ラナイトキハ其ノ後搬出完了迄ノ時間ニ對シ貨物留置料ヲ收受スル。卽チ

一　引取期間內ニ引渡ヲ受ケタモノハ引取期間滿了ノトキ迄、例ヘバ引取期間十二時迄ナルトキ十時ニ引渡ヲ受ケタモノトスレバ十二時迄ノ二時間ハ無料デ留置出來、十二時ニ至ルモ搬出ヲ終ラナイトキ其ノ後ノ時間ニ對シ貨物留置料ヲ收受スル。

二　引取期間經過後引渡ヲ受ケタモノハ既ニ收受シタ貨物保管料計算期間滿了ノ時迄、例ヘバ引取期間十二時迄ナルトキ十五時ニ引渡ヲ受ケタモノトスレバ超過時間三時間ニ對シ貨物保管料ヲ收受スルガ貨物保管料ハ二十四時間又ハ其ノ未滿每ニ計算サレル爲此ノ場合支拂ツタ貨物保管料ハ翌日十二時迄有效ナル爲翌日十二時迄ハ其ノ儘無料デ留置出來ル。從テ翌日十二時ニ至ルモ尙搬出シナイトキ初メテ爾後ノ時間ニ對貨物留置料ヲ收受スル。

右ノ時間ハ通常ノ場合ノコトデ天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由デ搬出困難ナルカ又ハ站ノ狀況デ其ノ儘留置セシメテモ支障ナイト認メタトキハ站長ニ於テ相當期間延長シテモヨイ。

又荷受人又ハ貨物引換證所持人ガ貨物ノ貨車取卸ヲスル場合ハ引取期間滿了ノ時ヨリ搬出完了ノ時迄ノ時間ニ對シ貨物留置料ヲ收受スル。貨物留置料ノ貨物保管料ト異ル所ハ貨物保管ノ責任ガ荷主ニ在ツテ鐵道ハ單ニ貨物ノ留置場トシテ構內ノ一部ヲ使用セシメルニ止マル點デアル。尤モ鐵道ノ故意ニ因ル場合ノ事故ニ對シテハ一般ノ法的通念ニ照シ當然此ノ限リデハナイ（第五十六條參照）。

以上ノ如ク搬出遲延貨物ニ對シテハ鐵道ハ貨物留置料ヲ收受スルケレドモ此ノ料金ハ貨物保管料ト同樣決シテ鐵道ノ營利ノ爲ニ收受スルモノデハナイ。搬出ガ遲滯スレバ構內ヲ輻輳サセ延テハ鐵道ノ輸送能力ヲモ阻害スルコトトナル故構內ヲ使用スルコトニ對スル對價ヲ收受スルト共ニ貨物ヲ可及的速カニ構外ニ搬出セシメントスルノガ主ナル目的デアル。從テ天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由デ搬出困難ナルカ又ハ站ノ狀況デ其ノ儘留置セシメテモ支障ナイト認メタトキハ站長ニ於テ相當期間延長シテモヨイガ、反面貨物輻輳ノ緩和其ノ他公益上ノ事由ニ基キ必要アリト認メタトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承ケ此ノ料金ヲ十倍迄增額スルコトガ出來ル（第四十一條參照）。尙貨物留置料ハ搬出ノ際ニ於ケル現存數量トハ關係ナク一口每ニ運賃計算重量ニ基キ計算サレル。留置貨物ニ對シテハ會社ハ必要ニ應ジ之ガ搬出ヲ爲ス樣期間ヲ定メテ荷主ニ催告ヲ發スルコトガ出來ル。此ノ場合若指定ノ期間內ニ搬出シナイトキハ荷主ノ負擔デ其ノ貨物ノ換價又ハ留置場所ノ變更ヲ爲スコトモ出來ル。但シ此ノ換價ヲ爲ストキハ鐵路局長ノ指示ヲ受ケネバナラヌ。此ノ場合換價金ハ換價ニ要シタ費用其ノ他會社ニ對シテ生ジタ債務ノ辨濟ニ充實シ、過剩ナルトキハ之ガ拂戻ヲ又不足ヲ生ジタトキハ之ガ追徵ヲ何レモ荷受人ニ對シテ爲スノデアル

第五節　集貨及配達

第二十七條　集貨又ハ配達ノ引受

小口扱貨物ニ對シテハ荷送人ノ請求アルトキハ集貨又ハ配達ノ取扱ヲスル。此ノ集貨配達附ノ貨物ニ對シテハ鐵道ハ集貨先カラ配達先迄ノ運送ヲ爲スコトトシテ荷送人ヨリ運送ヲ引受ケルノデアルカラ鐵道ハ契約ノ趣旨ニ依リ集貨先カラ配達先迄運送スル義務ヲ負ヒ、發著站間ノ鐵道運送ノミナラズ集貨及配達作業ニ關シテ生ジタ貨物ノ損害ニ就テモ善意無過失ノ立證ヲシナケレバ責任ヲ免カレルコトガ出來ナイ。集貨配達ノ取扱站及集貨配達ノ取扱區域ハ站ノ施設、取扱貨物ノ數量、利用性ノ有無等ヲ考慮シテ制限シテ居ル。即チ貨物營業料程表ニ「集」ヲ附シアル站ニ限リ、又貨物集配區域表ニ掲ゲラレタ集配區域内ニ限リ之ガ取扱ヲ爲スノデアル。但シ左ノ貨物ハ其ノ性質、大イサ、重量等ノ關係デ取扱ハナイ。

一　死體、動物、危險品及特種貴重品

二　一箇ノ長サ六米、重量三百瓩又ハ容積一立方米ヲ超エルモノ

集貨又ハ配達ノ取扱ニ對シテハ所定運賃ノ外別ニ貨物料金率表所定ノ集貨料又ハ配達料ヲ收受スル。尙此ノ集貨配達ノ實際ノ作業ハ鐵道自身ガ行ハズニ鐵道ノ責任ニ於テ指定請負人タル華北運輸及蒙疆運輸ヲシテ行ハシメテ居ル。

第二十八條　集貨附貨物ノ受取

集貨附貨物トシテ運送ノ申込ガアツタ貨物ハ荷送人指定ノ集貨先ニ於テ所定ノ監査ヲシ運送ニ支障ナシト認メタトキ其ノ貨物ヲ受取リ運送ヲ受託スルノデアル。即チ此ノ場合ニ於テモ一般ノ場合ト同樣會社ガ運送ヲ爲スコトヲ約束シ貨物ヲ受取ツタトキ運送契約ガ成立スルノデアル。

會社ハ集貨附貨物ヲ受取ツタトキハ荷送人ニ對シ集貨票ヲ交付スル。集貨票ハ貨物通知書ト同樣法律ニ基クモノデハナク鐵道ノ作業上ノ便宜ノ爲作成スルモノデ旁々貨物受領ノ證據トシテ謂ハバ受領證ノ如キ意味ヲモ含メテ作成スルノデアル。從テ荷送人トノ間ニ於ケル契約關係ノ内容運賃收受ノ關係等ヲ示スモノデハナク其ノ點ヲ明瞭ナラシメル爲ニハ別ニ貨物通知書ヲ交付スル。實際問題トシテハ集貨附貨物ニ對シテハ集貨先ニ於テ請負人ガ集貨票ヲ作成シ其ノ甲片ヲ荷送人ニ交付、乙片ハ貨物ト共ニ發站ニ提出、發站ハ集貨票ニ依リ（必要ト認メルトキハ更ニ所要ノ監査ヲスル）貨物通知書ヲ作成シ其ノ甲片（貨物引換證交付ノ請求アルモノニ對シテハ貨物引換證）ヲ更ニ請負人ヲシテ荷送人ニ交付セシメルコトニナル。注意スベキコトハ特約又ハ貨物ニ異狀アルトキハ一般ノ場合運送狀ノ記事欄ニ其ノ旨荷送人ヲシテ記入捺印セシメルノデアルガ集貨附貨物ニ在ツテハ貨物引換證交付ノ請求アル場合ヲ除イテハ運送狀ノ提出ヲ要シナイカラ此ノ場合ニハ集貨票ノ乙片ノ記事欄ニ其ノ旨荷送人ヲシテ記入捺印セシメルコトデアル。

第二十九條　配達附貨物ノ引渡

配達附貨物ハ屆先ニ於テ其ノ引渡ヲスル。即チ會社ハ配達先迄運送スル義務ヲ負フモノデ配達先デ引渡ヲ爲スコトニ依リ初メテ運送契約ガ終了スルノデアル。

配達附貨物ニ對シテハ著站ヨリ貨物到著ノ通知ヲ發シナイ。之ハ實際上其ノ必要モナク、又引渡期間經過有無ノ問題モ配達終了ノ時ヲ以テ決定サレルカラデアル。唯貨物引換證附ナルトキハ其ノ旨、立替金、未拂ノ運賃料金等アルトキハ其ノ金額、又保管場所其ノ他特ニ準備ヲ要スト認メラレルモノナルトキハ其ノ旨ヲ可及的事前ニ請負人ヲシテ荷受人ニ通知セシメタ方ガヨイ。然シ之ハ荷送人ノ便宜ノ爲ニ好意的ニ爲スモノデ義務的性質ヲ帶ビル到著通知デハナイ。

配達附貨物ト雖モ著站ハ到著監査ヲ疎カニシテハナラヌ。而シテ不足、減量、毀損其ノ他異狀アルトキハ貨物通知書乙片及乙ノ三片餘白ニ其ノ現狀ヲ明記シ引渡者（站係員）之ニ捺印シテ請負人ニ貨物ヲ交付スルノデアル。之ハ事故ノ發生ガ請負人ニ交付前ナリヤ否オヲ決定スル爲ニ必要ガアルカラデアル。

配達附貨物ガ著站ニ到著シタトキハ著站ハ遲滯ナク關係書類ト共ニ貨物ヲ請負人ニ引渡サネバナラヌ。此ノ場合ハ貨物通知書乙片及乙ノ三片ニ其ノ日時ヲ記載ノ上乙ノ三片ニ引受ノ證印ヲ徵シ乙片ハ請負人ニ交付スル。請負人ガ貨物ヲ配

達スルトキハ貨物通知書乙片相當欄又ハ引換證裏面ニ荷受人ノ受領印ヲ徵シ貨物引換證ハ之ヲ回收スルコトハ一般ノ場合ト同樣デアル。

著站ハ請負人ヲシテ遲クトモ貨物交付後二四時間以內ニ配達ヲ終了セシメルベキデアルガ請負人ノ都合或ハ其ノ他ノ事由デ此ノ時間內ニ配達スルコトガ出來ナイトキハ請負人ヲシテ其ノ事由ヲ申出デシメ且其ノ要旨ヲ貨物通知書乙片餘白ノニ記載セシメル。之ガ爲引渡期間ヲ超過スル樣ナコトガアツテモ荷主ニ對スル延著ノ責任ハ鐵道ガ負フベキモノデ、請負人ノ責任ハ鐵道、請負人間ノ契約不履行トシテ別途ニ處理サレルモノデアル。

荷受人ハ貨物引換證ノ入手、立替金、未拂ノ運賃料金ノ準備等ノ爲配達ノ日時ニ就テ希望ヲ申出ル場合ガアルガ支障ナキ限リ之ニ應ジルベキデアル。此ノ場合ハ著站又ハ請負人ニ於テ其ノ要旨ヲ貨物通知書乙片ニ記載スルコトヲ要スル。

尙此ノ配達日ノ希望ニ應ジタトキハ希望サレタ日時ガ貨物到著ノ時ヨリ起算シ引取時間ニ相當スル期間內ナルトキハ別ニ保管料ヲ收受セズシテ保管シ右期間ヲ超エルトキハ超過時間ニ對シテ保管料ヲ收受スル。

第三十條　荷受人ノ申出ニ依ル配達又ハ站渡

荷受人ハ配達附貨物トシテ著站ニ到著シタモノヲ站渡ニ變更ノ請求ヲシテ著站デ引渡ヲ受ケルコトガ出來ル。但シ既ニ配達ニ著手シタ後ハ此ノ請求ニ應ズルコトガ出來ナイ。配達附貨物ヲ右ノ樣ニ站渡ニ變更シタトキハ配達料ハ收受セズ。從テ荷送人ガ支拂ツタ配達料ハ荷受人ニ對シテ拂戻ヲ爲ス。

又配達附デナイ貨物ヲ荷受人ヨリ配達ノ請求ガアツタトキハ鐵道ニ於テ支障アル場合ヲ除キ所定ノ配達料ヲ收受シテ配達ヲ爲ス。此ノ場合若引取期間經過後ニ配達ノ請求ガアツタトキハ貨物保管料ハ請求ノアツタ時迄計算スルノデアル。

荷受人ノ請求ニ依リ站渡貨物ヲ配達扱トシタ場合ノ著站ニ於ケル請負人トノ授受、配達ニ關スル具體的ナ取扱方ハ配達附貨物ノ場合ノ取扱方ト同樣デアル。

右ノ樣ニ荷受人ノ申出ニ依リ配達又ハ站渡ノ取扱ヲシタトキハ關係書類ノ記事欄ニ「荷受人ノ請求ニ依リ站渡（又ハ配達）」ト記載シ（貨物通知書ニハ配達料ノ收受額共）、配達料ノ收受ハ運賃料金領收書ニ依リ、又拂戻ハ荷物賃訂正通知書ニ依リ處理スル。

第三十一條　配達ノ支障

配達附貨物ヲ配達セシトスルモ荷送人ノ指定シタ屆先ニ荷受人ノナイ場合、荷受人不在ノ場合等ノ樣ニ會社ノ責ニ歸スベカラサル事由デ配達ヲ爲スコトガ出來ナイ場合ハ配達附デナイ貨物ニ準ジ著站デ引渡ヲ爲スノデアル。此ノ場合ハ配達附デナイ貨物ト看做シテ處理スルカラ貨物ノ引取期間ノ起算時モ配達不能通知ヲ發信シタ時テアル。配達料ハ會社ガ配達ニ著手シタ場合ヲ除キ之ヲ收受セズ從テ既ニ收受濟ノ配達料ハ荷受人ニ對シテ拂戻スノデアル。

貨物ヲ請負人ニ引渡ス前既ニ配達不能トナツタトキハ同樣ニ配達附デナイ貨物ニ準ジテ處理シタ上其ノ要旨ヲ貨物通知書乙片及乙ノ三片ノ餘白ニ記載セネバナラヌ。

一旦配達ニ附シタモノガ會社ノ責ニ歸スベカラザル事由デ貨物ヲ荷受人ニ引渡スコトガ出來ナイトキハ請負人ヲシテ貨物通知書乙片餘白ニ其ノ要旨及配達先ニ到達シタ時刻ヲ記載セシメ配達不能貨物ト共ニ之ヲ著站ニ返還セシメル。

此ノ場合著站ハ補則別表帳表樣式所定ノ配達不能通知ヲ發シタ上配達附デナイ貨物ニ準ジテ處理スル。荷受人不在ノ爲配達不能ノ場合ハ請負人ヲシテ適宜ノ紙片ニ配達先ニ到達ノ時刻、不在ノ爲持戻リタルニ付著站デ引取ラレタキ旨及再配達ヲ希望スルトキハ其ノ旨著站ニ申出デラレタキ旨ヲ記載シテ荷受人ノ見易キ場所ニ殘置セシメテ配達不能通知ニ代ヘルコトガ出來ル。ソシテ若再配達ノ申出ガアツタトキハ支障アル場合ヲ除キ更メテ所定ノ配達料ヲ收受シ再配達ヲスルノデアル。此ノ場合ハ貨物通知書及運賃料金領收書記事欄ニ「再配」ト記入セネバナラヌ。

死體、動物等ノ樣ニ取扱制限貨物ガ配達附トシテ到著シタトキ、又ハ配達區域外ノ屆先ヲ指定シタモノヲ著站デ配達ニ

著手前發見シタトキハ配達ヲシテモ別ニ支障ナイト認メタトキニ限リ其ノ儘配達ヲシ、支障アルトキハ配達附デナイ貨物ニ準ジテ處理シ著站ニ於テ引渡ヲスルト共ニ發站ヲ介シ荷送人ニ其ノ旨通知ヲ爲スノデアル。

第三章　運賃及料金

第一節　通　則

第三十二條　一口ノ運賃料金

規則第七條ニ依ル一口ヲ單位トシテ運賃ヤ料金ヲ計算スルコトガ原則デアルガ石炭等ノ樣ニ同一運送狀ニ幾口モ記入スルモノハ之ヲ一纏メニシテ恰度一口ノ樣ニ一括シテ計算スル。

託送前又ハ託送取消後ノ留置貨物及到著貨物ノ引渡濟ノ留置貨物ガ所定時間迄ニ全部引取ヲ終了シナイトキハ假令一部分殘ツテ居ルトキデモ此ノ留置料ハ全部殘ツテ居ルモノトシテ到著貨物ナラ到著當時ノ數量全部ニ對シテ計上スルノデアル。荷主トシテハ實際留置シテナイ部分ニ對シテ迄留置料ヲ徵收サレルト謂フコトニナルガ之ハ引取促進ノ爲ニ設ケラレタ規定デアルカラ斯ウシタ場合モアルコトハ蓋シ止ムヲ得ナイコトデアル。

運賃モ料金モ種類ノ違フモノ毎ニ一口ヅツ各別ニ計算スルモノデアル。此ノ場合一角未滿ノ端數ハ夫々一角ニ切上ゲタモノヲ收受スルノデアル。「會社ノ都合デ一口ノ貨物ヲ其ノ數量ニ適應セザル貨車ニ積載シタル場合」トハ、例ヘバ一口三十瓲デ託送サレタ貨物ニ對シ恰度三十瓲貨車ガナイ爲之ヲ四十瓲貨車ニ積ンダリ又二十瓲貨車ト十五瓲貨車トニ分割シテ積ンダ場合等ノ如キヲ謂フノデアル。

貨物運賃ハ規則第十七條ニ依リ受託後直ニ計算スベキデアルガ車扱貨物ノ運賃ハ規則第三十九條ニ依ツテ使用貨車ノ標記荷重デ計算スルコトニナツテ居ル爲現實ニハ貨車ニ積載シテカラデナイト運賃ノ計算ガ出來ナイカラ積載後運賃料金ヲ計算スルコトトナルノデアル。尙貨車ノ代用承認ニ當ツテハ鐵路局長ノ指示ヲ受ケネバナラヌ。

鐵路局長ハ此ノ場合、會社ノ貨車繰等ノ都合上デアルトカ、色々ノ情況ニ依ツテ判斷シテ適當ノ指示ヲ爲スベキデアル

第三十三條　運賃料金ノ收受

運賃、料金ノ支拂ハ發拂ガ原則デ此ノ場合特約ニ依ツテ豫納拂ト後拂トノ收受方ガアルガ之ハ公報、局報又ハ內達デ指示サレタモノニ限ルノデ之以外ノモノニ付テハ荷主ノ要求ガアツテモ站限リデ勝手ニ支拂方法ヲ決メルコトハ出來ナイ

貨物ノ運賃ヤ料金ハ貨物ヲ受託シタ時或ハ引渡ヲシタ時ニ其ノ度毎ニ荷主カラ受取ルベキモノデアルガ、常時貨物ノ發著スル商店又ハ運送店ノ樣ナ荷主ニ對シテハ一々其ノ度毎ニ收受セズ一日分ヲ取纏メテ收受シテモヨイ。然シ之ハ何處迄モ站係員ノ手數省略上ノ便法デアツテ收受ニ付テノ責任ハ勿論站當事者ニアルノデアルカラ係員ハ自分ノ責任デ判斷シテヤラナケレバナラヌ。

社內各箇所託送又ハ荷受ノ貨物ニ對スル運賃、料金、立替金其ノ他費用ニ付テ運送狀記事欄（到著貨物其ノ他運送狀ノ使用シナイ場合ハ責任者ノ捺印アル適宜ノ振替申込書）ニ「振替請求」ト記入シ負擔箇所勘定科目ヲ明示シテ振替拂ヲ申込ガアツタトキハ其ノ取扱ヲシテモヨイ。此ノ場合關係書類ノ記事欄ニハ振替ノ要旨ヲ記入スルト共ニ貨物通知書及運賃料金領收書ハ右端ヲ赤染トシ貨物通知書ハ丙、丙ノ二片及乙ノ三片ヲ、運賃料金領收書ハ甲片及丙片ヲ一括（振替申込書ヲ徵シタ場合ハ之ヲ添附）所管審査課ニ提出スル。華北車輛株式會社ハ振替ノ取扱ヲスルコトニ關シテハ社內箇所ト看做スガ之ハ單ニ振替拂ノ取扱ヲスルト云フ點ニ關シテノ社內箇所デ社用品デハナク從ツテ運賃率モ普通運賃率ヲ適用スル。

又鐵路局長ノ指定シタ站ニ限ツテ營業時間經過後ニ取扱ヲシタ貨物ノ收入ヲ其ノ翌日分トシテ處理スルコトガ出來ル。但シ會計年度末（三月三十一日）ノ分ハ其ノ取扱ヲシテハイケナイ。此ノ翌日分トシテノ處理ヲシタトキハ發站ニ於テハ運送關係書類ノ受託月日右端餘白ニ、著站ニ於テハ引渡月日右端餘白ニ「㊟」ト計入スルコトヲ要スル。

第三十四條　運賃ノ計算

貨物ノ運賃ハ其ノ貨物ノ等級ト其ノ運送區間ノ粁程トニ應ジタ所ノ運賃率ニ規則第三十八條ニ依テ計算シタ重量ヲ乘ジテ算出スル。

此ノ場合算出シタ運賃額ガ小口扱ナラバ一口ニ付一圓、車扱ナラバ運賃計算重量一瓲ニ付三圓トシテ計算シタモノヲ最低運賃ト定メラレテキルカラ算出シタ運賃ガ此ノ割合ヨリ低イトキハ何時デモ之丈ハ收受スルノデアル。從テ運賃割引ヲスル貨物ノ運賃デモ割引シタ結果ガ前記ノ最低額以下トナツテモ矢張リ此ノ最低額デアル小口扱ノ場合ノ一圓、車扱ノ場合ノ瓲當タリ三圓ヲ收受スルノデアル。

第三十五條　貨物ノ等級

貨物ノ等級ハ別表ノ貨物等級表ニ定メテアル通デアル。

此ノ等級表ハ日滿華ノ六鐵道共通ノモノヲ使ツテ居ルノデ其ノ組織ト編成及等級ノ適用方並ニ解釋ハ各鐵道共一致シテ居ル。只等級丈ハ各鐵道ノ收支狀態ヤ外部ノ經濟事情ニ依テ一致サスコトガ出來ナイカラ各鐵道獨自ノ立場ニ依テ定メテ居ルノデ必ズシモ一致シテハ居ナイ。

第三十六條　粁程ノ計算

貨物運賃ヲ計算スルトキノ粁程ハ規則別表ノ貨物營業粁程表ニ依リ運賃率ノ最モ低廉ナ粁程ニ依ルコトニナツテ居ル。

實際ノ場合貨物ノ運送徑路ハ輸送上ノ都合ニ依テ必ズシモ發著站間ノ最短粁程ヲ通ラナイ場合ガ相當アルガ之ハ專ラ鐵道ノ都合デヤツテ居ルコトデアルカラ實運送徑路ノ方ガ長クトモ之ニ依テ運賃計算ハシナイノデアル。但シ天災事變トカ其ノ他ノ事由等ニ因テ運賃計算粁程ノ徑路ガ不通トナツタ場合會社デ他ノ徑路ヲ指定シテ之ヲ外部ニ公告シタ時ニハ其ノ徑路ノ粁程ニ依テ運賃ヲ計算スルノデアル。

前項ノ不通ノ際會社ガ公告セヌ前ニハ站限リデ勝手ニ運賃計算徑路ヲ變更スルコトハ出來ナイノダカラコンナ場合ハ直ニ鐵路局長ノ指示ヲ承ケネバナラヌ。

第三十七條　運賃率

貨物運賃率ハ別表貨物運賃率表ニ掲ゲテアル通リ小口扱ト車扱トニ別レテ居ル。

小口扱ノ運賃率適用ノトキ注意スベキコトハ貨物等級表上「小口乘率」欄ニ2、トカ5トカ記入サレテ居ルモノノ運賃率ハ其ノ貨物ノ等級ト運送區間ノ粁程ニ應ジタ賃率ヲ二倍トカ五倍トカニシタモノデアルト謂フコトデアル。從テ小口乘率ノ定アル貨物ノ小口扱ノ場合ノ運賃ハ小口扱運賃率ニ所定ノ乘率ヲ乘ジテカラ計算スルノデアル。

車扱貨物ノ運賃率ヲ適用スルトキニ注意スベキコトハ小口乘率ノ定アル貨物ガ一口三十瓲未滿ノモノデアルトキ之ヲ貨車標記荷重三十瓲未滿ノ貨車卽チ小型車ニ積載サレタ場合ハ其ノ貨物ノ運賃率ハ所定運賃率ヲ二割增シタモノデアルト謂フコトデアル。

規則第十九條ノ構內運搬ノ場合ニモ前項ノ振合デ料金ヲ計算スルノデアル。小口乘率ノ定アル貨物デ小型車ニ積載シテモ割增ヲシナイ場合ハ左ノ二ツノ場合丈デアル。

1　二車以上ニ跨ガツテ積載サレル闊大貨物運送ノトキ

2　規則第三十二條ノ補則ニ依テ一口ノ貨物ヲ其ノ數量ニ適應シナイ貨車ニ分割積載シタトキ

小口乘率ノ定アル貨物デ三十瓲未滿ノ數量ノモノデモ貨車標記荷重三十瓲以上ノ貨車ニ積載シテ第三十九條ニ依リ運賃ヲ計算スル場合ハ此ノ二割增ヲ適用シナイノハ當然デアル。

第三十八條　貨物ノ重量

標準數量ノ適用ニ就テ注意スベキコトハ所定ノ品種ト荷造ガ同ジデアル場合ハ一箇ノ瓩數ト車扱ノ場合ニ於ケル一瓲當タリ箇數トハ必ズ所定ノ通ニヤラナケレバナラヌコトデアル。例ヘバ麥酒大瓶四打入箱入ノモノヲ實重量ガ七十八瓩デアルカラトテ勝手ニ七十八瓩トスルコトハ出來ナイノデ七十四瓩デモ七十九瓩デモ運送狀ノ記載ハ勿論、運賃計算重量モ皆所定ノ七十七瓩デヤラナケレバナラヌノデアツテ此ノ點ハ荷主デモ反對スルコトハ出來ナイノデアル。

此ノ標準數量ハ容量、荷造ガ商取引上一定ノ規格ニ據ツテ居ルモノ丈ヲ掲ゲ檢斤其ノ他ノ手數ヲ省略シテ專ラ能率的ニ處理スル爲ニ定メラレタモノデアルカラ此ノ列記品目ニ關スル限リ斯ウシタ手數ヲ省略スルノガ當然デ更メテ檢斤等スル必要ハナイ。

第三十九條　運賃計算重量及最低重量

貨物ノ運賃計算重量ハ規則第三十八條ニ依テ定メラレル重量ヲ基礎トシテ計算シタ重量ヲ以テ其ノ重量トスルノデ此ノ場合ノ端數ハ小口扱デハ十瓩未滿ハ十瓩毎ニ切リ上ゲ、車扱デハ一瓲未滿ハ一瓲毎ニ切リ上ゲルノデアル。

運賃ヲ計算スルトキノ最低重量ハ小口扱ハ三十瓩車扱ハ積載貨車ノ貨車標記荷重デアル。

貨車ノ標記荷重ハ通常二ツ記載サレテ居リ、本規則上デハ上部ニ書イテアル大ナル標記荷重ノコトヲ最高標記荷重ト稱ヘ、下部ニ書イテアル小ナル標記荷重ヲ單ニ標記荷重ト稱ヘテ居ル。

從テ前記ノ運賃計算重量ハ使用貨車ノ小ナル標記荷重其ノ儘デアル。但シ此ノ場合注意スベキコトハ昭和十九年一月十五日公告第百九十七號ニ依ル增積指定貨物ニ對スル運賃計算最低重量ハ同告示ニ示サレテ居ル重量ガ夫々最低運賃計算重量デアルコトデアル。

第四十條　濶大貨物ニ對スル附加運賃

貨物ノ運賃ハ普通ノ大キサ、長サ及重量ノ貨物ヲ基準トシテ定メテアルモノデアツテ取扱上特別ノ設備、勞力、時間又ハ注意ヲ要スル濶大ナル貨物ニ對シテハ通常何レノ鐵道デモ特別ノ料金ナリ運賃ヲ徵ツテ居ルノデアル。

附加運賃計算ノ場合注意スベキコトハ重量濶大貨物ハ一箇毎ニ計算スルノデ例ヘバ一口中ニ二瓲ノモノ一箇五瓲二分ノモノ二箇ガアルトキノ附加運賃ハ五圓ガ一ツト六十圓ガ二ツ合計百二十五圓デアルガ長尺物ノ場合ノ附加運賃ハ全然之ト計算方ヲ異ニシテ居ルノデ例ヘバ一口中ニ十五米ノモノ三本二十二米ノモノ一本ガアルトキノ附加運賃ハ一口中デ一番長イモノ即チ此ノ場合ハ二十二米ノモノニ對スル附加運賃ヲ一ツ計算スレバヨイト謂フコトデアル。

重量ト長サト兩方共附加運賃ヲ要スル場合ハ一口中ノ重量附加運賃ノ合計ト長サニ對スル附加運賃トヲ比較シテ何レカ高イ方ヲ一ツ收受スレバヨイ。

附加運賃ハ扱運別ヤ積載貨車ノ大小等デ變化スルモノデナク其ノ貨物ノ運賃トハ全ク別ノモノデアルカラ最低運賃等トハ別ノモノトシテ各別ニ計算スルノデアル。

第四十一條　料金ノ計算

貨物ノ料金トハ貨物運送ニ附帶シテ爲サレル作業ニ對シテ支拂ハルベキ代償デアル。會社ノ收受スル料金ハ總テ別表ニ掲ゲテアルガ其ノ中ニハ本規則以外ノモノモ掲ゲテ取扱者ノ便ニ供シテ居ル。

料金ノ計算上特ニ注意スベキコトハ貨物保管料、貨物留置料、集貨料及配達料ノ計算ノ場合小口扱ニ限リ貨物等級表上ニ小口乘率ノ定アル貨物ニ對シテハ其ノ乘率ヲ料金率ニ乘ジタモノヲ其ノ貨物ニ對スル料金率トスルコトデアル。

貨物保管料、貨物留置料及貨車留置料ノ三ツノ料金ハ運輸上又ハ公益上必要アルトキハ荷主ニ對シ可及的速カニ積卸、引取及搬出等ヲ督促慫慂スル手段トシテ會社ハ其ノ料率ヲ十倍迄ニ引上ゲルコトガ出來ルコトニナツテ居ルカラ站長ニ於テ其ノ必要ガアルト認メタトキハ鐵路局長ニ其ノ實狀ヲ具申シテ所要ノ指示ヲ承ケルベキデアル。此ノ場合鐵路局長ハ荷主ニ對シ過酷ナル不測ノ損害ヲ與ヘナイ樣ニ出來得レバ四、五日ノ豫告ヲ以テ實施スベキデアル。

第一節　指圖

第四十二條　指圖ノ申込

指圖トハ荷送人又ハ貨物引換證所持人ガ運送契約成立後託送ノ取消、發站送還、著站又ハ荷受人ノ變更等ノ如ク運送條件ノ變更方ヲ請求スルコトデ、此ノ指圖權ハ法律ニ依リ認メラレタ荷主ノ權利デアル。會社ノ規定デハ指圖權ヲ有スルモノハ荷送人又ハ貨物引換證所持人ニ限ルコトニシテ居ル。荷送人ハ運送契約ノ當事者トシテ此ノ權利ヲ有シ運送品ノ所有者タルト否トハ問フ處デハナイ。然シ貨物引換證ヲ發行シタ場合ハ其ノ所持人ニ限リ指圖權ヲ行使スルコトガ出來ルコトトシタ。從テ荷送人ト雖モ之ガ所持人トシテノ外ハ指圖權ヲ行使スルコトガ出來ナイコトニナル。

指圖ノ受理站ハ發站及著站ニ限定シタ。而シテ指圖ヲ受理スル場合ハ其ノ申込人ニ貨物通知書（甲片）又ハ貨物引換證提出セシメ貨物通知書適當欄又ハ便宜用紙ニ要旨ヲ記入捺印セシメテ之ヲ受附ケル。

提出セシメタ貨物通知書又ハ貨物引換證ハ指圖ヲ受理シタナラバ所要事項ヲ訂正、記入シテ荷送人又ハ貨物引換證所持人ニ返付シナケレバナラヌ。貨物通知書ヲ紛失其ノ他ノ事由ニ依リ提出セズニ指圖ノ申込ヲシタトキハ別ニ連帶保證狀ヲ徵シテ受附ケルコトガ出來ル。但シ指圖申込者ガ正當荷送人ナルコト明白ナ場合ニハ必ズシモ此ノ保證狀ヲ徵スル必要ガナイ。タダ貨物引換證ヲ發行シタ場合ハ貨物引換證ノ提出ハ絶對的要件デ若之ヲ提出セズニ申込ガアツタトキハ證券發行荷物擔保引渡手續ノ定メル所ニ依リ擔保及連帶保證狀ヲ徵シナケレバナラヌ。

荷受人ガ商號又ハ荷主記號ヲ變更シタ爲生ジル荷受人名ノ訂正又ハ同音異字等ニ基ク誤記訂正デ事實上荷受人ノ同一ノモノハ指圖トシテノ取扱ヲセズニ便宜關係書類ヲ訂正シタ上其ノ理由ヲ附記スレバヨイ。

著站變更ハ天災事變其ノ他ノ事故ノトキ、又ハ引渡支障貨物トナツタトキニ會社ヨリ指圖ヲ求メタ場合ニ限リ其ノ取扱ヲスルノデアルガ第二十條ノ規定ニ依ル優先運送貨物ニ就テハ右以外ノ場合ニ於テモ運輸上必要アルトキハ特ニ著站變更ノ申出ニ應ズルコトガアル。本貨物ニ對シ此ノ申出ガアツタトキハ站長ハ事情已ムヲ得ズト認メラレルモノニ限リ其ノ處置ニ就テ直ニ鐵路局長ノ指示ヲ承ケネバナラヌ。

託送取消又ハ發站送還ノ指圖ニ依リ發站ニ於テ貨物ノ引渡ヲスル場合ハ、發站ハ事實上著站ト同一ノ立場ニナルカラ此ノ場合ノ貨物ノ引渡方ハ著站ニ於ケル到著貨物引渡ノ要領ニ依リ引渡ヲスレバヨイ。

第四十三條　指圖ノ受理、處理

指圖ノ申込ヲ受ケタトキハ受理站ハ電話、電報等ニ依リ貨物ノ所在箇所及指圖實行ノ可否ヲ調査シ其ノ可能ナコトヲ確メタ上受理シナケレバナラヌ。

指圖受理ノ爲提出セシメタ貨物通知書又ハ貨物引換證ハ指圖ノ處理完了（運送ノ完了デハナク事務的ナ處理ノ完了）迄受理站ガ一時預リ、處理完了後所要事項ヲ訂正記入シテ返付スルノデアルガ、貨物引換證ハ其ノ性質上受理站ト貨物引換證所持人トノ關係ヲ明瞭ナラシメル爲站長ハ所定ノ書證券預リ證ヲ交付シ後刻貨物引換證ヲ返還スル際之ト引換ニ回收スルノデアル。又貨物引換證記載事項ヲ訂正シタ場合ハ其ノ訂正箇所ニ站長職印ヲ押捺スルコトヲ要スル。

第二節　事故

第四十四條　滅失、毀損等ニ對スル處理

貨物ノ滅失又ハ毀損ヲ發見シタトキハ必要ニ應ジテ荷主ニ其ノ旨通知セネバナラヌ。貨物ニ對シ差押ヘ其ノ他官憲ノ處分ガアツタトキモ同樣デアル。通知必要ノ有無、通知先ヲ荷送人、荷受人ノ孰レニスルカハ其ノトキノ事故ノ狀態、發生場所、貨物ノ性質等ニ依リ一概ニ謂ヘナイガ要スルニ善良ナル管理者トシテノ常識ニ依テ判斷スレバヨイ。

會社ハ貨物ガ全部滅失シタトキハ運賃、料金其ノ他ノ費用ノ全額ヲ拂戻シ、又一部滅失シタトキハ滅失シタ部分ニ相當

スル運賃、料金其ノ他ノ費用ヲ拂戻ス。併シナガラ其ノ滅失ノ原因ガ貨物ノ性質、荷造ノ不完全其ノ他荷主ノ責ニ歸スル原因ニ依ルコトヲ會社ガ證明シタトキハ此ノ拂戻シヲシナイ。荷主ヨリ滅失貨物ニ對スル此ノ運賃、料金其ノ他ノ費用ノ拂戻方請求ガアツタトキハ站長ハ必ズ所管鐵路局長ノ指示ヲ承ケネバナラヌ。夫レハ會社ノ責ニ歸スベキ事由ニ因テ滅失シタ貨物ノ運賃、料金其ノ他ノ費用ノ拂戻金額ハ後日損害賠償金支拂ノ際控除サレルカラデアル（第六十條第二項）。

荷主ノ責ニ歸スベキ事由ニ因ル荷崩又ハ荷造破損等ノ爲會社ガ其ノ貨物ノ積替、手當等ヲシタトキハ夫レニ要シタ費用ヲ又其ノ爲ニ貨車ヲ留置シタトキハ留置時間ニ對シ所定ノ貨車留置料ヲモ收受スル。此ノ場合積替、手當等ヲシタ站デハ其ノ料金及費用ヲ貨物通知書ニ記入スルト共ニ荷物賃訂正通知書ヲ發行シ著站ハ夫レニ依リ貨物引渡ノ際荷受人ヨリ之ヲ收受スルノデアル。此ノ場合著站ハ積替、手當等ヲシタ站デ發行シタ荷物賃訂正通知書ニ依リ新ニ荷物賃訂正通知書ヲ發行シテ處理スルコトヲ要スル。

積載貨物ノ脫落、荷崩又ハ積載貨車ノ故障ヲ發見シタトキハ積替其ノ他適當ノ手當ヲシテ（其ノ原因ガ荷主ノ責ニ歸スルトキハ前述ノ樣ニ其ノ費用ヲ荷主ヨリ收受シ、然ラザルトキハ會社ノ負擔）輸送スルノデアルガ、輸送困難ト認メタトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承ケ處理スルノデアル。又乘務係員ニ於テ右ノ事故ヲ發見シタトキハ其ノ處置ヲ最寄站長ニ委託スレバヨイ。

積替ヲシタ爲ニ積殘ガ生ジタトキハ之ニ對シ再製用貨物通知書ヲ作成シ直ニ追送ノ手配ヲスルト共ニ關係箇所ニ對シ電報又ハ電話等デ其ノ旨通知スル必要ガアル。

運送途中デ官憲ノ沒收處分ガアツタ場合其ノ原因ガ荷主ノ責ニ歸スベキ事由ニ依ルモノデアルトキハ會社ハ前途ノ運送ニ對スル既收運賃及料金ノ拂戻ヲシナイ。

貨物ガ相當ノ期間經過シテモ著站ニ到著シナイトキハ著站ハ關係站ニ電報シテ夫レヲ調査セネバナラヌ。

途中站又ハ乘務係員ガ貨物ヲ伴ハナイ貨物通知書ヲ發見シタトキハ其ノ記事欄ニ發見月日、列車番號、場所及發見者ノ在勤箇所、職氏名其ノ他必要事項ヲ記入シテ之ヲ著站ニ送付スレバ良イ。但シ貨物ガ全部滅失シタコト明ラカナ場合ハ鐵道營業事故處理規程ニ定メテアル事故報告站ニ送付セネバナラヌ。又乘務係員ガ貨物通知書ヲ伴ハナイ貨物又ハ荷主不明ノ貨物ヲ發見シタトキハ便宜ノ用紙ニ發見月日、列車番號、發見者ノ勤務箇所、職氏名其ノ他必要事項ヲ記入添附シテ、著站明ラカナ場合ハ著站又ハ中繼站ニ之ヲ交付シ、著站不明ノ場合ハ便宜最寄ノ站長ニ引渡シテ其ノ處理ヲ委託スレバ良イ。

貨物ガ誤著シタトキハ直ニ正當著站ニ輸送ノ手配ヲシナケレバナラヌ。此ノ場合ハ發著站ニ其ノ旨電報スルト共ニ貨物通知書ノ記事欄ニ又貨物通知書ノナイトキハ便宜用紙ニ要項ヲ記入認印スルコトヲ要スル。

貨物通知書、荷札、荷票等ノ誤記、誤用等ヲ發見シタトキハ關係站ニ通知シタ上之ヲ訂正セネバナラヌ。

貨物ノ一口全部ガ滅失シタコト明ラカナトキハ當該貨物ニ對スル貨物通知書ハ事故報告站ニ於テ記事欄ニ其ノ旨記載シ其ノ乙ノ三片ハ所管審査課ニ提出スルノデアル。但シ指定貨物通知書ヲ使用シタ場合ハ事故報告站ヨリノ通報ニ基イテ著站ニ於テ其ノ丁片記事欄ニ其ノ旨記入シ所管審査課ニ提出スルノデアル。

事故貨物ヲ授受スルトキハ事故ヲ發生又ハ發見シタ者ガ貨物通知書ノ餘白及授受關係書類ニ其ノ要項ヲ記入認印シナケレバナラヌ。既ニ爲サレタ證明事項ニ相違アル事實ヲ發見シタトキモ同樣デアル。

尙事故貨物ニ對スル處理及報告等ニ關シテハ鐵道營業事故處理規程ニ依リ處理スレバ良イ。

第四十五條　品名、數量等ノ相違ニ對スル處理

貨物ノ品名、性質、數量等ガ運送狀ノ記載又ハ荷送人ノ申告ト相違スルトキハ會社ハ必要ニ應ジテ其ノ輸送ヲ中止シ又、

ハ他ノ貨車ニ積替若ハ其ノ超過部分ヲ分ヲ分割輸送スル。品名又ハ數量ノ相違ヲ發見シタトキハ直ニ其ノ旨關係站ニ電報シナケレバナラヌ。又死體及危險品ガ他ノ品名デ託送サレ若ハ所定ノ荷造ヲ爲サズニ託送サレタトキハ必要ニ應ジ所管鐵路局長ノ指示ヲ承ケネバナラヌ。

此ノ品名、數量ノ相違ノ爲既ニ計算シタ運賃、料金ガ正當額ト異ルトキハ過剩額ハ荷送人ニ拂戻シ、不足額ハ荷受人又ハ荷送人ヨリ追徵スル。此ノ場合ノ正當運賃料金ノ計算方ハ左ノ通デアル

一　一口トシテ取扱得ル貨物ノミノ場合（車扱貨物ニ過積ガアツテモ其ノ儘運送出來ル場合ヲ含ム）ハ其ノ全數量ヲ一口トシテ原扱種別ニ依リ運賃料金ヲ計算スル

二　一口トシテ取扱フコトノ出來ナイ貨物ヲ一口中ニ混入シタ場合ハ一口トシテ取扱得ル貨物毎ニ別口トシテ原扱種別（原扱種別ニ依ルコトガ出來ナイモノデアルトキハ其ノ貨物ニ相當スル扱種別）ニ依リ運賃料金ヲ計算スル、但シ車扱貨物デ其ノ混入シタモノヲ別口トシテ一車ヲ使用シタトキハ車扱ニ依ル計算ヲシ、又小口扱トシタ場合ハ小口扱ニ依ル計算ヲスル

三　車扱貨物ノ數量ガ積載制限ヲ超過シテ居ル爲ニ分割輸送ヲスル必要アルトキハ積載制限内ノ數量ニ對シ原扱種別ニ依リ計算シタ運賃、料金ト超過數量ニ對シ小口扱ニ依リ計算シタ運賃、料金トヲ合算スル。但シ當該超過數量ニ對シ一車ヲ使用シタ場合ハ車扱ニ依リ計算シタ運賃、料金ヲ合算スル

四　第二號及第三號ノ事實ガ競合シタトキハ先ヅ第二號ニ依リ別口トシテ取扱ツタ後第三號ニ依リ計算スル

品名、性質、數量等ノ相違ノ爲積替ヲ爲シ其ノ爲貨車ノ留置ヲシタトキハ其ノ留置時間ニ對シ所定ノ貨車留置料及積替ニ要シタ費用ヲ荷主ヨリ收受スル。

運賃、料金等ノ拂戻ハ發站ニ於テ荷送人ニ對シ、又追徵ハ著站ニ於テ荷受人（荷受人ガ支拂ハナイトキハ發站ヨリ荷送人）ニ對シテ爲ス。

此ノ場合ハ何レモ荷物賃訂正通知書ヲ發行シテ處理スル。然シ運賃、料金ニ異動ガアツテモ其ノ總額ガ一口ニ就テ一圓未滿デアリ然モ原運賃、料金ガ收受濟ノ場合ハ荷主ヨリ申出ガアツタ場合ニ限リ追徵、拂戻ヲスル。

途中站デ過積ヲ發見シタトキハ其ノ儘輸送シテモ前途ノ輸送ニ支障ナイト確認出來ルモノハ其ノ儘輸送シ、支障アリト認メラレルモノハ他ノ貨車ニ積替ルカ又ハ超過部分ヲ分割輸送シナケレバナラヌ。

又運賃、料金ノ樣ナ金錢ノ收受ニ關係ノナイ事項ヲ訂正スル場合ハ更正通知書ヲ作成シテ關係站ニ通知スレバ良イ。

第四十六條　品名、數量等ノ相違ニ對スル加重金

前條ノ規定ニ依テ不足運賃ヲ追徵スベキモノニ對シテハ不足運賃ヲ追徵スルト共ニ其ノ三倍ノ加重金ヲ收受スル。但シ左ノ場合ハ不足運賃ノ追徵ダケデ加重金ハ收受シナイ。

一　小口扱貨物及會社ニ於テ積込ヲシタ車扱貨物ノ數量超過

二　荷主ガ積込ヲシタ貨物ノ數量ノ百分ノ一以内ノ超過、但シ橋秤ニ依ラナケレバ檢量困難ナ貨物ノ場合ハ百分ノ五以内ノ超過

三　品名其ノ他ノ相違ニ對シテ會社ガ知ル前ニ荷送人ヨリ訂正ノ申出ガアツタトキ

危險品（火藥類ヲ除ク）ガ他ノ品名デ託送サレタトキハ會社ハ前述ノ加重金ヲ收受スルノ外更ニ其ノ包裝込實重量ニ對シテ一瓩又ハ其ノ未滿ニ付一圓ノ加重金ヲ收受スル。一般ノ加重金ハ會社ガ貨物ヲ受取ツタ後ニ於テ既收運賃ガ正當運賃ニ不足スル場合ニ收受スルノデアルガ此ノ危險品ニ對スル加重金ハ不足運賃ノ有無ニ拘ラズ收受スルモノデアル。

加重金ハ荷送人ノ申告シタ發著區間ニ對スル正當運賃ヲ基礎トシテ計算スルモノデ實際ニ運送サレタ區間トハ關係ガナイ。ソシテ原則トシテ之ハ荷送人ヨリ收受スベキモノデアルガ荷受人ガ貨物ノ引取ヲスル場合ハ荷送人ガ既ニ支拂ヲシ

タトキヲ除キ荷受人ヨリ收受スル。

尙加重金ハ荷主ノ過失ノ有無ニ關係ナク收受スルモノデアルカラ發送前託送ノ取消ノ指圖ヲ受理シ運賃ノ拂戻ヲシタ場合デモ加重金ハ拂戻サレナイ。

第四十七條 天災事變其ノ他ノ事故ノ場合ニ於ケル處理

天災事變其ノ他已ムヲ得ナイ事由デ會社ガ受託濟ミノ貨物ヲ運送スルコトガ出來ナイ場合、又ハ運送途中カラ前途ノ運送ヲ繼續スルコトガ出來ナイ樣ナ場合ニハ遲滯ナク荷送人ニ其ノ旨通知シテ相當ノ期間內ニ第四十二條指圖卽チ託送ノ取消、發站送還、著站又ハ荷送人變更ノ何レカノ指圖ヲスル樣ニ求メネバナラヌ。此ノ場合ノ相當ノ期間トハ事故ノ狀態、貨物ノ性質、輸送ノ情況等デ一概ニ決定スルコトハ出來ナイガ荷送人ニ通知到著後ハ可及的速カニ指圖セシメルコトヲ要スル。此ノ場合若指定ノ期間內ニ指圖ガナカツタトキハ會社ハ荷主ノ費用デ其ノ貨物ノ貨車取卸又ハ發站ニ送還スルコトガ出來ル。以上ハ普通ノ場合デ若荷送人ノ指圖ヲ俟ツトキハ却ツテ損害ヲ大ナラシメル虞アリト認メラレル場場例ヘバ生鮮魚貝、腐敗變質シ易イ貨物等ニ對シテハ荷主ノ負擔デ其ノ貨物ノ換價其ノ他機宜ノ處置ヲ爲スコトガ出來ル。此ノ場合換價ヲスルトキハ鐵路局長ノ指示ヲ承ケネバナラヌ。

尙本條ノ事故發生ノ場合ハ速カニ發著站、受託月日、品名、數量等ヲ鐵路局長ニ報告セネバナラヌ。又途中ノ線路不通ノ爲他ノ運送徑路デ運送ヲスル場合ノ取扱方等ニ關シテモ同樣ニ鐵路局長ノ指示ヲ承ケネバナラヌ。

第四十八條 引渡支障貨物ノ處理

引渡支障貨物ニ對シテハ會社ハ發站ヲ介シテ荷送人ニ其ノ旨ノ通知ヲ發シ相當ト認メル期間ヲ定メテ其ノ期間內ニ第四十二條ノ指圖卽チ發站送還、著站又ハ荷受人ノ變更ノ中何レカヲ爲ス樣ニ貨物ノ處分ヲ促スガ是等ノ手續ヲシテモ指定ノ期間內ニ尙指圖ガ爲サレズ又荷受人ヨリ引取ノ申出ガナク（荷送人ニ指圖ヲ請求シテカラ荷受人ノ請求ニ依リ貨物ノ

引渡ヲシタトキハ遲滯ナク荷送人ニ其ノ旨通知スル）更ニ指圖ヲ求メタ通知發信後三十日ヲ經過シテモ荷主ヨリ何等ノ回答ナキトキハ會社ハ荷主ノ費用デ其ノ貨物ヲ換價スルコトガアル。貨物ノ性質上時日ヲ經過スルトキハ著シク其ノ價格ヲ減ズル虞アル爲荷送人ニ持圖ヲ求メル遑ノナイトキハ右ノ手續ト期間ニ關係ナク直グニ換價處分シテモヨイ。此ノ換價處分ハ鐵道ノ取扱上ノ便宜ノ爲ニナサレルモノデアルガ一面適當ノ時期ニ換價スルコトニ依テ貨物保管料ノ增加ヲ防止シ荷主ノ負擔輕減ニ資シ又貨物ノ商品價値低下防止ノ一助トスル爲デアル。

第四十九條 換價金ノ處理

貨物ノ換價ヲシタトキハ換價金ハ換價ニ要シタ費用、立替金、未拂ノ運賃、料金其ノ他運送ニ關シ會社ニ對シテ生ジタ債務ノ辨濟ニ充當シ過剩又ハ不足アルトキハ荷送人ニ對シ之ガ拂戻又ハ追徵ヲスル。此ノ場合ノ拂戻請求權ハ第五十三條、追徵ノ支拂請求權ハ第五十四條ニ定メラレテ居ル期間經過後ハ消滅スル。

第五十條 取扱上ノ錯誤

會社ノ收受スベキ運賃、料金及費用ガ誤算、取扱上ノ錯誤ニ依テ正當額ニ相違スルコトヲ發見シタトキハ訂正ノ上荷送人又ハ荷受人ニ對シ追徵又ハ拂戻ヲスル。然シ其ノ金額ガ一圓未滿デ原運賃、料金及費用ガ旣ニ收受シテシマツタ後ニ於テハ荷主ヨリ特ニ申出ナイ限リハ追徵、拂戻ヲシナイ、此ノ場合ノ時效期間ハ第五十四條ニ規定シテ居ル通デアル。

第五十一條 事故證明

貨物引渡ノ際事故アルトキハ荷受人ノ申出ニ依リ會社ハ之ガ證明ヲスル。而シテ事故證明ハ滅失、毀損又ハ延著ヲ事由トシテ其ノ數量、狀態又ハ引渡日時ノ事實ニ就テ證明ヲ爲スモノデ其ノ效果ハ損害賠償ノ請求若ハ取引先トノ立證上ノ證據書類トシテ利用サレルモノデアルカラ之ガ發行ニ當タツテハ愼重ヲ期サナケレバナラヌ。卽チ本證明ハ貨物ノ現狀ニ就テ其ノ事實ヲ記載スベキモノデ例ヘバ內容不足ノ證明方申出アル場合ニアツテモ之ニ應ズベキデハナイ。何トナレ

バ其ノ基礎タル貨物通知書ニ記載サレテ居ル在中品ノ數量ハ必ズシモ發站ニ於テ其ノ中味ヲ點檢ノ上記入シタモノデナイカラ現在品ガ其ノ記載數量ヨリ不足スルトキト雖モ之ニ依テ直ニ在中品不足ノ證明ヲ爲スベキデハナク、單ニ現在數ノ證明シカ出來ヌカラデアル。其ノ他之ニ類スル不正確ナ事實ノ記載又ハ係員ノ認定ニ基ク記載ハ嚴ニ避ケネバナラヌ。

第五十二條　引渡權利者不明貨物ノ處理

鐵道ノ如ク日々多種多量ノ物品ヲ一時ニ取扱フ營業デハ引取權利者ノ不明ナ貨物ヲ招來スル機會ガ比較的多イノデ之ヲ迅速ニ解決スル途ヲ開イテ置ク必要ガアル。又權利者不明ノ貨物ハ權利者ト其ノ貨物トノ關聯ガ斷タレタ丈デ眞ニ權利ガ存在シナイモノデハナク單ニ判明シナイ丈デアル。然モ一方ニ於テ權利者ハ第六十三條ノ規定ニ依テ引渡期間滿了後一月ヲ經過スルモ尙貨物ノ引渡ヲ受ケルコトガ出來ナイトキハ之ヲ滅失シタモノト着做シテ損害賠償ノ請求ヲスルコトガ出來ルノデアル。此ノ場合貨物ノ價格ノ全部ヲ賠償シタトキハ鐵道ハ假令其ノ貨物ガ後デ發見サレテモ其ノ所有權ヲ取得スルガ、取得スル所有權ノ目的物タル貨物ガ何人ノモノナルカ具體的ニ判明シナイデ唯權利者不明貨物ノ中ノ何レカニ該當スルカ或ハ實際ニ滅失シテ所有權ヲ取得スル餘地ノナイコトモアル。斯ウシタ事情ヲ考慮シテ又民法ガ無主ノ動產ハ所有ノ意志ヲ以テスル占有ニ依テ其ノ所有權ヲ取得セシメテ居ル制度ニ倣ツテ鐵道ハ引取權利者不明貨物ヲシテ其ノ占有者タル鐵道ニ其ノ所有權ヲ取得セシメルコトニシタノデアル。然モ業務ノ性質上迅速處理ヲ必要トスル鐵道ナルガ故ニ其ノ期間ヲ六個月トシタノデアル、卽チ引取權利者不明貨物ヲ發見シタトキハ會社ハ關係站ニ之ヲ公告スル而シテ此ノ公告ヲシタトキカラ六個月經過シテモ引取權利者ガ判ラナイトキハ會社ハ其ノ所有權ヲ取得スルノデアル。

第五十三條　貨物引渡請求權ノ消滅

荷主ノ貨物引渡請求權ハ引渡期間滿了ノ日（引渡遲延ノ場合ハ貨物ノ到著通知發信ノ日）ヨリ一年間之ヲ行使シナイコトニ依テ消滅スル。鐵道ノ如ク大衆ヲ相手方トスル取引ニ在ツテハ權利義務ノ關係ヲナルベク速カニ確定セシメル必要ガアルカラ會社ハ特ニ一年ノ短期免責期間ヲ定メタ次第デアル。

第五十四條　運賃、料金等ノ拂戻又ハ支拂請求權ノ消滅

前條ノ場合ト同樣ノ主旨ニ依リ運賃、料金其ノ他ノ費用ノ拂戻請求權又ハ支拂請求權ニ關シテ一年間ノ短期免責期間ヲ定メタ。卽チ會社ガ收受シタ運賃、料金其ノ他ノ費用ニ對スル荷主ノ拂戻請求權ハ收受シタ日カラ一年間行使シナイトキ、又會社ガ收受スベキ運賃、料金其ノ他ノ費用ニ對スル會社ノ支拂請求權ハ收支スベカリシ日カラ一年間行使シナイトキハ何レモ消滅スルノデアル。尙此ノ一年ト謂フ期間ノ計算ハ必ズシモ十二箇月又ハ三百六十五日ト謂フコトデハナク、一般法令ニ依リ翌年ノ同月同日ト謂フコトデアル。

第五章　會社ノ責任

第五十五條　滅失、毀損又ハ引渡遲延ニ因ル損害ノ賠償責任

會社ハ貨物ノ運送ヲ受託シタナラバ其ノ受託シタ時ト同ジ狀態デ其ノ貨物ヲ荷受人ニ引渡ス義務ガアル。若シ受託後引渡ノ時マデノ間ニ其ノ貨物ヲ滅失、毀損シタ場合ハ勿論第八條ニ定メタ引渡期間ヲ經過シテ引渡シタ場合ニモ夫レニ因ツテ生ジタ損害ヲ賠償スル責任ヲ負ハナケレバナラヌ。然シ其ノ滅失、毀損又ハ引渡遲延ノ原因ガ

一　天災事變其ノ他ノ不可抗力

二　其ノ貨物本來ノ性質

三　荷送人又ハ荷受人ノ過失

等ニ因ルモノデアツテ會社ノ責任ニ歸スベキ事由ニ因ツタモノデナイト謂フコトヲ會社ガ證明シタ場合ハ其ノ損害賠償ノ責任ヲ免レ得ルコトニナツテ居ル。卽チ會社ガ損害賠償ノ責ヲ免レル爲ニハ其ノ原因ガ會社ノ責ニ歸スベキ事由ニ因ツタモノデナイコトヲ立證スル義務ヲ負ハサレテ居ルノデアル。蓋シ荷送人ガ貨物ヲ會社ニ渡シテカラ荷受人ガ引渡ヲ

受ケル迄ノ間ニ於テハ其ノ貨物ハ荷主ノ手許ニナイノデアルカラ何故ニ事故ガ起タカト謂フコトヲ荷主ガ證明スルコトハ困難デアル。故ニ法令ハ其ノ貨物ヲ占有シテ居ル會社ニ先ヅ其ノ擧證責任ヲ負ハシタモノデアル。

尙引渡遲延ニ就テハ本條ノ規定ニモアル如クソノ實際ノ引渡行爲ガ引渡期間經過後行ハレタ場合デモ會社ノ貨物到著通知ガ引渡期間內ニ行ハレタ場合ハ引渡遲延トハナラナイノデアル。尤モ會社ノ責任ニ因ツテ其ノ實際引渡行爲ヲ遲延サセタ場合ハ其ノ遲延サセタ期間ヲ引渡期間ニ算入スルコトハ勿論デアル。

第五十六條　會社ノ故意又ハ重過失ニ因ル損害賠償責任

貨物ノ滅失、毀損又ハ引渡遲延ガ會社ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因ツテ生ジタ場合ハ假令外ニ負責ノ限度ガ定メラレテ居ル場合デモ會社ハ其ノ限度ヲ超エテ一切ノ損害賠償ノ責ヲ負フ。茲ニ謂フ重大ナル過失トハ輕微ナル過失ニ對スル言葉デアツテ著シイ注意ノ闕陷ニ基ク過失ト謂フコトデアリ、事實問題トシテ故意ニ近似シテ居ル場合ガ多イガ豫メ其ノ結果ノ發生ヲ欲スル意志ガナカツタト謂フ點デ異ル。何レニシテモ會社ハ故意又ハ重過失ニ因ツテ滅失、毀損又ハ引渡遲延ニ因ル損害ヲ與ヘタトキハ假令他ノ規定ニ賠償ノ限度ヲ定メタモノ例ヘバ

一　免責特約アル貨物ノ免責事項ニ該當スル損害（第十五條）

二　品名相違貨物ノ點檢ニ因リ生ジタ損害（第十六條）

三　留置貨物ニ對スル損害（第二十一、二十六條）

四　引渡遲延貨物ニ對スル損害（第六十一條）

等荷主ノ負擔トスベキ旨ノ規定アルモノデモ會社ニ於テ一切賠償ノ責ヲ負フモノデアル

第五十七條　書證券ノ記載ニ對スル會社ノ責任

會社デ作成發行シタ貨物通知書又ハ貨物引渡證ハ會社ト荷主トノ間ノ權利義務關係ヲ表示スル重要ナル證憑デアツテ會

社ハ其ノ記載シタ內容ニ對シテハ勿論其ノ記載方其ノモノニ就テモ責ヲ負フ。中デモ貨物引換證ハ法律上定メラレタ樣式證券デアツテ其ノ記載方式ノ誤リカラ字句ノ誤リ記載洩レ等ニ至ル迄總テ其ノ責ヲ負フモノデアルカラ之ガ記載ニ就テハ充分注意セネバナラヌ。然シ會社ハ其ノ書證券ニ表示サレテ居ル貨物ノ內容ヤ性質及荷主積込貨物ノ數量ニ就テハ其ノ責ヲ負ハナイ。蓋シ鐵道運送ハ一時ニ多種多量ノ貨物ヲ短時間中ニ定型的ニ取扱フモノデアツテ各箇々ノ貨物ニ就テ一々其ノ內容及性質ニ就テ詳細ナル吟味ハ爲シ得ズ又各種ノ專門的知識ヲモ所持シナイノガ普通デアルカラデアル。然シ會社ハ荷送人ヨリ受取ツタ物ヲ其ノ儘ノ狀態デ荷受人ニ引渡スベキ義務ヲ持ツテ居ルモノデアツテ會社ノ責ニ歸スベキ事由ニ因ル記載ノ相違ニ就テハ當然責ヲ負フモノデアルカラ此ノ爲ニ必要ナ注意ト取扱ハ毫末モ省略シ得ルモノデハナイ

第五十八條　會社ノ責任ノ免除

荷送人ガ會社ニ貨物ヲ託送スル場合ニハ其ノ貨物ノ品名ヲ正シク明告スベキデアツテ若シ其ノ品名ガ詐稱サレタ場合ハ其ノ貨物取扱上必要ナ注意ヤ手配ヲスルコトガ出來ナイバカリデナク不測ノ損害スラ被ルコトガアル。然モ鐵道ハ社會ノ公器デアツテ之ガ徒ニ不正ニ利用サレルコトハ公序良俗ニモ反スルコトトモナルカラ會社ハ時ニ本條ニ指定シタ一號乃至四號ノ貨物ノ品名詐稱ニ對シテハ其ノ運送契約ニ因ル一切ノ責ヲ負ハナイコトトシタ。品名ヲ詐稱シタ荷主ニ對シテハ第四十五條及第四十六條ノ規定ニ依リ全面的ニ不足運賃及加重金ノ追徵賦課ヲ爲シ得ルコトハ既述シタ通デアルガ更ニ夫レ以上ニ會社ガ損害ヲ被ツタ場合ハ其ノ損害ハ當然荷主ニ對シ請求シ得ルノデアル。

危險品ガ所定ノ荷造ニ依ラズシテ託送サレタ場合モ亦同樣デアル。

第五十九條　損害賠償責任ノ卽時消滅

荷受人ガ未拂ノ運賃料金ヤ其ノ他ノ貨用ヲ支拂ヒ且損害賠償ニ就テ何等ノ留保ヲ爲サズシテ貨物ヲ引取ツタ場合ハ會社

ハ其ノ貨物ノ運送ニ關スル總テノ責任ハ其ノ場デ消滅シテ了フ。從テ假令其ノ貨物ノ一部ニ滅失毀損ガアツテモ夫レニ因ル損害賠償ノ責ハ免レ得ルノデアル。然シ會社カ其ノ滅失毀損ノ事實ヲ故意ニ隱蔽シタリ又ハ當然知ラスベキヲ知ラサナカツタリシタ場合ハ勿論其ノ事實ガ直ニ發見スルコトガ出來ナイモノデアツテ且荷受人ガ引取後生シタモノデナイト謂フコトヲ引取後十日以內ニ證明ヲシテ其ノ事實ヲ會社ニ申出テ來タ場合ハ其ノ損害賠償ノ責ヲ免レルコトハ出來ナイ。從テ此ノ場合ハ第六十四條ノ規定ニ依ルベキデアル。

第六十條 滅失又ハ毀損ニ依ル損害賠償額

滅失又ハ毀損ニ因ル損害賠償額ハ其ノ貨物ノ到著地ニ於ケル同種額、同品質ノモノノ價格ニ依ツテ定メラレル。而シテ物價ハ通常日日變動アルモノデアルカラ其ノ價格査定ノトキノ定メ方ハ次ニ依ル

一　全部滅失ノ場合ハ其ノ貨物ノ引渡期間滿了ノ日

二　一部滅失ト毀損ノ場合ハ其ノ貨物ヲ引渡シタ日

三　引渡遲延ノ場合ハ引渡期間滿了ノ日

第二號ノ場合若シ其ノ引渡シタ日ガ所定ノ引渡期間經過後デアツタ場合ハ其ノ引渡期間滿了ノ日トスル。

價格調査ノ標準ハ市場價格アルモノハ其ノ市場價格、市場價格ノナイモノハ市價又ハ普通價格ニ依ルノガ原則デアルガ市場取引制度ガ不完備デアツタリ物價ノ變動甚シイトキニ於テハ此ノ價格ノ正常ナ査定ト謂フコトハ仲々困難デアル。然シ要ハ若シ其ノ滅失毀損ガナカツタナラバ當然ニ荷主ガ受ケタデアラウ利益ヲ賠償シテヤルベキデアルカラ敢テ其ノ貨物ノ買入價格或ハ其ノ運賃諸掛等ニ拘束サレルコトナク飽ク迄モ到著地ノ正常ナ價格ヲ標準トシテ査定スベキデアル然シ如何ナル高價品ニ對シテモ常ニ其ノ全額ノ損害賠償ヲ負擔スルコトハ出來ナイカラ茲ニ一ツノ特別規定ヲ設ケタ。

卽チ包裝込重量一瓩ニ付價格八十圓ヲ超エル貴重品ニ對シテハ包裝込重量一瓩ニ付八十圓ノ割合デ計算シタ金額以內ニ限ツテ賠償スルコトトシタ。從テ如何ナル高價品ガ滅失シタ場合デモ之以上ノ損害賠償ハシナイコトニナル。

尙此ノ損害賠償ト運賃ノ關係ニ付一言スルニ貨物ガ運送中ニ全部又ハ一部滅失シタ場合其ノ滅失部分ニ對スル運賃ハ其ノ滅失ノ原因ガ荷主ノ責ニ歸スベキ事由ニ因ルモノデアツタ場合ハ假令其ノ運送ヲ完了シナイトキデモ、會社ハ其ノ全額ヲ請求シ得ルガ會社ノ責任又ハ不可抗力ニ因ルモノデアツタ場合ハ之ヲ請求シ得ナイ。從テ前者ノ場合ハ運賃ヲ拂戻シタトキハ損害賠償額決定ノ際之ヲ控除セネバナラズ又未拂ノ分ハ之ヲ請求シ得ルガ後者ノ場合ハ既ニ受取ツタ運賃ハ之ヲ拂戻サネバナラヌシ未拂ノ分ニ對シテハ之ヲ請求シ得ナイ。併シナガラ運送中ニ單ニ貨物ガ毀損シタノミノ場合ハ其ノ毀損原因ノ如何ヲ問ハズ會社ハ其ノ運賃ノ全額ヲ請求シ得ル尤モ此ノ場合毀損部分ニ對スル損害賠償ノ問題ハ夫々ノ原因ニ依テ定ムベキモノデアツテ自ラ別個ノ問題デアル。

第六十一條 引渡遲延ニ因ル損害賠償額

引渡遲延ヲ來シタカドウカノ限界ハ引渡期間ヲ經過シタカドウカニ依テ定メルコトハ旣述ノ通デアルガ此ノ引渡遲延ニ因ル損害額ノ正確ナル査定ハ事實問題トシテ仲々困難デアル。依テ會社ハ本條ノ如ク豫メ一定ノ査定方法ト其ノ限度ヲ規定シタ次第デアルガ然シ此ノ限度モ會社ノ故意又ハ重過失ニ因テ引渡遲延ヲ來シタ場合ニハ勿論之ニ拘束サレナイ（第五六條）。

第六十二條 賠償請求權利者、賠償請求方法

運送貨物ノ滅失、毀損又ハ引渡遲延ニ因ル損害ノ會社ニ對スル賠償請求權ハ其ノ貨物ノ荷送人ト荷受人間ニ於ケル取引條件ノ如何ニ拘ラズ貨物ガ著站ニ到著シ荷受人カラ會社ニ對シ引渡ノ請求ガアル迄ハ總テ荷送人ニアリ其ノ後ハ荷受人ニアルノデアル。但シ貨物引換證ヲ交付シタ場合ハ假令引渡請求前デアツテモ其ノ權利ハ總テ貨物引換證所持人ニアル之貨物引換證ハ會社ニ對スル其ノ貨物ノ引渡請求權ヲ表示スルモノデアツテ此ノ引換證ノ所持人ハ常ニ會社ニ對スル其

ノ貨物ノ引渡請求權所持人デアルカラデアル。

損害賠償ノ請求方法ニ就テハ會社ハ要式制度ヲ採リ必ズ賠償額ヲ明示シタ書面ニ依テ請求ヲスルコトヲ條件トシタ。之日常繁激ナ事務ヲ取扱フ係員ト荷主間ニ法的拘束ヲ受ケル所ノ此ノ損害賠償請求ノ有無ヲ明瞭ナラシメル爲デアル。此ノ「賠償額ヲ明示シタ書面」ノ樣式ハ必ズシモ一定シナイガ一見其ノ內容ノ明確ナルモノタルコトヲ要スルカラ係員トシテハ出來ルダケ會社備附ノ「荷物事故損害賠償請求書」ヲ使用サセルベキデアル。

第六十三條 滅失ト看做シ得ル時期

託送貨物ノ引渡時期滿了後一月ヲ經過シテモ荷主ガ荷物ノ引渡ヲ受ケナカツタ場合ハ荷主ハ其ノ貨物ハ滅失シタモノト看做シテ會社ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲シ得ルコトトシタ。此ノ一月ト謂フ短期間ニ限定シタコトハ損害賠償ノ請求ガ遲レ、之ニ依リ會社側モ荷主側モ種々ノ不便不利ヲ被ル虞アルノデ成ル可ク速カニ事故ノ處理ヲ完了シタイト謂フ意圖ニ出タモノデアルカラ滅失ノ原因明瞭デアルモノハ勿論原因不明デ不著ノ場合ニ於テモ本條ノ規定ニ依リ荷主ニ對シテハ可及的速カニ損害賠償ノ請求ヲ提起セシメルト共ニ之ガ不著原因ノ探求ト事故處理ノ迅速化ヲ期スベキデアル。

第六十四條 賠償請求權ノ消滅

滅失又ハ毀損ニ因ル損害ノ賠償請求權ハ全部滅失ノ場合ハ引渡期間滿了ノ日カラ、一部滅失ト毀損ノ場合ハ其ノ引渡シタ日カラ一年間行使シナイトキハ消滅スル。從テ夫レ以後ニ於ケル損害賠償ノ請求ニハ應ジナイ。一般中國法規ニ於テハ二年デアルガ會社ガ特ニ一年ト謂フ特別規定ヲ設ケタ所以ハ事故發生ノ際荷主ニ對シテハ可及的速カニ之ガ損害賠償ノ請求手續ヲ爲サシメルト共ニ會社側ニ於ケル之ガ事故調査ニ便シ以テ事故處理ノ可及的迅速化ヲ期シタ爲デアル。但シ其ノ滅失又ハ毀損ガ鐵道ノ故意又ハ重過失ニ因ル場合ハ勿論一年デハナク一般法規ニ依テ二年ト謂フコトニナルノデアル。

○車扱貨物ノ增積取扱方

車扱貨物ノ增積取扱方左ノ通制定シ昭和十九年一月二十日ヨリ當分ノ間之ヲ施行ス但シ會社所管線ト滿鐵線、鮮鐵線及東和航路間連絡運送ニ就テハ昭和十九年二月一月ヨリ之ヲ施行ス

車扱貨物ノ增積取扱方

一　增積取扱貨物使用貨車及運賃計算最低瓲數

別表ノ通トス

二　積載限度

貨車最高標記荷重トス

三　增積取扱區間

會社所管線內各站相互間又ハ會社所管線及連絡線內各站相互間トス

註　連絡運送ノ範圍及站ニ於ケル取扱制限ハ一般所定ニ依ルモノトス

四　運賃計算重量

運賃計算最低瓲數ヲ超エ積載限度迄ノ增積ヲ爲ス場合及航路區間（華中航路ヲ除ク）ノ運賃計算重量ハ其ノ實重量ニ依ル運賃計算最低瓲數ヲ異ニスル貨物ヲ一口トスル場合又ハ增積ノ取扱ヲ爲ス貨物ト爲サザル貨物ヲ一口トスル場合ニ於ケル運賃計算最低瓲數ハ其ノ大ナルモノニ依ル

準軌線ト狹軌線トニ跨リ運送サルル貨物ハ準軌線ノ積載貨車ニ合致スル如ク狹軌線內ノ荷口ヲ決定積載スルコトトシ此ノ場合狹軌線內ニ於テハ前各號ノ運賃計算最低瓲數ニ依ラザルコトヲ得

別表品目欄中※印ノ附シアル貨物ノ運賃計算最低瓲數ハ會社所管線内及會社所管線ト華中線相互間連絡運送ノ場合ニ限リ之ヲ適用ス

軍需品ハ本取扱方ニ依リ増積ヲ爲シ之ガ運賃ノ計算ハ左ノ品目ニ限リ左ノ瓲數ニ依ル

石炭、碎石、割栗石、砂利、砂、**セメント**、煉瓦、瓦

標記荷重三〇瓲貨車　三四瓲

標記荷重四〇瓲貨車　四六瓲

其ノ他ノ貨車　貨車標記荷重

五　最低運賃

1　滿鐵線

使用貨車	最低運賃
最高標記荷重三三瓲貨車	四五圓
最高標記荷重三六瓲貨車	五〇圓
最高標記荷重四八瓲貨車	六〇圓

但シ社用品ノ最低運賃ハ此ノ限ニ在ラズ

2　其ノ他

當該線所定ニ依ル

六　其ノ他

1　本取扱方ハ社用品ノ運送ニ就キ之ヲ準用ス

2　本取扱方ハ構内運搬ニ就キ之ヲ準用ス

3　本取扱方ニ定ナキ事項ニ關シテハ貨物運送ニ關スル一般ノ規定ニ依ル

（別表）

番號	品類番號	品類	品目	使用貨車		運賃計算最低瓲數
一				會社所管線及華中線所屬貨車	滿鐵線所屬貨車	
1	石炭類	石炭類	華北產石炭（乾燥洗粉炭ヲ除ク）	各貨車（有蓋貨車ヲ除ク）	標記荷重三十瓲無蓋車 標記荷重四十瓲石炭車（**タハチ**型車ヲ除ク）	標記荷重四十瓲石炭車
2	石類	全品目				
3	鑛石類	石綿、雲母、珪藻土、石綿製品、黑鉛製品及鑛滓ヲ除ク全品目			鮮鐵線所屬貨車	標記荷重三十瓲石炭車
4	金屬	金屬屑ヲ除ク全品目		各貨車	標記荷重三十瓲有蓋車及無蓋車但シ軌條ハ標記荷重三十瓲無蓋車、土運車及長物車ニ限ル	標記荷重三十瓲有蓋車（家畜車、無蓋車（四枚側）、石炭車及礦石車ハ標記荷重三十瓲無蓋車（二枚側及四枚側）及長物車ニ限ル）
5	窯業品	瓦（便利瓦ヲ除ク）。煉瓦（斷熱煉瓦ヲ除ク）。**タイル**類。**セメント**				
6	鐵道及電路用品	軌條。裸電線				標記荷重四十瓲石炭車
7	金屬製品	釘（鐵製ノモノ）。針金類				貨車最高標記荷重

二	8	穀物及種子類	米。小麥。粟（去殼ノモノ）。高粱。玉蜀黍。大豆及其ノ他ノ豆粃。麥類（小麥ヲ除ク）。※黍（去殼ノモノ）。落花生（去殼ノモノ）。胡麻。亞麻種。菜種
	9	果實類	※乾柿
	10	鹽類	精製鹽ヲ除ク全品目
	11	染料顏料及塗料	微粉**バライト**。色土。色石粉
	12	肥料	硫酸**アンモニア**。大豆粕（黴粕ヲ除ク）
	13	窯業品	※硝子層。生石灰。消石灰
	14	穀粉澱粉類	全品目
	15	砂糖甜菜類	砂糖
	16	釀造品	※麥酒（箱入ノモノ）
	17	石炭類	華北產煉炭
	18	藥品類	苛性**ソーダ**。苛性**カリ**。**ソーダ灰**
三	其ノ他ノ貨物	前各號ノ貨物ニ指定貨車以外ノ貨車ヲ使用シタル場合及※印ノ附シアル貨物ニシテ連絡運送（會社所管線ト華中線間連絡運送ノ場合ヲ除ク）ノ仮扱ヲ爲ス場合ヲ含ム	

各貨車	標記荷重三十瓲有蓋車（**ヤコチ**及**ヤロヂ**型車ヲ除ク）、保溫車及無蓋車	標記荷重四十瓲石炭車	標記荷重三十瓲無蓋車
	標記荷重三十瓲有蓋車（四枚側）、石炭車及礦石車但シ硫酸**アンモニア**ハ標記荷重三十瓲有蓋車、家畜車石炭車及礦石車ニ限ル		標記荷重四十瓲石炭車
實重量	標記荷重四十瓲貨車四十五瓲 標記荷重三十瓲貨車三十三瓲 其ノ他ノ貨車貨車最高標記荷重		

註一　他線直通貨車ノ範圍ハ昭和十八年十一月十八日達甲第七百二十三號客貨車直通規程所定ニ依ルモノトス

註二　貨車最高標記荷重トハ貨車標記荷重ノ上部ニ標記シタル大ナル荷重ヲ謂フ會社線所屬車ニシテ貨車最高標記記荷重ノ標記ナキモノニ在リテハ貨車標記荷重ヲ以テ貨車最高標記荷重ト看做ス

註三　乾燥洗粉炭トハ洗炭ノ上貯炭場ニ貯炭サレタルモノヲ謂フ

○貨物支線發著貨物取扱規則

目次

第一條　準據規定
第二條　取扱貨物
第三條　發著站
第四條　支線發著ノ申込
第五條　支線料
第六條　積卸
第七條　託送取消
第八條　到著後ノ申込又ハ取消
第九條　支線ノ指定

貨物支線發著貨物取扱規則

第一條　準據規定

華北交通株式會社（以下會社ト稱ス）所管貨物支線（以下支線ト稱ス）發著貨物ノ取扱ハ本規則ニ依ル

本規則ニ定ナキ事項ニ就テハ鐵道貨物運送ニ關スル一般ノ規定ニ依ル

第二條　取扱貨物

本規則ニ依リ取扱ヲ爲ス貨物ハ支線ト本線トヲ通ジ運送セラルル車扱貨物ニ限ル

第三條　發著站

支線發又ハ著貨物ノ發站又ハ著站ハ當該支線ノ管理站トシ貨物ノ受託又ハ引渡ニ關スル手續ハ當該管理站ニ於テ之ヲ爲ス

第四條　支線發著ノ申込

貨物ノ支線發又ハ著ノ申込ヲ爲サントスルモノハ託送ノ際運送狀ニ其ノ旨ヲ記載シ之ガ申込ヲ爲スコトヲ要ス

第五條　支線料

支線發又ハ著貨物ニ對シテハ當該貨物ノ運賃計算重量ヲ別表所定ノ料金率ニ乘ジタル割合ノ支線料ヲ收受ス

第六條　積卸

支線ニ於ケル貨物ノ貨車積卸ハ會社ニ於テ之ヲ爲ス

第七條　託送取消

支線內積込貨物ニシテ管理站發送前ニ託送取消ノ請求アリタル時ハ之ニ應ズ此ノ場合既收ノ支線料ハ之ガ拂戻ヲ爲サズ

第八條　到著後ノ申込又ハ取消

貨物到著後入換著手前荷受人又ハ貨物引換證所持人ヨリ著站ニ支線廻入ノ申込又ハ廻入ノ取消ノ請求アリタルトキハ作業上支障ナキ場合ニ限リ之ニ應ズ此ノ場合運賃及料金ノ移動ニ就テハ著站ニ於テ荷受人又ハ貨物引換證所持人ニ對シ追徵又ハ拂戻ヲ爲ス入換著手後前項ノ申込ヲ取消シタルトキハ支線料ハ之ガ拂戻ヲ爲サズ

第九條　支線ノ指定

支線ノ名稱、管理站、粁程及料金率ハ別表ノ通トス

（別表）

會社所管貨物支線

管理站名	粁程	料金率
塘沽碼頭 北砲台碼頭線	五・〇粁	〇・五〇円
塘沽碼頭 新港碼頭線	八・〇	〇・八〇
唐山 新石廠線	五・〇	〇・五〇
坊子 坊子炭礦線	三・〇	〇・三〇
金嶺 金嶺鐵山線	七・〇	〇・七〇
黃台 黃台橋線	三・〇	〇・三〇
運河 運河碼頭線	七・〇	〇・七〇

○專用側線積卸貨物取扱規則並ニ同補則

目次

第一條　準據規定
第二條　取扱貨物
第三條　發著站
第四條　積卸ノ指定

第五條　積卸
第六條　積卸時間
第七條　料金
第八條　託送取消
第九條　貨物ノ返還
第十條　到著後ノ指定又ハ指定ノ取消
十一條　第三者使用
第十二條　貨車及貨車用具ノ保護
第十三條　專用側線ノ指定

專用側線積卸貨物取扱規則並ニ同補則

第一條　準據規定

華北交通株式會社（以下會社ト稱ス）ニ於ケル專用側線積卸貨物ノ取扱ハ別ニ定アル場合ヲ除クノ外本規則ニ依ル

本規則ニ定ナキ事項ニ就テハ鐵道貨物運送ニ關スル一般ノ規定ニ依ル

第二條　取扱貨物

本規則ニ依リ取扱ヲ爲ス貨物ハ第十一條ノ場合ヲ除クノ外專用側線設定契約ノ相手方（以下相手方ト稱ス）ガ託送又ハ荷受スル車扱貨物ニシテ專用側線ト本線トヲ通ジ運送セラルルモノニ限ル

第三條　發著站

本規則ニ依リ取扱ヲ爲ス貨物ノ發站又ハ著站ハ當該專用側線ノ管理站トシ貨物ノ受託又ハ引渡ニ關スル手續ハ當該管理

站ニ於テ之ヲ爲ス

註　專用側線積卸貨物受託又ハ引渡ノ時期ハ受託ニ在リヲハ貨車ニ貨物ノ積載ヲ了シタル後、引渡ニ在リテハ貨車ヲ廻入シタル時ヲ謂フ

第四條　積卸ノ指定

專用側線ニ於テ貨物ノ積込又ハ取卸ヲ爲サントスル者ハ貨物託送ノ際運送狀ニ其ノ旨ヲ記載シ之ガ申込ヲ爲スコトヲ要ス

第五條　積　卸

專用側線ニ於ケル貨物ノ貨車積卸ハ荷主ノ負擔トス但シ作業ニ關シ會社ニ於テ業務上爲スコトアルベキ指圖ニ從フコトヲ要ス

荷主ニ於テ積卸ニ就役セシムル工人ハ會社ノ承認ヲ得タルモノニ限ル

補則一　管理站站長ハ本條作業竝ニ同附帶作業ニ立會ヒ之ガ積極的指導ヲ爲スベシ

補則二　鐵路局長ハ本條第二項ノ荷役工人ヲ指定シタルトキハ其ノ旨專用側線設定契約書中ニ明記シ置クベシ

第六條　積卸時間

專用側線ニ於ケル貨物ノ貨車積卸ハ貨車廻入ヲ了シタルトキヨリ起算シ左ノ時間內ニ之ヲ終了シ且當該管理站站長ニ其ノ旨通告スルコトヲ要ス但シ夜間ハ五割增トス

片道貨物積載ノトキ　四時間
往復トモ貨物積載ノトキ　八時間

前項ノ時間ニハ相手方ノ責ニ歸スベキ事由ニ因リ貨車ノ廻入不能ナリシ時間（廻入シ得ベカリシトキヨリ廻入シ得ルニ至ルレトキ迄ノ時間）ヲ含ムモノトス

補則一 管理站站長ハ專用側線取卸貨物ガ到著シタルトキハ之ヲ相手方ニ通知スベシ

補則二 管理站站長ハ別表所定ノ專用側線出入貨車授受簿ニ必要事項ヲ記入シ置クベシ

第七條 料　金

用側線積卸貨物ニ對シテハ別ニ定ムル入換料ヲ收受ス

專用側線ニ於テ貨物積卸ノ爲當該管理站以外ノ站ヨリ特ニ入換用機關車ヲ廻送シタル場合ハ別ニ定ムル機關車廻送料ヲ收受ス

補則一 入換料ハ第十條ノ場合ヲ除キ發站ニ於テ貨物通知書ニ依リ之ヲ計上スベシ

補則二 機關車廻送料ハ廻送ヲ受ケタル站ニ於テ運賃料金領收書ニ依リ其ノ都度相手方ヨリ之ヲ收受スベシ但シ廻送機關車ニ依リ相手方名義貨物積載用貨車ト其ノ他ノ貨物積載用貨車トノ廻出入ヲ爲シタル場合ハ當該貨車ノ現車數ニ依リ按分シ各荷主別ニ之ヲ收受スベシ

補則三 常時機關車ノ廻送ヲ要スル專用側線ニアリテハ鐵路局長ニ於テ其ノ旨契約書中ニ明記シ廻送區間ノ粁程及料金ヲ約定シ置クベシ

前項ノ場合ハ時宜ニ依リ列車ノ牽引機ニ依リ貨車ノ廻出入ヲ爲シ又ハ指定廻送站以外ノ站ヨリ機關車ノ廻送ヲ爲シタル場合ト雖モ約定ノ廻送料ヲ收受スベシ

第八條 託送見合

專用側線積込貨物ニ對シ荷送人ヨリ託送見合ノ申出アリタルトキハ左ノ料金及費用ヲ收受ス

一　專用側線ニ貨車廻入著手前

1　貨車廻入準備ニ要シタル費用

2　貨車ヲ廻入シ得ベカリシ時ヨリ託送見合ノ出申アリタルトキニ至ル迄ノ時間ニ對スル貨車留置料

二　專用側線ニ貨車廻入著手後

1　前號1ノ費用

2　貨車ヲ廻入シ得ベカリシ時ヨリ貨車ヲ原位置ニ復シ得ベキ狀態ニ至ル迄ノ時間ニ對スル貨車留置料

3　當該專用側線所定ノ入換料但シ其ノ最低ヲ運賃計算重量一瓲ニ付五角トス

第九條 託送取消

專用側線積込貨物ニシテ貨物積載貨車ガ當該管理站ヲ發送前荷送人又ハ貨物引換證所持人ヨリ託送取消ノ請求アタルトキハ貨物運送規則第四十三條ニ依リ指圖手數料ノ外左ノ料金ヲ收受シ之ガ請求ニ應ズ

1　受託ノ時ヨリ指圖申込者ニ貨物ヲ引渡シタル時迄ノ時間ニ對スル貨物保管料

2　貨車ヲ廻入得ベカリシ時ヨリ積載貨物ヲ取卸シ後貨車ヲ管理站構內ニ廻出シ得ベキ時迄ノ時間ニ對スル貨車留置料

3　往路及復路ニ對シ各別ニ當該專用側線所定ノ入換料但シ最低ヲ運賃計算重量一瓲ニ付五角トス

第十條 到著後ノ指定又ハ指定ノ取消

貨物到著後荷受人又ハ貨物引換證所持人ヨリ著站ニ專用側線取卸ノ指定又ハ指定取消ノ請求アリタル時ハ作業上支障無キ場合ニ限リ之ガ請求ニ應ズ

會社ガ貨物到著ノ通知ヲ發シタル時ヨリ起算シ六時間ヲ經過スルモ引取ニ必要ナル手續ガ爲サレザルトキハ會社ハ專用側線取卸ノ指定ヲ取消スコトアルベシ

前二項ノ場合運賃及料金ノ異動ニ就テハ著站ニ於テ荷受人又ハ貨物引換證所持人ニ對シ之ガ追徵又ハ拂戻ヲ爲ス

補則一　會社ニ於テ專用側線取卸ノ指定ヲ取消シタルトキハ遲滯ナク荷受人ニ其ノ旨ノ通知ヲ發スベシ

補則二　運賃及料金ノ追徵又ハ拂戻ハ荷物賃訂正通知書ニ依リ之ヲ爲スベシ

第十一條　第三者使用

會社ハ相手方ノ承諾ヲ得タル第三者ヨリ當該專用側線ニ於テ其ノ貨物ノ積込又ハ取卸ノ申込アリタルトキハ作業上支障ナキ場合ニ限リ之ガ取扱ヲ爲ス此ノ場合貨車入換料ハ當該キ用側線所定ニ依ル但シ其ノ最低ハ運賃計算重量一瓲ニ付五角トス

前項ノ場合相手方ハ第三者ト連帶シテ會社ニ對シ其ノ責ニ任スルモノトス

補則　管理站站長ハ相手方ノ承諾書ヲ確認シ本條取扱ノ事情已ムヲ得ザルト認メラルル場合ニ限リ之ヲ受理スベシ

第十二條　貨車及貨車用具ノ保護

專用側線ニ貨車ノ廻入後牽出迄ノ間ニ於テ貨車及貨車用具ニ對シ發生シタル損害ハ荷主ノ負擔トス

第十三條　專用側線ノ指定

專用側線ノ名稱、管理站、相手方、取扱貨物及入換料其ノ他ハ別ニ之ヲ定ム

別表（另表）

專用側線出入貨車授受簿

記事	出線（開側線）（由專用側線）					入線（開側線）（往專用側線）					受信時刻（裝卸終了）（積卸終了）		車貨	
	時	日	月	品名	著（到達站）	受領印者	時	日	月	品名	時	日	番號（碼號）	記號

別表

天津鐵路局　　專用側線

管理站	專用側線名	相手方	取扱貨物	作業粁	入換料 標記荷重同上 三〇瓲未三〇瓲ノ貨車	入換料 同上 四〇瓲迄ノ貨車	入換料 同上 五〇瓲迄ノ貨車	入換料 同上 六〇瓲迄ノ貨車	記事
天津	啓新洋灰線	啓新洋灰公司	洋灰及其製品並原料、荷造資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
	頤中煙草線	軍管理頤中煙草公司	葉煙草	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
	頤中運銷煙草線	軍管理頤中運銷煙草公司	煙草	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
	開灤礦務局線	軍管理開灤礦務局	石炭類、煉瓦	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
	三井物產線	三井物產株式會社	穀類、硫安、砂糖、麻袋、叭	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
	華北石炭線	華北石炭販賣會社	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
	華北電業線	華北電業公司	石炭類、發電資材	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一八・〇〇	
	和記洋行線	軍管理和記洋行	同社名義貨物	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一五・三〇	一八・〇〇	
	裕豐紡績線	裕豐紡績工場	石炭類、綿布、紡績原料及資材	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一五・三〇	一八・〇〇	
	東洋木廠線	東洋木廠	木材類	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一五・三〇	一八・〇〇	
	華北運輸線	華北運輸株式會社	棉花、棉實、蓆穀、棉花木皮	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇	
	大二洋行線	大二洋行	木材類	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一五・三〇	一八・〇〇	
	中山製鋼所線	中山製鋼所	鐵、石炭類、製鐵資材及原料	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一五・三〇	一八・〇〇	
	張貴莊	華北車輛株式會社	同社名義貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	入換ハ手押トス
	軍糧城	軍糧城精穀會社	穀類、碎石、砂	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
	新河	北支木材會社	木材類、洋灰、電纜、石及砂	五	九・一〇	一一・三〇	一四・七〇	一九・三〇	三三・六〇
	塘沽	開灤礦務局	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
	碼頭	永利化學工業所	石炭類、鐵管、荷造資材、同社用原料品及資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
		三井洋行	鉄鐵、洋灰、木材類、芒硝	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
	漢沽	開灤礦務局	石炭類、石灰石、洋灰、碎石及砂	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
		聯合公司	石炭類、マンガン鑛、肥料、曹達類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
	唐山	華北運輸線	華北運輸股份有限公司	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
		啓新洋灰線	啓新洋灰公司	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
		華新紡績線	華新紡績公司	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
		華北電業線	華北電業股份有限公司	五	九・一〇	一一・三〇	一四・七〇	一九・三〇	三三・六〇
		製鋼所線	鐵、石炭類、製鐵資材及原料	五	九・一〇	一一・三〇	一四・七〇	一九・三〇	三三・六〇
	古冶	華北礬土線	華北礬土株式會社	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
	碑家店	永利製碱線	永利製碱公司	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
	雷莊	開灤礦務局線	軍管理開灤礦務局	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
	小王莊	華北石炭線	華北石炭販賣會社	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	
		農事協會線	天津農事協會	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇	

北京鐵路局

天津馬頭	華北石炭線	華北石炭販賣會社	石炭	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
永定門	食糧倉庫線	華北食糧管理局	穀物、穀粉類	二	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
	平衡倉庫線	華北食糧平衡倉庫	穀物、穀物類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
豐台	橫河橋梁線	橫河橋梁製作所	橋梁製品並原料	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
	工務總署線	工務總署						
西直門	華北運輸線	華北運輸股份有限公司	一般貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
	華北石炭線	華北石炭販賣會社	石炭類	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
廣安門	華北運輸線	華北運輸股份有限公司	一般貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
德勝門	華北石炭線	華北石炭販賣會社	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
安定門	華北運輸線	華北運輸股份有限公司	一般貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
	華北石炭線	華北石炭販賣會社	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
朝陽門	華北運輸線	華北運輸股份有限公司	一般貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
	華北石炭線	華北石炭販賣會社	石炭類	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
石景山	電燈廠線	石景山電燈廠	石炭類、發電資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
門頭溝	煤礦公司線	門頭溝煤礦公司	石炭類、開發資材	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一五・三〇	一八・〇〇
清水澗	日本鑛業線	日本鑛業株式會社	石炭類、開發資材	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
微水	電燈廠線	華北電業股份有限公司	石炭類、發電資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇

張家口鐵路局

鳳山	正豐炭礦線	井陘炭礦股份有限公司	石炭類、開發資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
通州東站	電車公司線	北京電車公司	石炭類	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
前門	華北運輸線	華北運輸股份有限公司	一般貨物	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
	華北石炭線	華北石炭販賣會社	石炭類	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
	煤礦公司線	門頭溝煤礦公司	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
西便門	華北石炭線	華北石炭販賣會社	石炭類	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
琉璃河	華北洋灰公司線	華北洋灰公司	洋灰、石炭類、洋灰原料及資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
保定	華北運輸線	華北運輸股份有限公司	一般貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
石門	電燈廠線	石門電燈廠	石炭類	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一五・三〇	一八・〇〇
	華北石炭線	華北石炭販賣會社	石炭類	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
	北支棉花線	北支棉花株式會社	棉花並荷造材料	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一五・三〇	一八・〇〇
	餓炭工場線	井陘炭礦股份有限公司	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
坨里	高棧公司線	坨里高棧公司	石炭類、開發資材	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
	特產線	坨里特產品組合	石灰、石盤、木材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
周口店	華北洋灰線	華北洋灰股份有限公司	石灰石、開發資材	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
	鴻豐總廠線	鴻豐總廠	石灰	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
保定南站	華北運輸線	華北運輸股份有限公司	一般貨物	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇

下花園	蒙疆鑛販線	蒙疆鑛產販賣股份有限公司	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
	蒙疆電業線	蒙疆電業株式會社	石炭類、發電資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
宣化	蒙疆興業線	蒙疆興業股份有限公司	鐵、石炭類、製鐵原料及資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
	蒙疆鑛販線	蒙疆鑛產販賣股份有限公司	石・炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
張家口	蒙疆運輸線	蒙疆運輸股份有限公司	一般貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
	蒙疆鑛販線	蒙疆鑛產販賣股份有限公司	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
大同	蒙疆運輸線	蒙疆運輸股份有限公司	一般貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
	蒙疆鑛販線	蒙疆鑛產販賣股份有限公司	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
平地泉	蒙疆運輸線	蒙疆運輸股份有限公司	一般貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
厚和	蒙疆運輸線	蒙疆運輸股份有限公司	一般貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
	蒙疆鑛販線	蒙疆鑛產販賣股份有限公司	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
	蒙疆電業線	蒙疆電業株式會社	石炭類、發電資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
包頭	蒙疆鑛販線	蒙疆鑛產販賣股份有限公司	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
石拐子	召構線	大青山炭礦股份有限公司	石炭類、開發資材	八	一四・四〇	一八・〇〇	二三・四〇	三〇・六〇	五六・〇〇
	召線	大青山炭礦股份有限公司	石炭類、開發資材	八	一四・四〇	一八・〇〇	二三・四〇	三〇・六〇	三六・〇〇
平旺	蒙疆電業線	蒙疆電業株式會社	石炭類、開發資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
口泉	蒙疆洋灰線	蒙疆洋灰工業股份有限公司	洋灰、石炭類、洋灰原料並資材	一	一・九〇	二・五〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
	口泉坑積込線	大同炭礦株式會社	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇

四方	華北電業線	華北電業股份有限公司	石炭類、發電資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
	內外綿會社線	內外綿株式會社青島工場	同社名義貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
	日清紡績線	日清紡績株式會社青島工場	同社名義貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
	日本紡績線	大日本紡績株式會社青島工場	同社名義貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・六〇
沙嶺莊	上海紡績線	上海紡績株式會社青島工場	同社名義貨物	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
滄口	倉敷紡績線	倉敷紡績株式會社	石炭類、綿、綿製品、紡績材料、毒酒、飲料水並原料	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
	東亞重工業線	東亞重工業株式會社	石炭類、樺柳類、事鐵資材	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
	日本鋼管東線	日本鋼管株式會社	石炭類、製鐵資材及原料	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
	日本鋼管西線	日本鋼管株式會社	石炭類、製鐵資材	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
	鐘紡線	鐘紡公大第五廠	同社名義貨物	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
	富士紡績線	富士瓦斯紡績株式會社青島工場	同社名義貨物	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
普集	普集炭礦線	山東礦業株式會社	石炭類、開發資材	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一五・三〇	一八・〇〇
黃台	山東製糖廠線	山東製糖廠原料	石炭類、酒精、砂糖類及	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
八陡	黑山炭礦線	山東礦業株式會社	石炭類、開發資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
羅家莊	羅家莊炭礦線	山東鑛業株式會社	石炭類、開發資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
華豐	華豐炭礦東線	大汶口炭礦業所	石炭類、開發資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
	華豐炭礦西線	大汶口炭礦業所	石炭類、開發資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇

樓德線	樓德鑛業所	大汶口炭礦礦	石炭類、開發資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
赤柴	赤柴炭礦東線	大汶口炭礦礦業所	石炭類、開發資材	二	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
	赤柴炭礦西線	大汶口炭礦礦業所	石炭類、開發資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
南新泰	新泰炭礦線	新泰炭礦礦業所	石炭類、開發資材	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇

太原鐵路局

陽泉鐵廠線	陽泉鐵廠	鐵、石炭類、製鐵原料及資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
煤礦線	山西炭礦股份有限公司	石炭類、開發資材	六	一〇・八〇	一三・五〇	一七・六〇	二三・〇〇	二七・〇〇
楡次	楡次紡織廠線	山西產業株式會社	綿糸、綿布、石炭類、紡績原料及資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
黃丹溝	黃丹溝炭礦線	山西炭礦股份有限公司	石炭類、開發資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
軒崗	石灘運炭線	山西炭礦股份有限公司	石炭類、開發資材	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
太原北站	太原鐵廠狹軌線	山西產業株式會社	石炭類、開發資材	六	一〇・八〇	一三・五〇	一七・六〇	二三・〇〇	二七・〇〇
	小北門貯炭場準軌線	華北石炭販賣會社	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
	小北門貯炭場狹軌線	華北石炭販賣會社	石炭類	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
太原	麵粉廠線	山西產業株式會社	石炭、穀類及其ノ製品竝資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
東社	華北窒素線	華北窒素肥料株式會社	石炭、石膏、開發資材	二	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
蔣村	史家崗運礦線	山西產業株式會社	鐵鑛石、開發資材	八	一四・四〇	一八・〇〇	二三・四〇	三〇・六〇	三六・〇〇
王門溝	虎峪炭礦線	華北石炭販賣會社	石炭類	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇

閉封鐵路局

鹽坨	鹽務局線	華中鹽業股份有限公司	鹽	三	三・六〇	四・五〇	五・九〇	七・七〇	九・〇〇
開封	華北石炭線	華北石炭販賣會社	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
李封	王封炭礦線	焦作炭礦礦業所	石炭類、開發資材	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
	李封炭礦線	焦作炭礦礦業所	石炭類、開發資材	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一五・三〇	一八・〇〇
常口	焦作炭礦線	焦作炭礦礦業所	石炭類、開發資材	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
山家林	陶莊炭礦線	中興炭礦礦業所	石炭類、開發資材	四	七・二〇	九・〇〇	一一・七〇	一五・三〇	一八・〇〇
柳泉	柳泉炭礦線	柳泉炭礦股份有限公司	石炭類、開發資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
彰德	廣益紗廠線	廣益紗廠股份有限公司	石炭類、棉花、綿布、綿糸、其他原料及資材	三	五・五〇	六・八〇	八・九〇	一一・六〇	一三・六〇
衞輝	華新紗廠線	華新紗廠株式會社	石炭類、棉花、綿布、綿糸、其他原料及資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
新鄉	華北電業線	華北電業公司	石炭類、發電資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
	華北振華紡績線	華北振華紡績株式會社	石炭類、棉花、綿布、綿糸、其他原料竝資材	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
	華北石炭線	華北石炭販賣會社	石炭類	一	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇

○專用鐵道發著貨物取扱及貨車直通規則竝同補則

目次

第一條　準據規定
第二條　取扱貨物
第三條　發著站
第四條　貨車ノ直通

第五條　貨車入換料ノ收受
第六條　貨車使用料ノ收受
第七條　入込標準時間
第八條　引取期間
第九條　第三者使用
第十條　相手方ノ責任
第十一條　專用鐵道

專用鐵道發著貨物取扱及貨車直通規則竝同補則

第一條　準據規定

華北交通株式會社（以下會社ト稱ス）所管ノ鐵道ニ接續スル專用鐵道ニ發著スル會社所管線運送貨物ノ取扱及貨車ノ直通ニ關シテハ別ニ定アル場合ヲ除クノ外本規則ニ依ル

本規則ニ定ナキ事項ニ就テハ專用側線積卸貨物取扱規則ニ依ル

補則　本規則補則ニ定ナキ事項ニ就テハ專用側線積卸貨物取扱規則補則ニ依ルベシ

第二條　取扱貨物

本規則ニ依リ取扱フ貨物ハ荷送人ニ於テ專用鐵道發又ハ著ノ指定ヲ爲シタルモノニ限ル

補則一　貨物到著後荷受人又ハ貨物引換證所持人ヨリ著站ニ於テ專用鐵道取卸ノ請求アリタルトキハ支障ナキ限リ之ガ請求ニ應ズベシ

前項ノ場合運賃及料金ノ異動ニ就テハ著站ニ於テ荷受人又ハ貨物引換證所持人ニ對シ之ガ追徵又ハ拂戻ヲ爲スベシ

補則二　專用鐵道發著貨物ノ運送關係書類ノ記事欄ニハ「○○線發（又ハ著）」ト記載スベシ

第三條　發著站

專用鐵道發又ハ著貨物ノ發站又ハ著站ハ當該專用鐵道ノ接續站トシ運送ノ受託又ハ引渡ハ當該接續站ニ於テ之ヲ行フ

第四條　貨車ノ直通

專用鐵道發又ハ著貨物ノ積載貨車ハ之ヲ專用鐵道ニ直通セシムルモノトシ貨車ノ授受ハ當該專用鐵道ノ接續站ニ於ケル貨車受渡線（貨車受渡線ノ設置ナキ場合貨車受渡ノ爲特ニ指定セル構內側線ヲ含ム以下同ジ）ニ於テ之ヲ爲ス

補則　貨車受渡線ノ設置ナキ場合貨車ノ受渡ヲ爲スベキ構內側線ハ所管鐵路局長ニ於テ之ヲ指定スベシ

第五條　貨車入換料ノ收受

貨車受渡線ニ廻出入スル貨物積載貨車ニ對シ收受スベキ貨車入換料ハ別表ノ通トス

第六條　貨車使用料ノ收受

專用鐵道入込車ニ對シテハ一旬毎ニ入込標準時間迄及標準時間ヲ超ユルモノトニ區別シタル入込時間ニ對シ一時間又ハ其ノ未滿ニ付別ニ定ムル貨車使用料ヲ當該專用鐵道ノ所有者（以下相手方ト稱ス）ヨリ收受ス但シ當該專用鐵道相手方ノ私有貨車ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

註　貨車使用料ハ別途鐵路局長ニ指示ス

補則一　入込時間ハ會社ニ於テ受渡線ニ貨車ヲ廻入シタル時又ハ會社ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ因リ廻入不能ナリシ場合ハ其ノ廻入シ得ベカリシ時ヨリ相手方ニ於テ受渡線ニ貨車ヲ返還シタル時又ハ會社ノ都合ニ依リ返還不能ナリシ場合ハ會社ニ對シ其ノ旨通告アリタル時迄ノ時間（廻入又ハ返還時刻ノ分位ハ切捨テ時位ニ止ム但シ一時間未滿ノ場合ハ一時間トス）ニ依リ之ヲ計算スベシ

補則二　專用鐵道ノ接續站ハ別表二ニ定ムル接續站經由車輛旬報ニ使用料金其ノ他ヲ記入シ（貨車使用料ヲ異ニスル貨車種別毎ニ別葉使用ノコト）翌旬五ノ日迄ニ所管經理部審査課ニ提出スベシ

補則三　貨車使用料ハ後拂トス

第七條　入込標準時間

專用鐵道入込貨車ハ別ニ定ムル入込標準時間內ニ相手方ニ於テ接續站ノ貨車受渡線ニ返還スルコトヲ要ス

第八條　引取期間

專用鐵道著ノ指定アル貨物ニ對シテハ會社ガ貨物到著ノ通知ヲ發シタル時ヨリ起算シ三時間以內ニ荷受人ニ於テ之ガ引取ニ必要ナル手續ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ時間內ニ貨物引取ニ必要ナル手續ヲ爲サザルトキハ以後ノ時間ニ對シ所定ノ貨物保管料及貨車留置料ヲ收受ス

第九條　第三者使用

會社ハ相手方ノ承諾ヲ得タル第三者ニ限リ專用鐵道ニ於テ其ノ貨物ノ積込又ハ取卸ヲ承諾スルコトアルベシ

前項ノ場合第三者ハ當該專用鐵道ノ接續站ニ於テ相手方ノ承諾書ヲ提出シ之ガ申込ヲ爲スコトヲ要ス

補則　專用鐵道ノ接續站長ハ作業上支障ナキ場合ニ限リ本條ノ申出ヲ受理シ之ガ取扱ヲ爲スベシ

第十條　相手方ノ責任

貨車受渡線ニ貨車ヲ廻入後又ハ牽出前生ジタル貨物、貨車及貨車用具ノ損害ハ相手方負擔トス

第十一條　專用鐵道

本規則ニ依リ取扱フ專用鐵道及其ノ接續站、名稱、相手方、其ノ他ハ別表一ノ通トス

別表一

專用鐵道

接續站	名稱	相手方	入込標準時間	入換料 標記荷重三〇瓲未滿貨車	入換料 同三〇瓲三〇瓲貨車	入換料 同四〇瓲五〇瓲迄ノ貨車	入換料 同五〇瓲六〇瓲迄ノ貨車	記事
唐山	開灤炭礦線	軍管理開灤炭礦	九	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
唐山	開灤製鐵線	軍管理開灤炭礦	七	九・一〇	一一・三〇	一四・七〇	一九・三〇	三一・六〇
開平	馬家溝炭礦線	軍管理開灤炭礦	八					
古冶	開灤炭礦線	軍管理開灤炭礦	一〇					
秦皇島	秦皇島碼頭線	軍管理開灤炭礦	八					開灤貯炭場ヲ含ム
石景山	北支製鐵線	北支那製鐵株式會社	一〇					
三家店	北支製鐵線	北支那製鐵株式會社	九					
井陘炭礦	井陘炭礦線	井陘炭礦股份有限公司	一〇					
宣化	龍烟鐵鑛線	龍烟鐵鑛株式會社	一〇	一・九〇	二・三〇	三・〇〇	四・〇〇	四・六〇
口泉	大同炭礦線	大同炭礦株式會社	八					
棗莊	棗莊炭礦線	中興炭礦股份有限公司	八					
新城	太原鐵廠準軌線	山西產業株式會社	一〇					太原鐵廠附屬工場中央製作所及繁廠發著ヲ含ム